

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

九大院医医第76 号
令和 4 年 10 月 5 日
開設者名 国立大学法人 九州大学
総長 石橋 達朗

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 3 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒819-0395 福岡市西区元岡777
氏名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
電話(092) 641 - 1151 (代表)

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科					有		
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
○	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。 ・循環器内科は循環器科で診療を行っている。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科・病理部	3	形成外科	4	心療内科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
41				1226	1267

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	647人	1.6人	648.6人
歯科医師	119人	40.8人	159.8人
薬剤師	96人	0人	96人
保健師	0人	0人	0人
助産師	42人	0人	42人
看護師	1209人	7.7人	1216.7人
准看護師	0人	0人	0人
歯科衛生士	21人	0人	21人
管理栄養士	11人	0人	11人

職種	員数
看護補助者	11人
理学療法士	24人
作業療法士	9人
視能訓練士	10人
義肢装具士	0人
臨床工学士	27人
栄養士	0人
歯科技工士	5人
診療放射線技師	66人

職種		員数
診療エックス線技師		0人
臨床検査	臨床検査技師	113人
	衛生検査技師	2人
	その他	0人
あん摩マッサージ指圧師		0人
医療社会事業従事者		15人
その他の技術員		25人
事務職員		356人
その他の職員		171人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	119	眼科専門医	12
外科専門医	50	耳鼻咽喉科専門医	14
精神科専門医	12	放射線科専門医	33
小児科専門医	34	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	23
泌尿器科専門医	13	麻酔科専門医	23
産婦人科専門医	26	救急科専門医	9
		合計	388

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (中 村 雅 史) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成30年度より令和3年度末まで九州大学病院医療安全管理責任者を務めた。また、平成27年度より令和3年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	942.1 人	28 人	970.1 人
1日当たり平均外来患者数	2348.4 人	740.2 人	3088.6 人
1日当たり平均調剤数	2025.9		剤
必要医師数	235.18250		人

必要歯科医師数	40.51	人
必要薬剤師数	32.34	人
必要(准)看護師数	590.3	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	442.93 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	12 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	1226.28	m ²	病床数	54 床
	[移動式の場合]	台数	4	台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	84.74			m ²
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	1116 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
細菌検査室	552 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
病理検査室	527 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) バーチャルスライドスキャナー、自動免疫染色装置			
病理解剖室	65 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ラミナフローユニットバイオハザード解剖台			
研究室	15430 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ、遠心分離機、冷蔵庫・冷凍庫			
講義室	485 m ²	鉄筋コンクリート	室数	3 室	収容定員	2室157人 1室256人 人
図書室	4033 m ²	鉄筋コンクリート	室数	5 室	蔵書数	312672 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	79.6	%	逆紹介率	91.6	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		21,155 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		26,282 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,700 人		
	D: 初診の患者の数		28,679 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
----	----	---------------	------	----------	---------------

近本 亮	熊本大学	○	安全管理の識見者	無	1
富田 康裕	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
杉原 学	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
秋好 美代子	さく病院		安全管理の識見者	無	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO法人 がんサポーター		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本院ウェブサイトに掲載	

医療法第6条の6第1項に基づく診療科名

医科			
届出	標榜診療科(医療法)	院内診療科名	備考
○	内科	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科 消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科 内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科 総合診療科 先端分子・細胞治療科	
○	心療内科	心療内科	
○	精神科	精神科神経科	
	神経科		
○	神経内科	脳神経内科	
○	呼吸器科	呼吸器科	
	消化器科(胃腸科)		
○	循環器科	循環器内科	
	アレルギー科		
	リウマチ科		
○	小児科	小児科	
○	外科	消化管外科(1) 消化管外科(2) 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 呼吸器外科(1) 呼吸器外科(2) 乳腺外科(1) 乳腺外科(2) 内分泌外科 血管外科	
○	整形外科	整形外科	
○	形成外科	形成外科	
	美容外科		
○	脳神経外科	脳神経外科	
	呼吸器外科		
○	心臓血管外科	心臓血管外科	
○	小児外科	小児外科、成育外科、小腸移植外科	
	皮膚泌尿器科		
○	皮膚科	皮膚科	
○	泌尿器科	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	
	性病科		
	こう門科		
	産婦人科		
○	産科	産科婦人科	
○	婦人科		
○	眼科	眼科	
○	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	
	気管食道科		
○	リハビリテーション科	リハビリテーション科	
○	放射線科	放射線科	
○	病理診断科	病理診断科・病理部	
○	麻酔科	麻酔科蘇生科	
○	救急科	救命救急センター	

24

歯科			
	標榜科	院内診療科名	備考
○	歯科	歯内治療科 歯周病科 義歯補綴科 咬合補綴科 歯科麻酔科 口腔画像診断科 口腔総合診療科 高齢者歯科・全身管理歯科	
○	矯正歯科	矯正歯科	
○	小児歯科	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	
○	歯科口腔外科	顎口腔外科 顔面口腔外科	

4

令和3年度在院患者延べ数

月	日数	医 科	歯 科	月 計
4月	30	29,394	1,003	30,397
5月	31	28,810	764	29,574
6月	30	28,218	793	29,011
7月	31	28,849	1,017	29,866
8月	31	29,859	995	30,854
9月	30	29,147	737	29,884
10月	31	29,954	932	30,886
11月	30	28,354	835	29,189
12月	31	28,824	950	29,774
1月	31	27,660	847	28,507
2月	28	25,525	363	25,888
3月	31	29,301	990	30,291
年 計	365	343,895	10,226	354,121

1日平均 入院患者数	942.18	28.02	970.19
---------------	--------	-------	--------

令和3年度外来患者延べ数

月	日数	医 科	歯 科	月 計
4月	21	47,353	15,159	62,512
5月	18	41,629	12,974	54,603
6月	22	49,568	15,849	65,417
7月	20	47,881	15,187	63,068
8月	21	47,760	14,512	62,272
9月	20	47,952	14,907	62,859
10月	21	48,183	15,561	63,744
11月	20	46,958	15,195	62,153
12月	20	48,969	15,082	64,051
1月	19	44,943	13,968	58,911
2月	18	42,773	13,416	56,189
3月	22	54,351	17,325	71,676
年 計	242	568,320	179,135	747,455

1日平均 外来患者数	2,348.43	740.23	3,088.66
---------------	----------	--------	----------

必要医師数等試算表(医療法施行規則第22条の2に基づく)

全体

一日平均入院患者者数(全体)	970.190	A		
一日平均入院患者者数(全体)(入院新生児含む)	974.840	A'	新生児	4.65
一日平均外来患者者数(全体)	3088.660	B		
一日平均入院患者者数(医科)	942.180	C		
一日平均外来患者者数(医科)	2348.430	D		
一日平均入院患者者数(歯科)	28.020	E		
一日平均外来患者者数(歯科)	740.230	F		

必要医師数	235.19400	≒	236	L	$(C + (D \div 2.5)) \div 8$
必要歯科医師数	40.51	≒	41	M	$(E \div 8) + (F \div 20)$
必要看護師及び准看護師	590.38	≒	591	N	$(A' \div 2) + (B \div 30)$
必要薬剤師数	32.34	≒	33.00	O	$A \div 30$

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	45
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	75
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	6
LDLアフェレシス療法	0
先進医療の種類合計	4
取扱患者数の合計(人)	126

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0
テモゾロミド用量強化療法	0
S-1+パクリタキセル経静脈腹腔内投与併用療法	0
シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法	0
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法	0
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	2
腎血管筋脂肪腫に対する腎腫瘍凝固・焼灼術	2
シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る。)	1
先進医療の種類合計数	9
取り扱い患者数の合計(人)	5

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
該当なし			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	多発性嚢胞腎	59
2	筋萎縮性側索硬化症	44	57	黄色靱帯骨化症	11
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	後縦靱帯骨化症	67
4	原発性側索硬化症	2	59	広範脊柱管狭窄症	7
5	進行性核上性麻痺	9	60	特発性大腿骨頭壊死症	208
6	パーキンソン病	100	61	下垂体性ADH分泌異常症	33
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	下垂体性TSH分泌亢進症	5
8	ハンチントン病	3	63	下垂体性PRL分泌亢進症	28
9	重症筋無力症	134	64	クッシング病	15
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	247	65	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	55	66	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	59
12	封入体筋炎	6	67	下垂体前葉機能低下症	160
13	クロー・深瀬症候群	2	68	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
14	多系統萎縮症	44	69	先天性副腎皮質酵素欠損症	12
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	132	70	アジソン病	2
16	ライソゾーム病	28	71	サルコイドーシス	97
17	副腎白質ジストロフィー	1	72	特発性間質性肺炎	45
18	ミトコンドリア病	21	73	肺動脈性肺高血圧症	74
19	もやもや病	88	74	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
20	プリオン病	1	75	慢性血栓性肺高血圧症	115
21	亜急性硬化性全脳炎	1	76	リンパ脈管筋腫症	9
22	HTLV-1関連脊髄症	6	77	網膜色素変性症	157
23	全身性アミロイドーシス	71	78	バッド・キアリ症候群	5
24	遠位型ミオパチー	2	79	特発性門脈圧亢進症	2
25	神経線維腫症	41	80	原発性胆汁性肝硬変	97
26	天疱瘡	24	81	原発性硬化性胆管炎	25
27	表皮水疱症	3	82	自己免疫性肝炎	18
28	膿疱性乾癬(汎発型)	11	83	クローン病	400
29	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	84	潰瘍性大腸炎	437
30	中毒性表皮壊死症	3	85	好酸球性消化管疾患	6
31	高安動脈炎	51	86	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
32	巨細胞性動脈炎	7	87	チャージ症候群	3
33	結節性多発動脈炎	15	88	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	2
34	顕微鏡的多発血管炎	21	89	TNF受容体関連周期性症候群	2
35	多発血管炎性肉芽腫症	19	90	非典型溶血性尿毒症症候群	1
36	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	21	91	先天性ミオパチー	3
37	悪性関節リウマチ	13	92	筋ジストロフィー	7
38	パージャール病	11	93	アトピー性脊髄炎	2
39	全身性エリテマトーデス	545	94	脊髄空洞症	4
40	皮膚筋炎／多発性筋炎	149	95	脊髄髄膜瘤	1
41	全身性強皮症	184	96	アイザックス症候群	2
42	混合性結合組織病	121	97	前頭側頭葉変性症	3
43	シェーグレン症候群	66	98	アイカルディ症候群	2
44	成人スチル病	25	99	限局性皮質異形成	3
45	再発性多発軟骨炎	9	100	ラスムッセン脳炎	1
46	ベーチェット病	196	101	結節性硬化症	1
47	特発性拡張型心筋症	161	102	色素性乾皮症	1
48	肥大型心筋症	37	103	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6
49	拘束型心筋症	1	104	特発性後天性全身性無汗症	2
50	再生不良性貧血	39	105	眼皮膚白皮症	6
51	自己免疫性溶血性貧血	4	106	肥厚性皮膚骨膜炎	4
52	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	107	弾性線維性仮性黄色腫	7
53	特発性血小板減少性紫斑病	53	108	マルファン症候群	9
54	原発性免疫不全症候群	50	109	ウィルソン病	12
55	IgA 腎症	45	110	ウィリアムズ症候群	11

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	無脾症候群	2	161	先天性僧帽弁狭窄症	2
112	鰓耳腎症候群	2	162	シトリン欠損症	1
113	ウェルナー症候群	1	163	大理石骨病	2
114	ヌーナン症候群	3	164	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	9
115	総動脈幹遺残症	4	165	特発性多中心性キャッスルマン病	13
116	修正大血管転位症	9	166		
117	完全大血管転位症	12	167		
118	単心室症	22	168		
119	左心低形成症候群	4	169		
120	三尖弁閉鎖症	12	170		
121	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	25	171		
122	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	7	172		
123	ファロー四徴症	31	173		
124	両大血管右室起始症	13	174		
125	エプスタイン病	3	175		
126	アルポート症候群	4	176		
127	抗糸球体基底膜腎炎	3	177		
128	一次性ネフローゼ症候群	29	178		
129	紫斑病性腎炎	5	179		
130	オスラー病	17	180		
131	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	181		
132	副甲状腺機能低下症	3	182		
133	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	183		
134	プロピオン酸血症	1	184		
135	尿素サイクル異常症	3	185		
136	ポルフィリン症	1	186		
137	肝型糖原病	1	187		
138	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1	188		
139	脂肪萎縮症	2	189		
140	家族性地中海熱	11	190		
141	慢性再発性多発性骨髄炎	2	191		
142	強直性脊椎炎	28	192		
143	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	193		
144	骨形成不全症	2	194		
145	リンパ管腫症/ゴーハム病	3	195		
146	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1	196		
147	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	197		
148	先天性赤血球形成異常性貧血	2	198		
149	後天性赤芽球癆	3	199		
150	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	2	200		
151	クロンカイト・カナダ症候群	1	201		
152	非特異性多発性小腸潰瘍症	5	202		
153	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	1	203		
154	総排泄腔外反症	5	204		
155	総排泄腔遺残	1	205		
156	先天性横隔膜ヘルニア	10	206		
157	IgG4関連疾患	18	207		
158	黄斑ジストロフィー	5	208		
159	若年発症型両側性感音難聴	3	209		
160	好酸球性副鼻腔炎	60	210		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	165
合計患者数(人)	5621

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・医療安全対策加算 1
・歯科外来診療環境体制加算	・感染対策向上加算 1
・歯科診療特別対応連携加算	・指導強化加算(感染対策向上加算の加算)
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・患者サポート体制充実加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・重症患者初期支援充実加算
・救急医療管理加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・超急性期脳卒中加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・診療録管理体制加算 1	・ハイリスク分娩等管理加算
・医師事務作業補助体制加算 1 (20対1)	・後発医薬品使用体制加算 3
・急性期看護補助体制加算 25対1(看護補助者5割未満)	・病棟薬剤業務実施加算 1
・看護補助体制充実加算(看護補助体制加算の加算)	・病棟薬剤業務実施加算 2
・夜間100対1 急性期看護補助体制加算(看護補助体制加算の加算)	・データ提出加算 2のイ
・夜間看護体制加算(夜間100対1 急性期看護補助体制加算の加算)	・入退院支援加算 1
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・入退院支援加算 3
・看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	・入院時支援加算
・療養環境加算	・地域連携診療計画加算(入退院支援加算の加算)
・重症者等療養環境特別加算	・総合機能評価加算
・無菌治療室管理加算 2	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素)	・精神疾患診療体制加算
・放射線治療病室管理加算(密封小線源)	・精神科急性期医師配置加算 2のイ
・緩和ケア診療加算	・地域医療体制確保加算
・精神科身体合併症管理加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・精神科リエゾンチーム加算	・救命救急入院料 1(CCU病棟)
・摂食障害入院医療管理加算	・救命救急入院料 3(ハイケア病棟)
・栄養サポートチーム加算	・救命救急入院料 4(救命ICU)
・歯科医師連携加算(栄養サポートチーム加算の加算)	・精神疾患診断治療初回加算(救命救急入院料の加算)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料の注2、注3	・肝炎インターフェロン治療計画料
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・ハイリスク妊産婦連携指導料 1
・心臓ペースメーカー指導管理料(遠隔モニタリング加算)	・ハイリスク妊産婦連携指導料 2
・慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	・こころの連携指導料 2
・糖尿病合併症管理料	・薬剤管理指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・地域連携診療計画加算(診療情報提供料 I の加算)
・がん患者指導管理料 イ	・医療機器安全管理料 1
・がん患者指導管理料 ロ	・医療機器安全管理料 2
・がん患者指導管理料 ハ	・がんゲノムプロファイリング評価提供料
・がん患者指導管理料 ニ	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・外来緩和ケア管理料	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に規定する在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・持続血糖測定器加算
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・遺伝学的検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・骨髓微小残存病変量測定
・腎代替療法指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・一般不妊治療管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・生殖補助医療管理料 2	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・外来放射線照射診療料	・先天性代謝異常症検査
・外来腫瘍化学療法診療料 1	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の加算)	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・ニコチン依存症管理料	・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・療養・就労両立支援指導料 相談支援加算	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・がん治療連携計画策定料	・検体検査管理加算(Ⅳ)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・国際標準検査管理加算	・遠隔画像診断
・遺伝カウンセリング加算	・ポジトロン断層撮影
・遺伝子腫瘍カウンセリング加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
・長期継続頭蓋内脳波検査	・CT撮影及びMRI撮影
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・冠動脈CT撮影加算
・胎児心エコー法	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・ヘッドアップティルト試験	・外傷全身CT加算
・人工臓器検査、人工臓器療法	・心臓MRI撮影加算
・皮下連続式グルコース測定	・乳房MRI撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査 1	・小児鎮静下MRI撮影加算
・脳磁図、脳磁図(自発活動を測定するもの)	・頭部MRI撮影加算
・脳波検査判断料 1	・全身MRI撮影加算
・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	・肝エストグラフィ加算
・神経学的検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・補聴器適合検査	・外来化学療法加算 1
・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図	・無菌製剤処理料
・ロービジョン検査判断料	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・内服・点滴誘発試験	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・センチネルリンパ節生検(片側)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・MRI撮影及び超音波検査融合画像による前立腺針生検法	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・口腔細菌定量検査	・がん患者リハビリテーション料
・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	・各リハビリテーション料の初期加算
・精密触覚機能検査	・歯科口腔リハビリテーション料 2
・画像診断管理加算 3	・経頭蓋磁気刺激療法
・歯科画像診断管理加算 1・2	・療養生活継続支援加算

(様式第2)

・救急患者精神科継続支援料	
・認知療法・認知行動療法 1	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・精神科作業療法	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・角膜移植(内皮移植加算)
・医療保護入院等診療料	・羊膜移植術
・硬膜外自家血注入	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・人工腎臓・慢性維持透析を行った場合 1	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法))
・導入期加算 3	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(濾胞再建術(needle法))
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレーシス	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・手術用顕微鏡加算	・網膜再建術
・口腔粘膜処置	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・人工中耳植込術
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・処理骨再建加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	
・椎間板内酵素注入療法	・顎関節人工関節全置換術(歯科診療に係るものに限る。)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・補助人工心臓
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・小児補助人工心臓
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・内視鏡下筋層切開術	・同種心移植術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
	・経皮的下肢動脈形成術
	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的僧帽弁クリップ術	
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)に限る。)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)	
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・ペースメーカー移植術・交換術	
・ペースメーカー移植術・交換術(リードレスペースメーカーの場合)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リード又は皮下植込み型リードを用いる場合)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(心筋リードを用いる場合)	・腹腔鏡下肝切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・同種死体肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胎児輸血術及び臍帯穿刺術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・体外式膜型人工肺管理料
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・乳房切除術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・生体部分小腸移植術	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・同種死体小腸移植術	・輸血管理料 I
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・手術時歯根面レーザー応用加算
・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・歯根端切除手術の注3
・同種死体腎移植術	・レーザー機器加算
・生体腎移植術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・歯科麻酔管理料
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・放射線治療専任加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・外来放射線治療加算
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・1回線量増加加算(前立腺照射の場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・強度変調放射線治療(IMRT)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	17回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	18
	剖検率(%)	7.1

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
1	腫瘍細胞と骨髄微小環境の相互作用を標的とする新規造血器腫瘍制御法の開発	國崎 祐哉	第一内科	650 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
2	ヒト急性白血病に共通する悪性幹細胞特異的な代謝経路の同定	菊繁 吉謙	第一内科	507 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
3	IMiDsにおける新規基質同定による新規がん治療戦略の構築	菊繁 吉謙	第一内科	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
4	ヒト白血病幹細胞特異的代謝特性としてのフォスファチジン酸代謝経路の解明と標的治療法の確立	菊繁 吉謙	第一内科	200 万円	補	新日本先進医療財団 研究助成
5	フォスファチジン酸合成経路を標的としたヒト白血病幹細胞根絶のための新規治療	菊繁 吉謙	第一内科	200 万円	補	武田科学振興財団 研究助成
6	精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病、慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立	中野 敏昭 (分担者)	第二内科	300 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
7	糖尿病性腎症、慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自立的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献	中野 敏昭 (分担者)	第二内科	130 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
8	慢性腎臓病における心筋肥大の機序解明	中野 敏昭	第二内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
9	腸内細菌叢メタゲノムおよびメタボローム情報を用いた腎疾患診断モデルの構築	田中 茂	第二内科	1,443 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
10	骨格筋・血管相関の概念の応用による血管石灰化治療とその分子機構の究明	山田 俊輔	第二内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
11	腎移植におけるT細胞関連拒絶反応の病理学的進行とAutophagyの関連性	土本 晃裕	第二内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
12	アルギニン代謝とオートファジー～腎臓のミトコンドリア保護機構の解明	鳥巢 久美子	第二内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
13	脳梗塞巣におけるペリサイトを介した創傷治癒と内因性機能回復機構の解明	北園 孝成	第二内科	455 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
14	脳虚血病態におけるペリサイトの細胞死にフェロトーシスは関与するか？	吾郷 哲朗	第二内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
15	慢性脳低灌流による脳白質障害・認知障害への活性酸素種産生酵素Nox4の役割の解明	脇坂 義信	第二内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
16	細胞外マトリックスperlecanによる脳血管障害の新規修復治療法の開発	中村 晋之	第二内科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
17	細胞外マトリックス蛋白質をターゲットとした脳梗塞後の内因性機能回復治療の開発	芝原 友也	第二内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
18	脳梗塞グリア瘢痕におけるヒト特異的な組織修復・炎症制御機構の解明	司城 昌大	第二内科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
19	多職種連携による高血圧発症予防に関する研究	後藤 健一	第二内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
20	肝臓における代謝機能のzonationに注目したNASH発症機序の解明	田中 正剛	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
21	成熟肝細胞の脱分化に着目した肝再生機構の解明	合谷 孟	第三内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
22	免疫応答と細胞間相互作用に注目した急性肝不全の病態解明	栗野 哲史	第三内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
23	食道アカシアの前駆状態とされる食道胃接合部通過障害に対するアコチアミドの有効性と安全性を検討する第二相医師主導治験	伊原 栄吉	第三内科	9,180 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
24	多角的な視点による各サブタイプに基づいた食道アカシアの病態解明	伊原 栄吉	第三内科	139 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
25	遺伝子改変制御性T細胞を用いた炎症性疾患治療の実現を目指した基礎的検討+B21	知念 孝敏	第三内科	1,596 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(帰国発展研究)
26	T細胞分化の特性を利用した新規抗原受容体単離技術の開発	知念 孝敏	第三内科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
27	直腸環境の特殊性から見る潰瘍性大腸炎の再燃機序	荻野 治栄	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
28	光遺伝学と逆行性トレーサーを用いた排便中枢の同定および役割の解明	田中 義将	第三内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
29	腸管運動の成熟・維持に果たす腸内細菌の役割と分子機構	白 暁鵬	第三内科	300 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
30	酸分泌抑制薬で誘導されるNAFLD発症機序と消化管粘膜バリアを介したその病態解明	蓑田 洋介	第三内科	300 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
31	膵癌診療におけるliquid biopsyの確立と超早期診断への応用	藤森 尚	第三内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
32	膵癌転移に関する指向性と予後の検討	大野 隆真	第三内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
33	膵がんによる肝臓の代謝変化を介した転移土壌形成の解明	竹野 歩	第三内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
34	AIを用いた膵神経内分泌腫瘍術後再発因子の同定と喫煙習慣の関連	藤森 尚	第三内科	50 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
35	膵癌における転移指向性因子の解明	竹野 歩	第三内科	300 万円	補	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団
36	成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立(有効性評価委員)	白土 基明	第三内科	104 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
37	成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立(免疫学的解析)	中嶋 康博	第三内科	195 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
38	多発性骨髄腫の経時的single cell RNA-seq による新規薬剤耐性遺伝子の同定	土師 正二郎	第三内科	100 万円	補	公益財団法人 大和証券ヘルス財団 調査研究助成
39	多発性骨髄腫の経時的single cell RNA-seqによる新規薬剤耐性遺伝子の同定	土師 正二郎	第三内科	70 万円	補	公益財団法人 臨床研究奨励基金 臨床研究助成
40	多発性骨髄腫の経時的一細胞解析による新規薬剤耐性遺伝子の同定	土師 正二郎	第三内科	30 万円	補	公益財団法人 ふくおか公衆衛生推進機構
41	性差、脂肪分布に着目した特発性アルドステロン症の病態解明	坂本 竜一	第三内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
42	代謝特性に着目したアルドステロン産生腺腫の病態解明と新規診断法の確立	馬越 洋宜	第三内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
43	副腎由来代謝産物に着目した新規骨粗鬆症診断バイオマーカーの確立	馬越 真希	第三内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
44	β 細胞においてブリン受容体シグナルが細胞内代謝・インスリン分泌に与える影響の解析	内田 啓一郎	第三内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
45	DNAメチル化に着眼した母体高血糖によるエピゲノム記憶の解析と先制医療への応用	佐藤 直市	第三内科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
46	非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) の病態進展におけるGPR84の意義の検討	宮澤 崇	第三内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
47	副腎皮質網状層に着目した老化機構の解明	松田 やよい	第三内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
48	代謝特性の異なる遅筋と速筋に着目した糖尿病における骨格筋障害の発症機構の解明	横溝 久	第三内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
49	CD8陽性T細胞の分化に着目した1型糖尿病の進展抑制を目指した治療法の開発	宮地 康高	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
50	ニコチンがマイクロファージのミトコンドリアダイナミクスに及ぼす影響	宮澤 崇	第三内科	200 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
51	副腎内分泌細胞の可塑性に着目した腫瘍発生機構の解明	馬越 洋宜	第三内科	200 万円	補	公益財団法人 上原記念生命科学財団
52	アルドステロン産生腫瘍におけるコルチゾール合成の意義	馬越 洋宜	第三内科	35 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
53	代謝特性に着目したアルドステロン産生腺腫の病態解明と医学応用	馬越 洋宜	第三内科	200 万円	補	公益財団法人 武田科学振興財団
54	副腎由来ホルモンに基づいた骨質劣化型骨粗鬆症の診断モデルの確立	馬越 真希	第三内科	100 万円	補	公益財団法人 骨粗鬆財団

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
55	副腎由来ホルモンの多様性に基づいた糖尿病および慢性合併症進展機構の解明	馬越 真希	第三内科	45 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
56	加齢による副腎由来ホルモンの不均衡に着目した骨粗鬆症の病態解明と早期診断法の開発	小川 佳宏	第三内科	500 万円	補	公益財団法人 セコム科学技術振興財団(一般研究助成)
57	喫煙と免疫代謝に着目した生活習慣病の発症と進展に関わるエピゲノム機構の解明	小川 佳宏	第三内科	180 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団(特定研究助成)
58	副腎皮質腫瘍における機能的不均一性の分子機構の解明と新しい臨床診断法の確立	小川 佳宏	第三内科	300 万円	補	公益財団法人三菱財団(一般助成)
59	細胞間相互作用に着目したNASHの発症・進展機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	1,020 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
60	内分泌腫瘍の機能性・非機能性とは何か?	小川 佳宏	第三内科	250 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽)
61	NASHの発症・進展における炎症細胞社会の時空間的变化の解明	小川 佳宏	第三内科	290 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術研究)
62	腸内細菌-脳腸相関から見た神経性やせ症の病態解明と新しい栄養療法の開発	須藤 信行	心療内科	403 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
63	自律訓練法の睡眠時自律神経機能への効果研究:24時間ホルター心電図を用いて	富岡 光直	心療内科	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
64	摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	吉原 一文	心療内科	260 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
65	成人の愛着スタイルが心身のストレス反応に与える影響およびその脳内機序	吉原 一文	心療内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金(基盤研究(C))
66	潰瘍性大腸炎における腸管内カテコラミンの病態関与の解明	朝野 泰成	心療内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
67	神経性やせ症に対するシンバイオティクス投与の有効性評価:ランダム化比較試験	波多 伴和	心療内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
68	慢性疼痛難治例の症例対照研究:中枢性感作に関する愛着・認知・情動とバイオマーカー	細井 昌子	心療内科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
69	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	細井 昌子	心療内科	1,500 万円	委	厚生労働省関連補助金
70	神経変性疾患領域における基盤的調査研究	磯部 紀子	脳神経内科	75 万円	補	厚生労働省科学研究費補助金
71	神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	磯部 紀子	脳神経内科	40 万円	補	厚生労働省科学研究費補助金
72	新規発見ノド抗原に基づいたノド抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎/中枢末梢連合脱髄症の診断基準・診療ガイドライン作成のためのエビデンスの創出とバイオバンク・レジストリ構築	磯部 紀子	脳神経内科	240 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
73	持続可能な医療体制にむけた医療職の多様な働き方に関する国際的調査研究への展開	樗木 晶子	脳神経内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
74	中枢神経系自己免疫性疾患における性染色体とHLAの相互的な病態寄与機構の解明	磯部 紀子	脳神経内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
75	グリアコネキシン低分子量イソフォーム発現エキソソームによる脱髄炎の悪化と治療開発	中村 優理	脳神経内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
76	スモンに関する調査研究	山崎 亮	脳神経内科	70 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
77	IgG4自己抗体陽性の慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者を対象としたリツキシマブの有効性と安全性評価に関する多施設共同臨床試験	山崎 亮	脳神経内科	270 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
78	運動ニューロン病の末梢神経からのCCR2陽性細胞によるミスフォールド蛋白除去療法	山崎 亮	脳神経内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
79	異常蛋白発現時期により多発性硬化症から多系統萎縮症へ移行する新モデルとグリア治療	吉良 潤一	脳神経内科	780 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
80	心筋リモデリングにおけるスルフィレドキシンによるミトコンドリアレドックス制御機構	筒井 裕之	循環器内科	520 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
81	Mieapによる心筋細胞ミトコンドリア品質管理を介した新規心不全治療法の確立	筒井 裕之	循環器内科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
82	特発性心筋症に関する調査研究	筒井 裕之	循環器内科	1,085 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
83	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器内科	9,581 万円	委	日本医療研究開発機構研究費
84	フェロトーシスを基軸とした心筋障害メカニズムの解明と治療法の開発	井手 友美	循環器内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
85	生体内で細胞同調機能を再現しうるナノ粒子システムの開発	的場 哲哉	循環器内科	1,274 万円	委	CREST JST
86	ミトコンドリア分解を起点とした肺高血圧症の病態解明と新規治療法の開発	阿部 弘太郎	循環器内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
87	レジストリを活用した慢性血栓性肺高血圧症に対するエドキサパンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	阿部 弘太郎	循環器内科	6,995 万円	委	日本医療研究開発機構研究費
88	マイオカインによる老化進展制御機構の解明	絹川 真太郎	循環器内科	780 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
89	心血管の炎症における酸化ステロールの分子生物学的役割と治療標的の解明	的場 哲哉	循環器内科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
90	心筋虚血再灌流傷害・梗塞後リモデリングにおけるミトコンドリア制御分子の役割解明	古賀 純一郎	循環器内科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
						小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
91	心筋梗塞後左室リモデリングにおける修復性単球による心臓組織修復機序の解明	香月 俊輔	循環器内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
92	難治性心房細動に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術における「神の目」と「神の技」を具現化するための電気生理所見および治療データの収集基盤構築と利活用のための研究	坂本 和生	循環器内科	975 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
93	未診断の慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者を救う高精度画像診断プログラム開発研究	細川 和也	循環器内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
94	駆出率の保持された心不全の交感神経賦活化を介した増悪機序の解明と新規治療法の開発	坂本 隆史	循環器内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
95	ドキソルビシン心筋症におけるフェロトーシス誘導の分子機序解明と新たな治療法の確立	池田 昌隆	循環器内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
96	コピー数多型解析によるトラスツズマブ誘発心毒性の発症予測	大谷 規彰	循環器内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
97	心不全におけるミトコンドリア-小胞体接触の役割の解明と新規治療の開発	松島 将士	循環器内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
98	心筋病理解析を用いたFallot四徴候症修復術後の突然死の新たな予測法の確立	石北 綾子	循環器内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
99	心不全におけるERADによるミトコンドリア機能制御機構の解明と新規治療法の開発	池田 宗一郎	循環器内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
100	心筋リモデリングの病態基盤および新規治療ターゲットとしてのTim44の役割の解明	池田 宗一郎	循環器内科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
101	最適な心血管イベントリスク評価に向けた血圧変動の新規評価手法開発	萬納 寺洋士	循環器内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
102	JCOG2007:トワイハー遺伝子陰性・不明の未治療進行非小細胞肺癌に対するプラチナ製剤併用化学療法+ペムブロジマブとプラチナ製剤併用化学療法+ニボルマブ+イビリマブのランダム化比較第III相試験	岡本 勇	呼吸器科	1,500 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
103	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	岡本 勇	呼吸器科	2,120 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
104	Hippo経路分子MOB1に着目したEGFR変異陽性肺癌の新規標的治療法開発	田中 謙太郎	呼吸器科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
105	遺伝子変異検出から予後予測へつなぐ画像生検の開発	田中 謙太郎 (分担)	呼吸器科	10 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
106	EGFR遺伝子変異陽性肺癌における抗体薬物複合体の作用機序に関する研究	岩間 映二	呼吸器科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
107	免疫チェックポイント分子リガンドを制御するmiRNAを用いたバイオマーカー開発	米嶋 康臣	呼吸器科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:17件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
108	気道ウイルス感染におけるPD-L2の意義解明とそれに基づく新規治療法の探索	松元 幸一郎	呼吸器科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
109	免疫チェックポイント分子に着目した薬剤性肺傷害発症機序の解析	濱田 直樹	呼吸器科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
110	子宮体癌がん幹細胞関連蛋白SPARCの機能解析とそれを標的とした新規薬剤の開発	加藤 聖子	産科婦人科	442 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
111	子宮がんでのセンチネルリンパ節同定における新規トレーサーの開発	矢幡 秀昭	産科婦人科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
112	子宮体癌細胞の上皮間葉移行を介した浸潤能に関わる代謝調節機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
113	婦人科がんの発生および悪性形質獲得における三量体Gタンパクの役割	八木 裕史	産科婦人科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
114	卵巣漿液性癌におけるDNA脱メチル化産物5hmCと転移に関する研究	小野山 一郎	産科婦人科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
115	子宮体がんにおける癌・精巢抗原CT45の役割解明とその制御	松村 友美子	産科婦人科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
116	癌転移形質に寄与する核内非翻訳RNAの探索と抗体分子架橋による次世代核酸薬の創出	崔 林	産科婦人科	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
117	妊娠高血圧症候群における絨毛細胞の機能とNotchシグナルの関連性	蜂須賀 正紘	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
118	新生児から成人までに発症する特発性血栓症の診療アルゴリズムの確立	大賀 正一	小児科	1,030.5 万円	委	日本医療研究開発機構研究
119	皮質オルガノイドを用いたてんかん性脳症の収束的メカニズムおよび治療研究	酒井 康成	小児科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
120	小児ホジキンリンパ腫の病態解明による治癒率のさらなる向上への試み	古賀 友紀	小児科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
121	MRI高分解能T1マップとデュアルエナジーCTによる右室線維化定量評価法の確立	山村 健一郎	小児科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
122	高中心静脈圧/高心拍出型Failed Fontanの病態解明と治療法の確立	永田 弾	小児科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
123	C3 glomerulopahtyにおける補体-単球相互作用の解析	西山 慶	小児科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
124	小児脳炎における疫学調査および自己抗体の網羅的解析	チョン・ピン フィー	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
125	極低出生体重児における鉄制御不応の病態解析	藤吉 順子	小児科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
126	新規遺伝性自己炎症性疾患:ROSAH症候群(ALPK1変異)の病態解析と治療確立	石村 匡崇	小児科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
127	血管病変に着目した早産児気管支肺異形成症の病態解明	井上 普介	小児科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
128	川崎病冠動脈炎病変形成への小胞体ストレスの関与	本村 良知	小児科	260 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
129	Fontan循環におけるfenestration閉鎖後の血行動態予測モデルの確立	村岡 衛	小児科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
130	Fontan術後患者における下垂体研究	長友 雄作	小児科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
131	定量的評価を用いた、早産児の縦断的な脳成熟パターンの同定	園田 有里	小児科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
132	Shank3欠損マウスと患児オルガノイドを用いた視床・感覚路発達メカニズムの解析	奥園 清香	小児科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
133	補助人工心臓と与える血行動態変化予測システムの開発	鵜池 清	小児科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
134	十二指腸液を用いた膵がん早期診断マーカーの実用化に向けた臨床研究	中村 雅史	第一外科	1,282 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
135	オールジャパン体制による食道がん等消化器難治がんの全ゲノム配列データ及び臨床情報の収集・解析と創薬開発・全ゲノム医療基盤構築	中村 雅史	第一外科	520 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
136	肉腫・脳腫瘍などの希少がんを対象としたゲノム解析による予防法・診断法・治療法の開発	中村 雅史	第一外科	130 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
137	膵癌PDXライブラリーを用いたシングルセル解析による腫瘍内治療抵抗不均一性の解明	中村 雅史	第一外科	572 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
138	ネオアンチゲン反応性リンパ球を用いた治療抵抗性乳癌治療法の開発	久保 真	第一外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
139	空間情報を伴うscRNAseqによる癌微小環境内APCの多様性と新たな役割の解明	大内田 研宙	第一外科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
140	scRNA-seqを用いた食道癌TME内NK細胞の化学療法による機能的変化の解析	森山 大樹	第一外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
141	空間的トランスクリプトーム解析によるCAF誘導性大腸癌免疫リモデリング機構の解明	佐田 政史	第一外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
142	大腸癌転移巣のPDXモデルライブラリーを用いた腫瘍不均一性と治療抵抗性機序の解明	永吉 絹子	第一外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
143	scRNAseqと腸内細菌叢解析を用いた大腸癌微小環境の発癌に関わる機序の解明	水内 祐介	第一外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
144	ゲノム解析に基づいた最適な大腸癌周術期化学療法選択システムの開発	沖 英次	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)
145	ヒ腹部大動脈瘤形成に腸内細菌が果たす役割の探求	古山 正	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)
146	酸化修復機能からみた食道癌発癌機序の解明と癌浸潤予防の新規治療の開発	木村 和恵	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)
147	急性肝不全に対する自己iPS細胞を用いた革新的治療法の開発	原田 昇	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)
148	肝臓における新規細胞死フェロトーシス機序解明と革新的治療法への開発	伊藤 心二	第二外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)
149	バイオマーカーおよびプロテアソーム阻害剤を用いた新たなイリノテカン療法の開発	安藤 幸滋	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)
150	セリンプロテアーゼ阻害剤による下肢虚血再灌流障害に伴う腎障害抑制効果の検証	川久保 英介	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)
151	筋肉内脂肪率に着目した骨格筋減少症の予防・治療法の確立	吉屋 圭史	第二外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)
152	乳癌を可視化する蛍光プローブ2剤を用いた術中迅速診断法(combine法)の開発	上尾 裕紀	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)
153	ALK陽性肺癌の次世代ALK-TKIへの早期耐性の機序の解明	原武 直紀	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)
154	ポリオウイルスレセプターを標的とした非小細胞肺癌に対する新規複合免疫療法の開発	高田 和樹	第二外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究)
155	肉腫における新規薬剤の耐性獲得機序の解明とその予防法の探索	遠藤 誠	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
156	高精度股関節三次元動態解析・コンピュータシミュレーションの股関節疾患治療への応用	原 大介	整形外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
157	高精度三次元動態解析・人工関節シミュレーションの股関節疾患治療への応用	原 大介	整形外科	100 万円	補 島津科学技術振興財団
158	高精度股関節三次元動態解析・インプラント設置位置シミュレーションの股関節治療への応用	原 大介	整形外科	70 万円	補 公益財団法人 臨床研究奨励基金
159	高精度股関節三次元動態解析・コンピュータシミュレーションの股関節治療への応用	原 大介	整形外科	25 万円	補 臨床医学振興財団

小計:16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
160	ペルテス病の関節予後に発症時年齢が強く関与する機序の検討	山口 亮介	整形外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
161	高精度動態解析手法を用いた生体肩関節および人工肩関節の三次元動態解析	小藺 直哉	整形外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
162	IKK ϵ 阻害による変形性関節症に対する関節内投与治療薬の開発	赤崎 幸穂	整形外科	210 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
163	軟骨肉腫の悪性化機序の解明および新規治療ターゲットの検索	鍋島 央	整形外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
164	軟骨肉腫におけるエピゲノムに着目した悪性化機序の解明および新規治療ターゲットの検索	鍋島 央	整形外科	50 万円	補	公益財団法人 臨床研究奨励基金
165	免疫回避の阻害と自然免疫活性化を併用した、新しい骨肉腫肺転移治療法の開発	松本 嘉寛	整形外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
166	骨頭圧潰の予防法開発を念頭においた骨壊死修復過程の病態解析	本村 悟朗	整形外科	110 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
167	軟骨細胞におけるC10orf10/DEPPの機能解析と変形性関節症への治療応用	桑原 正成	整形外科	50 万円	補	公益財団法人 緒方記念科学振興財団
168	高精度股関節動態・力学解析と股関節疾患治療への応用	中島 康晴	整形外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
169	自家骨採取は不要:炭酸アパタイト人工骨による骨再生	中島 康晴	整形外科	4,003 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
170	変形性関節症とうつの合併メカニズムを探索する	津嶋 秀俊	整形外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
171	カネミ油症に関する研究	津嶋 秀俊 (分担)	整形外科	77 万円	補	厚生労働行政推進調査事業
172	破骨細胞のRNA結合タンパクMusashi2を標的とする骨粗鬆症治療の解明	藤原 稔史	整形外科	80 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
173	金属結合蛋白メタロチオネインの破骨細胞分化と骨吸収機構の制御機構と骨粗鬆症治療への応用	藤原 稔史	整形外科	50 万円	補	公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団
174	骨粗鬆症に対するRNA結合タンパクMusashi2を標的とする新規治療薬の開発	藤原 稔史	整形外科	50 万円	補	臨床研究奨励基金
175	RNA結合タンパクMusashiの関節リウマチにおける関節滑膜増生と骨破壊の制御	藤原 稔史	整形外科	200 万円	補	公益財団法人武田科学振興財団
176	骨粗鬆症に対するRNA結合タンパクMusashiを標的とする治療の開発	藤原 稔史	整形外科	45 万円	補	臨床医学振興財団
177	脊髄電気刺激併用運動療法が損傷脊髄の機能回復を促進する分子生物学的メカニズム	小早川 和	整形外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
178	Neuromodulationによる重症脊髄損傷患者の早期社会復帰	小早川 和	整形外科	500 万円	補 日本損害保険協会
179	脊椎長範囲固定が日常生活動作に及ぼす影響と有効な術後リハビリテーション治療の開発	川口 謙一	整形外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
180	リキッドバイオプシーによる免疫ゲノム解析に基づくグリオーマ免疫環境多様性の解明	溝口 昌弘	脳神経外科	741 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
181	liquid biopsyによる神経膠腫の非侵襲的診断/病態把握システムの開発	秦 暢宏	脳神経外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
182	下垂体腺腫における血中cfDNAのエピジェネティクス解析と臨床応用	空閑 太亮	脳神経外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
183	脳梗塞におけるPDGFナノ粒子を用いた新規治療の開発	有村 公一	脳神経外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
184	流れずり応力に伴うNox応答を標的とした頸動脈狭窄症に対する新規治療法の開発	西村 中	脳神経外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
185	脳梗塞に対する新規再生医療の構築:細胞移植治療とリハビリテーションの併用療法	下川 能史	脳神経外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
186	網羅的エピジェネティクス解析によるグリオーマの悪性化機構の解明	三月田 祐平	脳神経外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
187	大規模ゲノム解析によるセラチアマルセスセンスの病原性および薬剤耐性獲得機構の解析	小野 友行	心臓血管外科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
188	3Dプリンタを用いた肺動脈形態の解析と肺動脈形成法の検討	藤田 智	心臓血管外科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
189	細胞骨格関連蛋白質Fhod3から見た補助人工心臓治療後の左室リモデリング効果	牛島 智基	心臓血管外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
190	ヒト不全心筋におけるcMyBP-CとFhod3の関連およびCa感受性の検討	松山 翔	心臓血管外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
191	拍動型左室補助人工心臓における溶血合併症を例にした溶血機序の解明と原因の探索	原田 雄章	心臓血管外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
192	DCDドナー心の許容虚血時間の検討	平山 和人	心臓血管外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
193	循環停止後ドナー移植心の浸漬保存による心筋保護効果の検討	塩瀬 明	心臓血管外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
194	経皮的V-A ECMO下の左室ベントとIMPELLAの比較	田ノ上 禎久	心臓血管外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
195	TAVI施行後の人工弁血栓症発症予測のためのValsalva洞内血流解析	園田 拓道	心臓血管外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
196	植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	塩瀬 明(分担)	心臓血管外科	20.8 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
197	小児難治悪性固形腫瘍根絶を目的としたNK細胞様CD3陰性細胞を用いた革新的養子免疫治療実現に向けたプロトコール作成研究	川久保 尚徳	小児外科、成育外科、小腸移植外科	390 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
198	オートファジーからみた腸管不全関連肝障害 (IFALD) の病態解明とその制御	松浦 俊治	小児外科、成育外科、小腸移植外科	156 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
199	排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る	宮田 潤子	小児外科、成育外科、小腸移植外科	91 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
200	小児固形悪性腫瘍に対する超音波硬度計測における組織硬度と病理学的分子生物学的解析	宗崎 良太	小児外科、成育外科、小腸移植外科	169 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
201	ヒト多能性幹細胞由来交感神経細胞を用いた神経芽腫発生モデルの作成	桐野 浩輔	小児外科、成育外科、小腸移植外科	130 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
202	ゼブラフィッシュにおける筋発生異常モデルと新規薬剤プラットフォームの作成	近藤 琢也	小児外科、成育外科、小腸移植外科	130 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
203	ダイレクトリプログラミングによるhiHepPCを用いた細胞移植に関する研究	河野 雄紀	小児外科、成育外科、小腸移植外科	117 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
204	腸管運動機能不全における形態学的特徴の解明および新しい診断基準の開発に関する研究	玉城 昭彦	小児外科、成育外科、小腸移植外科	130 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
205	ヒルシスブルング病類縁疾患の新規治療法を目指した遺伝子変異の同定とその機能解析	河野 淳	小児外科、成育外科、小腸移植外科	130 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
206	自家細胞移植のための腸管神経節細胞僅少症患者由来乳歯幹細胞の遺伝学的機能的解析	吉丸 耕一朗	小児外科、成育外科、小腸移植外科	39 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究)
207	小児悪性固形腫瘍に対するNK細胞を用いた国産型新規養子免疫治療の開発	川久保 尚徳	小児外科、成育外科、小腸移植外科	260 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究)
208	内視鏡外科技術の“定量化”と“セルフフィードバック”を目指した教育システムの構築	福田 篤久	小児外科、成育外科、小腸移植外科	195 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究)
209	かゆみ・炎症・バリアからみたアトピー性皮膚炎におけるMAPKの役割解明と治療応用	中原 剛士	皮膚科	156 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
210	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	辻 学	皮膚科	21,971.3 万円	補	厚生労働行政推進調査事業費
211	アトピー性皮膚炎における痒みに関連するサイトカインIL-33の産生調節機構の解明	辻 学	皮膚科	169 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
212	皮膚有棘細胞癌の増殖転移シグナルにおける新規転写因子OVOLの役割	伊東 孝通	皮膚科	156 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究)
213	結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫に対して医療費適正化を目指した凍結療法の安全性と有効性の検討	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	2,968 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

小計: 18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
214	進行腎細胞癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	1,755 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
215	リキッドバイオプシーによる尿中バイオマーカーの探索と尿路上皮がん早期診断システムの開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	2,505 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
216	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	7,515 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
217	尿中のプロテインキナーゼC α を用いた尿路上皮癌の新規バイオマーカーの開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	390 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
218	尿中PKC α を標的とした新規尿路上皮がん診断システムの開発	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
219	去勢抵抗性前立腺癌におけるアンドロゲン合成活性化機序の解明	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
220	BCG膀胱内注入療法を用いた転移性膀胱に対する新たな治療戦略	武内 在雄	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
221	腎癌におけるNO合成経路に着目した血管新生阻害剤耐性メカニズムの解明に関する研究	門司 恵介	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
222	膀胱線維化を引き起こす細胞の同定	李 賢	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
223	脳構造と脳機能から精神疾患を再分類する取り組み:5カ国国際共同研究	平野 羊嗣	精神科神経科	637 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
224	神経同期活動を軸にした統合失調症の橋渡し研究:病態解明と新規治療法開発にむけて	平野 羊嗣	精神科神経科	377 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
225	眼科硝子体手術普及のための眼内内視鏡保持ロボット開発	園田 康平	眼科	83,000 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
226	低分子化合物カクテルによる急性期網膜再生医療	園田 康平	眼科	741 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
227	網膜色素変性の進行を抑制するスタチン封入ナノ粒子薬の開発	村上 祐介	眼科	19,380 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
228	失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	秋山 雅人	眼科	300 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
229	ROCK阻害薬の形質転換抑制作用による眼内線維増殖制御と細胞移植治療への応用	石川 桂二郎	眼科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
230	硝子体網膜リンパ腫の眼内腫瘍微小環境による腫瘍制御機構の解明	武田 篤信	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
231	ヒト眼炎症性疾患の炎症局所の新たな病態解明	八幡 信代	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
232	定型網膜色素変性患者の臨床的意義不明の遺伝子変異に関するエビデンスの創出	小柳 俊人	眼科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
233	現疾患治療同時投与可能な低分子化合物治療薬による網膜再生医療の確立	藤井 裕也	眼科	80 万円	補	特別研究員奨励費
234	日本人の眼瞼基底細胞癌の網羅的ゲノム解析で明らかにする既存薬物の有効性	秋山 雅人	眼科	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
235	マトリセラー蛋白を標的とした抗VEGF時代の難治性血管新生緑内障治療戦略構築	中間 崇仁	眼科	273 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
236	加齢黄斑変性症の長期発症率及び食品・栄養素との関連:久山町研究	橋本 左和子	眼科	13 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
237	網膜色素変性の炎症を制御する障害関連分子パターンとその受容機構の解明	村上 祐介	眼科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
238	加齢黄斑変性(AMD)患者のアンメットニーズに応える新たな抗線維化治療	塩瀬 聡美	眼科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
239	甲状腺眼症の個別化医療を目的としたゲノムワイド関連解析	田邊 美香	眼科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
240	ぶどう膜炎遷延化に関わるDAMPsとMAIT細胞による炎症制御機構の解明	長谷川 英一	眼科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
241	加齢黄斑変性初期病態モデルにおける網羅的脂質代謝解析	納富 昭司	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
242	前視野緑内障の予防法構築に向けた疫学エビデンスの確立:久山町研究	藤原 康太	眼科	312 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
243	糖尿病網膜症におけるマイクログリア・マクロファージを標的とした神経保護治療	山口 宗男	眼科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
244	認知症発症における網膜バイオマーカーの有効性の検証:久山町研究	上田 瑛美	眼科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
245	聴覚障害者の社会参加を促進するための手法に関する研究	中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	190 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
246	側頭骨扁平上皮癌の網羅的組織解析に基づく新規統合的治療戦略の開発	中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
247	Wntシグナル賦活化による聴神経幹細胞の増殖制御を介した聴覚再生	野田 哲平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
248	発達性吃音の小児期疫学調査と回復要因の研究	菊池 良和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
249	頭頸部HPV関連癌の臨床病理学的事項の解明及び同定方法の確立	次郎丸 梨那	耳鼻咽喉・頭頸部外科	26 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
250	耳内から聴取する音を利用した新しい評価方法の検討	山口 優実	耳鼻咽喉・頭頸部外科	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
251	スギ花粉症に対する経口免疫寛容機序の解明と新規創薬標的分子の探索	村上 大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
252	細胞老化に焦点を当てた、老人性難聴の治療法の開拓	土橋 奈々	耳鼻咽喉・頭頸部外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
253	鼻副鼻腔乳頭腫由来癌の癌化予測法確立と予測因子の網羅的解析	安松 隆治	耳鼻咽喉・頭頸部外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
254	頭頸部癌における新規バイオマーカーの開発	若崎 高裕	耳鼻咽喉・頭頸部外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
255	視線解析の手法を用いた難聴児における他者感情認知の分析と訓練法の開発	福井 恵子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
256	頭頸部悪性腫瘍に対するPET/MRによる画素単位でのマルチパラメトリック解析	鷺山 幸二	放射線科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
257	89Zr-PSMA-PETを用いた新たな前立腺癌の画像診断法の確立	馬場 眞吾	放射線科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
258	胸部X線動態解析に基づいた新たな呼吸関連機能指標および評価法の確立	樋田 知之	放射線科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
259	低線量X線肺血流イメージングを用いた慢性血栓性肺高血圧症の新規診断法の確立	山崎 誘三	放射線科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
260	小児脳腫瘍のPrecision Diagnosisの確立	菊地 一史	放射線科	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
261	新たなASLアプローチを用いたMRAおよび灌流画像の開発と臨床応用	梅尾 理	放射線科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
262	スペクトラルCTを用いた胃癌リンパ節転移診断の確立	鶴丸 大介	放射線科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
263	AR(拡張現実)を利用した腎細胞癌に対するCTガイド下凍結療法の開発	牛島 泰宏	放射線科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
264	マルチパラメトリックMRIを用いた肝再生の評価・予測モデルの確立	藤田 展宏	放射線科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
265	スペクトラルCTの物質分解情報を用いた大腸CT用画像診断プロトコルの構築	甲斐 聖広	放射線科	39 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
266	深層学習と血管抑制・非抑制画像を利用した新たな転移性脳腫瘍診断法の確立	樋渡 昭雄	放射線科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
267	CRPSの発症および症状の増悪に対するデクスメトミジンの効果	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
268	全身麻酔補助薬としてのデクスメトミジンによる術後高次脳機能低下の予防効果	東 みどり子	麻酔科蘇生科・手術部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
269	TRPチャネル拮抗薬とGIRKチャネル作動薬の相互作用が鎮痛に及ぼす影響の解明	辛島 裕士	麻酔科蘇生科・手術部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
270	自己免疫性肝炎モデルに対するファルネシル化の効果の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科・手術部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
271	周術期の急性腎障害の慢性腎臓病への移行に関する検討	松下 克之	麻酔科蘇生科・手術部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
272	幼若期の麻酔薬暴露による遅発性認知機能低下の分子メカニズム解明と治療法の開発	土井 浩義	麻酔科蘇生科・手術部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
273	心筋炎のレドックス状態を非侵襲的に可視化する早期診断法の開発研究	水田 幸恵	麻酔科蘇生科・手術部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
274	コホート・生体試料支援プラットフォーム(体質を考慮したがんを含む生活習慣病の予防対策に必要な基礎資料提供を目的とした日本多施設共同コホート研究)	村田 昌之	総合診療科	1,900 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
275	軽度アルツハイマー型認知症を対象とする八味地黄丸の認知機能に対する有効性と安全性を確認する探索的オープン標準治療対照無作為化割付多施設共同試験	村田 昌之	総合診療科	74 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
276	C型慢性肝炎におけるHCV排除後の肝線維化および肝発癌の解明	小川 栄一	総合診療科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
277	肝硬変の生命予後を改善する革新的抗線維化薬の研究開発	小川 栄一	総合診療科	192 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
278	原発性胆汁性胆管炎に対する抗線維化治療薬の開発	小川 栄一	総合診療科	320 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
279	非アルコール性脂肪肝疾患関連遺伝子変異が脂質代謝および動脈硬化に及ぼす影響の検討	池崎 裕昭	総合診療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
280	バイオ3Dプリンタによるヒト脂肪幹細胞小口径血管の研究	上菌 健一	形成外科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
281	大規模医療情報の標準化のための統一的管理手法の構築と利活用の研究	康 東天	検査部	2,211 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
282	ミトコンドリア病態解析に基づく臓器特異的ミトコンドリア異常診断法の開発	康 東天	検査部	1,755 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
283	老化・疾病に伴いミトコンドリア内に生じるタンパク質凝集解析モデルの構築	松島 雄一	検査部	377 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
284	老化・疾病をもたらすミトコンドリア機能障害を鋭敏に捕らえる手法の開発	松島 雄一	検査部	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
285	老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療	八木 美佳子	検査部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
286	ゲノム進化予測による薬剤耐性菌発生防止に向けた研究	相原 正宗	検査部	455 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
287	ミトコンドリアtRNA修飾欠損の回復と発症抑制メカニズムの解明	松本 信也	検査部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
288	うつ病態と関連する血中トリプトファン・キヌレニンの新規運搬因子の同定と役割解明	瀬戸山 大樹	検査部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
289	ミトコンドリア脳筋症の遺伝子変異を抑制する新規一塩基多型の解析	上田 沙央理	検査部	47 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
290	計画標的体積マージン自動決定システムの開発	廣瀬 貴章	放射線部	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
291	コメディカル 臨床研究助成	白坂 崇	放射線部	30 万円	補	公益財団法人 臨床研究奨励基金
292	超高精細CTを用いた梗塞心筋の微小血管側副路の検出	小島 幸	放射線部	67 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
293	高分解能3D CESTイメージングによるmulti-pool解析の開発と臨床応用	和田 達弘	放射線部	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
294	呼吸停止下CESTイメージング法の確立:肝機能評価の臨床応用	徳永 千晶	放射線部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
295	脳血管疾患患者における超選択的4D-MRAの開発・臨床応用	村崎 裕生	放射線部	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
296	硫化水素代謝物チオ硫酸による心筋ミトコンドリア保護効果の検討	徳田 賢太郎	救命救急センター・集中治療部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
297	看護師対象小児急変対応ABCアプローチによる遠隔シミュレーション教育法開発	賀来 典之	救命救急センター・集中治療部	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
298	慢性腎臓病を合併した敗血症に対する中枢性交感神経系を介した治療介入の検討	西原 正章	救命救急センター・集中治療部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
299	重篤小児患者の筋力低下の実態とリスク因子の解明	松岡 若利	救命救急センター・集中治療部	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
300	希少癌における肉腫のマルチオミクス解析による発癌機序と治療抵抗性獲得機構の解明	小田 義直	病理診断科・病理部	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
301	SWI/SNF型クロマチン再構成因子関連腫瘍の分子生物学的層別化と治療戦略	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
302	エピトランスクリプトミクス破綻により引き起こされた軟部肉腫の解析	岩崎 健	病理診断科・病理部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
303	ヒトにおける残留性有機汚染物質等の汚染・蓄積の実態及び疾患との関連性の解明	立石 悠基	病理診断科・病理部	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
304	口腔扁平上皮癌の微小環境—癌細胞間シグナルの解明とその制御強化による新規治療戦略	清島 保	病理診断科・病理部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
305	エナメル上皮腫を引き起こす新しい分子基盤の解明とがんゲノム医療に向けた臨床応用	藤井 慎介	病理診断科・病理部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
306	歯原性間葉系幹細胞誘導因子の同定と歯の再生への応用	和田 裕子	病理診断科・病理部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
307	早期癌に認められる異型におけるHippo-YAPシグナルの機能解析	長谷川 佳那	病理診断科・病理部	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
308	Hippoシグナルに注目した口腔上皮内癌の発生メカニズムの解明—細胞異型を誘導する因子の同定—	長谷川 佳那	病理診断科・病理部	200 万円	委 公益財団法人 武田科学振興財団
309	口腔癌における異型誘導因子の同定とその臨床応用	長谷川 佳那	病理診断科・病理部	30 万円	委 公益財団法人ふくおか公衆衛生推進機構
310	大規模医療情報の安全対策への活用拡大に向けたデータ品質管理に関する課題解決の研究	中島 直樹	メディカルインフォメーションセンター	560 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
311	ユースケース・ベースのPHRサービスによるOpen FHIRと電子カルテの連携を目指すクラウド型医療連携プラットフォーム構築研究	中島 直樹	メディカルインフォメーションセンター	1,610 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
312	標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診AIなどのICTを用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究	中島 直樹	メディカルインフォメーションセンター	3,000 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
313	漢方薬の適正使用に向けたポリファーマシーの実態解明と実用的な定義の提案	古橋 寛子	メディカルインフォメーションセンター	84 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
314	糖尿病を併存する消化器がん患者の自己報告アウトカム評価の基盤構築	伊豆倉 理江子	メディカルインフォメーションセンター	37 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
315	婦人科がんサバイバーの療養支援向上を目指す自己報告アウトカム評価システムの構築	伊豆倉 理江子	メディカルインフォメーションセンター	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
316	肺ウイルス感染による宿主免疫応答に対するPI3キナーゼ δ 阻害剤の効果の解明	神尾 敬子	光学医療診療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
317	分子病態を非侵襲的に可視・数値化し、治療へ応用可能な新たな医療画像システムの開発	長尾 吉泰	先端医工学診療部	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
318	抗HER2抗体薬物複合体に耐性を付与するHER2胃癌のゲノム異常と微小環境の探索	山口 享子	臨床教育研修センター	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
319	抗HER2抗体薬物複合体に耐性を付与するHER2陽性胃癌のゲノム異常と腫瘍微小環境の探索	山口 享子	臨床教育研修センター	200 万円	補 公益財団法人 新日本先進医療研究財団
320	加齢黄斑変性症の長期発症率及び食品・栄養素との関連	橋本 左和子	臨床教育研修センター	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
321	脾癌に対する抗線維化療法を併用した新規腫瘍溶解性ウイルス免疫療法の開発	緒方 久修	臨床教育研修センター	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
322	橋渡し研究戦略的推進プログラム「地域と拠点を結び世界へ展開する新規医療技術の研究・開発」	赤司 浩一	ARO次世代医療センター	9,760 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
323	医療技術実用化総合促進事業「支援体制の強化・効率化による革新的医療開発の迅速化」	赤司 浩一	ARO次世代医療センター	18,840 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
324	臨床研究総合促進事業	赤司 浩一	ARO次世代医療センター	1,533 万円	補	厚生労働省
325	医薬品等規制調和・評価研究事業「神経変性疾患の病期に着目した治療法開発および承認後適正使用を推進する新規評価法の確立」	小早川 優子	ARO次世代医療センター	195 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
326	難治性疾患実用化研究事業「リパスジルを用いた未熟児網膜症に対する新規点眼薬の開発」	有馬 充	ARO次世代医療センター	6,600 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
327	希少がんの情報提供・相談支援ネットワークの形成に関する研究	馬場 英司	がんセンター	390 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
328	体液中臓器特異的miRNAに注目した病態時における体内・薬効動態変動の機序解明	家入 一郎	薬剤部	832 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
329	血漿中miRNA情報を付加した治療薬物モニタリングの個別化精度向上を目指す新展開	家入 一郎	薬剤部	442 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
330	がん化学療法における痛みと睡眠に関する包括的研究	江頭 伸昭	薬剤部	26 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
331	生体膜リン脂質に着目した抗がん薬誘発末梢神経障害予防/治療薬の開発	江頭 伸昭	薬剤部	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
332	生活習慣病に伴う薬物動態変動を反映したバイオマーカーの定量的モデル解析	廣田 豪	薬剤部	390 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
333	レテルモビル併用下でのタクロリムス個別化投与の発展に向けた遺伝子多型の有用性解明	末次 王卓	薬剤部	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
334	肝移植後の免疫寛容における鍵分子の特定と機能解明に関する研究	山本 奈々絵	薬剤部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
335	移植肝の遺伝的背景に着目した拒絶反応回避に関する新規分子機構の探索	田島 壮一郎	薬剤部	115 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
336	尿を試料としたオミックス解析による腎移植後拒絶反応に対する早期診断法の開発	田島 壮一郎	薬剤部	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
337	小児・新生児における抗MRSA薬の個別化投与方法の確立	山田 孝明	薬剤部	45 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
338	機械学習技術を用いた医薬品の投与量チェックシステムの構築と実臨床への応用	永田 健一郎	薬剤部	46 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
339	機械学習技術を用いた臨床検査値に基づく医薬品用量チェックシステムの確立と臨床応用	永田 健一郎	薬剤部	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
340	アプレピタントの体内動態及び薬効解析による戦略的個別化投与設計理論の確立	勝部 友理恵	薬剤部	82 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
341	新規腎機能評価方法論による小児移植患者のバルガンシクロビル適正投与設計の構築	勝部 友理恵	薬剤部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
342	肝移植後慢性腎障害の早期診断に資する高精度なバイオマーカーの探索	福田 未音	薬剤部	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
343	乳がん幹細胞性を制御する新規microRNAの臨床応用を目指した研究	荻野 敬史	薬剤部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
344	子宮体癌の個別化医療に向けた白金化学療法奏功を予測するバイオマーカーの確立	松金 良祐	薬剤部	47 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
345	医工連携を軸とした国際遠隔医療教育プログラムの基盤構築と将来設計	森山 智彦	国際医療部	21.78 万円	補	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)国際青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプログラム
346	アジアにおける大腸癌死亡率低下を目指した持続可能な国際遠隔医療教育	森山 智彦	国際医療部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
347	2020年度日系社会研修「集団 早期胃癌の内視鏡診断と治療」研修コースに係る研修(ウェビナー)	森山 智彦	国際医療部	23.7 万円	委	独立行政法人国際協力機構(JICA)日系社会研修員受入事業
348	アジア遠隔医療教育の技術担当者研修プログラム評価のためのルーブリック開発と検証	工藤 孔梨子	国際医療部	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
349	早期胃癌診断の国際遠隔医療教育における内視鏡画像品質の基準策定	上田 真太郎	国際医療部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
350	COVID-19感染拡大に伴うアジアでの医療施設における遠隔会議実装の技術支援に関する状況把握と課題解決	富松 俊太	国際医療部	46.75 万円	補	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)国際青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプログラム
351	器官再生を目指した細胞リソースとしての人為的上皮細胞誘導技術の開発	福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	520 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
352	自閉症児由来乳歯歯髄幹細胞を活用した酸化ストレスとミトコンドリアとの関係解明	増田 啓次	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
353	性染色体数異常における発達障害機序の解析～乳歯歯髄幹細胞による橋渡し研究～	佐藤 浩	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
354	ヒト脱落乳歯幹細胞を用いた自閉症の神経発達におけるメラトニン作用機序の解明研究	木船 崇	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
355	レット症候群におけるミトコンドリア機能に焦点をあてた病因究明及び新規治療法の開発	廣藤 雄太	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
356	歯の発生過程におけるオーファン受容体Gpr115の機能解明	千葉 雄太	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
						小計:17件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
357	顎変形症患者における骨格筋DTIを用いた咀嚼筋疲労の分子イメージング	北原 亨	矯正歯科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
358	炭酸アパタイト骨補填材の機械的強度に及ぼす構造因子の解析	野村 俊介	矯正歯科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
359	顎変形症患者の筋電図、mfMRIと31-PMSによる咀嚼筋疲労の分子イメージング	荒川 雅弘	矯正歯科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
360	iPS細胞を用いた3次元の歯根膜作製法の確立と人工歯根開発への応用	前田 英史	歯内治療科	689 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
361	転写因子PAX9を標的とした歯根膜幹細胞誘導因子の同定	濱野 さゆり	歯内治療科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
362	根面う蝕を標的としたフェージ療法の創出	小幡 純子	歯内治療科	273 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
363	神経堤細胞賦活化低分子化合物を核とする次世代型歯周組織再生薬の創出	友清 淳	歯内治療科	273 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦の萌芽研究)
364	ナノハイドロキシアパタイト含有レジンを用いた新規接着性直接覆髄材の創製	吉田 晋一郎	歯内治療科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
365	Decorinの組織再生賦活化特性を応用した新規歯周組織再生療法の開発	杉井 英樹	歯内治療科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
366	象牙芽細胞分化に関与する因子を標的とした新規直接覆髄材料の開発	藤野 翔香	歯内治療科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
367	バイオ3Dプリント技術と歯根膜幹細胞株の融合による次世代型口腔インプラントの創出	小野 太雅	歯内治療科	286 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
368	シュワン細胞由来の因子を用いた新規歯周組織再生療法の開発	糸山 知宏	歯内治療科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
369	sFRP1由来機能性ペプチドを応用した革新的直接覆髄法の開発	一法師 啓太	歯内治療科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
370	統合オミクス解析を介した糖尿病性歯周炎の病態解明を目指す国際共同研究	西村 英紀	歯周病科	650 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))
371	SPOCK-1生体タンパクを応用した安全性に優れた革新的歯周病予防薬の開発	西村 英紀	歯周病科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦の萌芽研究)
372	アメロジェニン・GRP78複合体を標的とした歯周歯髄組織再生技術の創生	讃井 彰一	歯周病科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
373	歯肉幹細胞由来エクソソームmiRNAを標的とした次世代歯周病治療の基盤構築	福田 隆男	歯周病科	390 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
374	歯肉増殖症や肥満に関わる新規分子SPOCK1のシグナリング経路の探索	山下 明子	歯周病科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
375	歯肉増殖症の病態解明～spock1による蓄積と分解抑制のシナジー効果の観点から	山下 明子	歯周病科	55 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
376	炎症誘導性膝β細胞Xaf1の役割解明～歯周病一膝β細胞機能の連関	岩下 未咲	歯周病科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
377	血管内皮細胞におけるインスリン抵抗性が歯周炎増悪に寄与する機序の解明	新城 尊徳	歯周病科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
378	歯周炎による糖尿病性腎臓病増悪における糸球体H-PGDSの役割の解明	新城 尊徳	歯周病科	100 万円	委	武田科学振興財団 2021年度医学系研究助成(基礎)
379	歯周病が糖尿病性腎症における尿細管障害を増悪する分子メカニズムの解明	新城 尊徳	歯周病科	100 万円	委	宇部興産学術振興財団 学術奨励賞
380	アメロジェニンによるエピジェネティック制御機構の解明と難治性疾患への挑戦	四本 かれん	歯周病科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
381	歯肉幹細胞由来エクソソームの分泌機序解明と内包miRNAによる骨吸収抑制効果	中尾 雄紀	歯周病科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
382	アメロジェニンとテブレノンの相乗的治癒促進効果の機序の解明と応用	大和 寛明	歯周病科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
383	脂肪組織由来CCL19が歯周炎に及ぼす影響に関する検証	林 大翔	歯周病科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
384	インプラント周囲硬・軟組織の治癒促進を目指した新規手法の開拓	今井 実喜生	義歯補綴科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
385	インプラント治療とMesenchymal stem cell aging.	鮎川 保則	義歯補綴科	312 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
386	骨質劣化によるインプラント周囲骨代謝破綻機序の解明と既存薬の骨質制御法への応用	森山 泰子	義歯補綴科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
387	再生医療へ向けた新規3次元的細胞制御への試み	古橋 明大	義歯補綴科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
388	間葉系幹細胞由来エクソソームの解析と治療効果の検討	古谷野 潔	義歯補綴科	468 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
389	顎顔面補綴における皮膚貫通型インプラントの成功率向上を目指した表面処理法の検討	成松 生枝	義歯補綴科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
390	マウス歯細胞の分化・増殖調節機構におけるヒアルロン酸の働き	渡邊 雄	義歯補綴科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
391	薬剤関連顎骨壊死における新規治療法の開拓	安波 礼之	義歯補綴科	367 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
392	プラットフォームスイッチングにおける骨吸収抑制因子の解明と最適な臨床応用法の開発	松崎 麻貴	義歯補綴科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
393	長期に安定したインプラント治療を実現するインプラント周囲骨リモデリングの解明	竹村 陽子	義歯補綴科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
394	偏咀嚼の観点からみた片側臼歯部遊離端欠損に対する第2大臼歯までの補綴治療の必要性	大木 郷資	咬合補綴科	24 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
395	IgG4関連疾患の免疫学的特異性を基盤とした病因解明と疾患モデルマウスによる検証	中村 誠司	顎口腔外科	1,209 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
396	唾液中の可溶性マーカーに着目したIgG4関連疾患の新たな診断方法の開発	中村 誠司	顎口腔外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
397	IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	中村 誠司	顎口腔外科	3,445 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
398	自己免疫疾患に関する調査研究	中村 誠司	顎口腔外科	18 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
399	Toll様受容体7シグナルに着目したIgG4関連疾患の新規治療法の開発	森山 雅文	顎口腔外科	702 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
400	IgG4関連疾患の病因解明と新規治療戦略 -特異なT・B細胞を標的として-	前原 隆	顎口腔外科	455 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
401	IgG4関連疾患とその世界初モデルマウスにおける臓器線維化メカニズム解明	前原 隆	顎口腔外科	429 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
402	IgG4関連疾患の創薬ターゲットとなり得る病因関連エンハ ンサーRNAの探索	前原 隆	顎口腔外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
403	マイクロRNAを介したシェーグレン症候群の新規治療開発に向けた基盤研究	緒方 謙一	顎口腔外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
404	Expansion of CD4+ cytotoxic T lymphocytes and IgD-CD27- double negative B cells in COVID-19 and autoimmune diseases including IgG4-related disease	金子 直樹	顎口腔外科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
405	口腔扁平上皮癌の悪性度に関わるバイオマーカーとしてのWnt5a/Ror2の有用性	坂本 泰基	顎口腔外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
406	IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断における顎下腺超音波検査の有用性	伊東 美穂	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
407	口腔扁平上皮癌の Δ Np63 β を介したEMTにおけるmiR-205の機能について	橋口 有真	顎口腔外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
408	口腔癌の悪性化におけるDNA脱メチル化の役割およびその機構の解明	三上 友理恵	顎口腔外科	74 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
409	腫瘍会合性マクロファージによる口腔扁平上皮癌の増殖・浸潤促進機構	柿添 乃理子	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
410	歯髄幹細胞由来サイトカインを用いたシェーグレン症候群に対する自己免疫反応の制御	川島 万由	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
411	オートファジー関連分子に着目したシェーグレン症候群の新規治療法の開発	坂本 瑞樹	顎口腔外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
412	Wnt5aシグナルおよびCK19による口腔扁平上皮癌の浸潤機構の解明	田中 翔一	顎口腔外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
413	口腔扁平上皮癌のΔNp63を介したEMTにおけるPAR1の役割と機能について	服部 多市	顎口腔外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
414	IgG4関連疾患におけるクラススイッチ機構の解析	宗村 龍祐	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
415	AIによる撮影技能自動評価に向けた口内法エックス線画像評価システムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	156 万円	補	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
416	IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究	清水 真弓	口腔画像診断科	156 万円	補	文部科学省科学研究費基盤研究(C)
417	Compressed sensingを用いた頭頸部病変の高時間分解能血流動態評価	加美 由紀子	口腔画像診断科	91 万円	補	文部科学省科学研究費若手研究(B)
418	Dual Energy CTを用いた顎顔面領域腫瘍の薬物動態解析	北本 江梨奈	口腔画像診断科	39 万円	補	文部科学省科学研究費若手研究(B)
419	オミックス解析を用いた歯根膜発生機構の解明と幹細胞誘導型組織再生技術への応用	和田 尚久	口腔総合診療科	416 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
420	口腔扁平上皮癌における亜鉛トランスポーターの役割と機能に関する研究	神野 哲平	口腔総合診療科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
421	IoTを用いたフレイル予防のための口腔機能向上プログラムの開発	柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
422	口腔機能低下から認知機能低下に至るまでのプロセスの解明ー食と栄養の観点からー	水谷 慎介	高齢者歯科・全身管理歯科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
423	慢性腎臓病患者の健康生活支援を目指した口腔機能管理・食支援プログラムの開発	山添 淳一	高齢者歯科・全身管理歯科	936 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計:13件

合計:423件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	Yamaguchi K, Tsuchihashi K, Tsuji K, et al	第一内科	Prominent PD-L1-positive M2 macrophage infiltration in gastric cancer with hyper-progression after anti-PD-1 therapy: A case report	Medicine (Baltimore). 2021 May 14;100(19):e25773.	Case report
2	Shohei Ueno, Masato Uenomachi, Hitoshi Kusaba, et al	第一内科	Improvement in recurring nivolumab-induced pneumonitis with repetitive administration of infliximab in a patient with head and neck cancer: A case report	Mol Clin Oncol. 2021 Oct;15(4):221.	Case report
3	Fukata M, Yamasaki H, Sai E et al	第一内科	Impact of adaptive cardiac resynchronization therapy in patients with systolic heart failure: Beyond QRS duration and morphology	J Cardiol. 2022 Mar;79(3):365-370.	Original Article
4	Shima T, Sakoda T, Henzan T et al	第一内科	Platelet decrease and efficacy of platelet-rich plasma return following peripheral blood stem cell apheresis	J Clin Apher. 2021 Oct;36(5):687-696.	Original Article
5	Akifumi Matsumoto, Tatsushi Yoshida, Takahiro Shima et al	第一内科	C11orf21, a novel RUNX1 target gene, is down-regulated by RUNX1-ETO	BBA Advances Volume 2, 2022, 100047	Original Article
6	Jinnouchi F, Mori Y, Yoshimoto G, et al.	第一内科	Incidence of refractory cytomegalovirus infection after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Int J Hematol. 2022 Jan;115(1):96-106.	Original Article
7	Yoshimoto G, Mori Y, Kato K, et al.	第一内科	Azacitidine for the treatment of patients with relapsed acute myeloid leukemia after allogeneic stem cell transplantation	Leuk Lymphoma. 2021 Dec;62(12):2939-2948.	Original Article
8	Harada T, Iwasaki H, Muta T, et al.	第一内科	Outcomes of methotrexate-associated lymphoproliferative disorders in rheumatoid arthritis patients treated with disease-modifying anti-rheumatic drugs	Br J Haematol. 2021 Jul;194(1):101-110.	Original Article
9	Mori Y, Jinnouchi F, Takenaka K, et al.	第一内科	Efficacy of prophylactic letermovir for cytomegalovirus reactivation in hematopoietic cell transplantation: a multicenter real-world data	Bone Marrow Transplant. 2021 Apr;56(4):853-862.	Original Article
10	Moriyama S, Fukata M, Yokoyama T, et al.	第一内科	Case Report: Cardiac Tamponade in Association With Cytokine Release Syndrome Following CAR-T Cell Therapy	Front Cardiovasc Med. 2022 Mar 21;9:848091.	Case report
11	Toru Maruyama, Michinari Hieda, Tetsuji Koyama他	第一内科	Estimation of Red Cell Filterability Using Two-Step Nickel Mesh Filtration System: A Feasibility Study of Tandem Filtration	The authors have no conflicts of interest to declare 2021 1-Sep e1-e6	Original Article
12	Michinari Hieda, MD, MS, PhD; Satyam Sarma, MD; Christopher M. Heaton Jr, PhD他	第一内科	One-Year Committed Exercise Training Reverses Abnormal Left Ventricular Myocardial Stiffness in Patients With Stage B Heart Failure With Preserved Ejection Fraction	Circulation. 2021 Sep 21;144(12):934-946.	Original Article
13	Toru Maruyama, Michinari Hieda, Shiro Mawatari他	第一内科	Rheological Abnormalities in Human Erythrocytes Subjected to Oxidative Inflammation	Front Physiol. 2022 Feb 23;13:837926.	Review
14	Tani N, Kawai N, Chong Y, et al.	第一内科	Susceptibility of epidemic viruses to neuraminidase inhibitors and treatment-emergent resistance in the Japanese 2019-20 influenza season.	J Infect. 2022 Feb;84(2):151-157	Original Article

小計:14件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
15	Tani N, Kawai N, Ikematsu H, et al.	第一内科	Duration of fever and other symptoms after the inhalation of laninamivir octanoate hydrate: A study of the 2017/18 and 2018/19 seasons and comparison with the 2011/12 to 2016/17 Japanese influenza seasons	J Infect Chemother. 2022 Jul;28(7):890-895.	Original Article
16	Tani N, Chong Y, Kurata Y, et al.	第一内科	Relation of fever intensity and antipyretic use with specific antibody response after two doses of the BNT162b2 mRNA vaccine.	Vaccine. 2022 Mar 18;40(13):2062-2067	Original Article
17	Schaal JB, Eriguchi Y, Tran DQ et.al	第一内科	A host-directed macrocyclic peptide therapeutic for MDR gram negative bacterial infections	Sci Rep. 2021 Dec 6;11(1):23447	Original Article
18	COVID-19 Host Genetics Initiative: Mari E K Niemi, Juha Karjalainen, Rachel G Liao et.al	第一内科	Mapping the human genetic architecture of COVID-19	Nature. 2021 Dec;600(7889):472-477	Original Article
19	Arinobu Y, Kashiwado Y, Miyawaki K, et al	第一内科	Autoimmune manifestations associated with myelodysplastic syndrome predict a poor prognosis.	Medicine (Baltimore). 2021 Apr 2;100(13):e25406.	Original Article
20	Kawano S, Mitoma H, Inokuchi S, et al	第一内科	TNFR2 Signaling Enhances Suppressive Abilities of Human Circulating T Follicular Regulatory Cells.	J Immunol. 2022 Mar 1;208(5):1057-1065	Original Article
21	Kushimoto K, Ayano M, Nishimura K, et al	第一内科	HLA-B52 allele in giant cell arteritis may indicate diffuse large-vessel vasculitis formation: a retrospective study	Arthritis Res Ther. 2021 Sep 13;23(1):238	Original Article
22	Imabayashi K, Ayano M, Higashioka K, et al	第一内科	Infliximab for reversible dementia in acute onset of neuro-Behçet's disease: A case report and cytokine analysis	J Neuroimmunol. 2021 Aug 15;357:577631	Case report
23	Ayano M, Kimoto Y, Mitoma H, et al	第一内科	Hydroxychloroquine versus tacrolimus for the treatment of persistently active systemic lupus erythematosus.	Mod Rheumatol. 2022 Feb 28;32(2):345-350	Original Article
24	Yamanaka I, Yamauchi T, Henzan T, et al.	第一内科	Optimization of lymphapheresis for manufacturing autologous CAR-T cells	Int J Hematol. 2021 Oct;114(4):449-458	Original Article
25	Henzan T, Yamauchi T, Yamanaka I, et al.	第一内科	Granulocyte collection by polymorphonuclear cell-targeting apheresis with medium-molecular-weight hydroxyethyl starch	Int J Hematol. 2021 Dec;114(6):691-700	Original Article
26	Hatakeyama, K., Hieda, M., Semba, Y. et al.,	第一内科	TET2 Clonal Hematopoiesis Is Associated With Anthracycline-Induced Cardiotoxicity in Patients With Lymphoma.	JACC CardioOncol. 2022 Mar 15;4(1):141-143	Original Article
27	Kikushige Y	第一内科	TIM-3 in normal and malignant hematopoiesis: Structure, function, and signaling pathways.	Cancer Sci. 2021 Sep;112(9):3419-3426.	Review
28	Nakano T, Tanaka S, Tsuruya K, Kitazono T.	第二内科	Relationship between serum lipid concentrations and impaired renal function in patients with chronic kidney disease: the Fukuoka Kidney Disease Registry Study	Clin Exp Nephrol. 2021 Apr;25(4):385-393.	Original Article
29	Tsuneyoshi S, Matsukuma Y, Kawai Y, et al	第二内科	Association between geriatric nutritional risk index and stroke risk in hemodialysis patients: 10-Years outcome of the Q-Cohort study	Atherosclerosis. 2021 Apr;323:30-36.	Original Article
30	Yamada S, Tanaka S, Arase H, et al	第二内科	Associations Between Surrogates of Skeletal Muscle Mass and History of Bone Fracture in Patients with Chronic Kidney Disease: The Fukuoka Kidney disease Registry (FKR) Study	Calcif Tissue Int. 2021 Oct;109(4):393-404.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
31	Tanaka S, Nakano T, Hiyamuta H, Tsuruya K, Kitazono T	第二内科	Association between Multimorbidity and Kidney Function among Patients with Non-Dialysis-Dependent CKD	J Atheroscler Thromb. 2021 Oct 2.	Original Article
32	Matsukuma Y, Nakayama M, Tsuda S, et al	第二内科	Association between the urinary sodium-to-potassium ratio and renal outcomes in patients with chronic kidney disease: a prospective cohort study	Hypertens Res. 2021 Nov;44(11):1492-1504.	Original Article
33	Shimamoto S, Yamada S, Hiyamuta H, et al	第二内科	Association of the nutritional risk index for Japanese hemodialysis patients with long-term mortality: The Q-Cohort Study	Clin Exp Nephrol. 2022 Jan;26(1):59-67.	Original Article
34	Yamada S, Arase H, Yoshida H et al	第二内科	Malnutrition-Inflammation Complex Syndrome and Bone Fractures and Cardiovascular Disease Events in Patients Undergoing Hemodialysis: The Q-Cohort Study	Kidney Med. 2022 Jan 10;4(3):100408.	Original Article
35	Yamada S, Arase H, Taniguchi M et al	第二内科	Comparison of the predictability of serum creatinine-based surrogates of skeletal muscle mass for all-cause mortality in patients receiving hemodialysis: creatinine generation rate and creatinine index	Clin Exp Nephrol. 2022 May;26(5):488-489.	Original Article
36	Yamada S, Sonoda Y, Sugimachi K et al	第二内科	A case of Stappia indica-induced relapsing peritonitis confirmed by 16S ribosomal RNA gene sequencing analysis in a patient undergoing continuous ambulatory peritoneal dialysis	CEN Case Rep. 2021 Aug;10(3):402-408.	Case report
37	Kenichi Goto and Takanari Kitazono	第二内科	The Transient Receptor Potential Vanilloid 4 Channel and Cardiovascular Disease Risk Factors	Front Physiol. 2021 Sep 20;12:728979.	Review
38	Misato Esaki, Mitsuru Esaki, Kosuke maehara, et al	第三内科	Rubber band-assisted, one-person-operated cold snare polypectomy for colorectal polyps	Endosc Int Open. 2021 Nov 12;9(11):E1845-E1846.	Original Article
39	Sudo.N	心療内科	Possible role of the gut microbiota in the pathogenesis of anorexia nervosa	Biopsychosoc Med. 2021 Nov 29;15(1):25.	Original Article
40	Satoshi Izuno, Kazufumi Yoshihara, Nobuyuki Sudo	心療内科	Role of Gut Microbiota in the Pathophysiology of Stress-Related Disorders: Evidence from Neuroimaging Studies	Annals of nutrition & metabolism 77 Suppl 2 4-10 2021	Review
41	Shu Takakura, Kenta Toda, Makoto Yamasita, et al	心療内科	Potential impact of the COVID-19 pandemic on japanese patients with eating disorders -a cross-sectional study	Biopsychosoc Med. 2022 Jan 6;16(1):2.	Original Article
42	Tomioka M, Hosoi M, Okuzawa T et al	心療内科	The effectiveness of Pictorial Representation of Illness and Self Measure (PRISM) for the assessment of the suffering and quality of interpersonal relationships of patients with chronic pain	Biopsychosoc Med. 2021 Nov 20;15(1):22.	Original Article
43	Zhang X, Yoshihara K, Miyata N, et al	心療内科	Dietary tryptophan, tyrosine, and phenylalanine depletion induce reduced food intake and behavioral alterations in mice	Physiol Behav. 2022 Feb 1;244:113653.	Original Article
44	Asada M, Shibata M, Hirabayashi N, et al.	心療内科	Association between chronic low back pain and regional brain atrophy in a Japanese older population: the Hisayama Study	Pain. 2022 Mar 15.	Original Article
45	Fujimoto K, Hosoi M, Katsuki R, et al.	心療内科	Psychological Traits of Patients With Depression Comorbid With Chronic Pain: Are Complaint and Competitive Tendency Related to Pain?	Front Psychiatry. 2022 Feb 10;13:825422.	Original Article
46	Kimura S, Hosoi M, Otsuru N, et al.	心療内科	A Novel Exercise Facilitation Method in Combination with Cognitive Behavioral Therapy Using the Ikiiki Rehabilitation Notebook for Intractable Chronic Pain: Technical Report and 22 Cases	Healthcare (Basel). 2021 Sep 14;9(9):1209.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
47	Shibata M, Ohara T, Hosoi M, et al.	心療内科	Emotional Loneliness Is Associated With a Risk of Dementia in a General Japanese Older Population: The Hisayama Study	J Gerontol B Psychol Sci Soc Sci. 2021 Oct 30;76(9):1756-1766.	Original Article
48	Fujii T, Lee E-J, Miyachi Y, et al	脳神経内科	Anti-Plexin D1 antibodies relate to small fiber neuropathy and induce neuropathic pain in animals	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm. 2021 Jun 7;8(5):e1028.	Original Article
49	Une H*, Yamasaki R*, Nagata S, et al *Equal contribution	脳神経内科	Brain gray matter astroglia-specific connexin 43 ablation attenuates spinal cord inflammatory demyelination	J Neuroinflammation. 2021 Jun 5;18(1):126.	Original Article
50	Saitoh B, Tanaka E, Yamamoto N, et al	脳神経内科	Early postnatal allergic airway inflammation induces dystrophic microglia leading to excitatory postsynaptic surplus and autism-like behavior	Brain Behav Immun. 2021 Jul;95:362-380.	Original Article
51	Uehara T, Shigeto H, Mukaino T, et al	脳神経内科	Rapidly spreading seizures arise from large-scale functional brain networks in focal epilepsy	Neuroimage. 2021 Aug 15;237:118104.	Original Article
52	Mizuno Y, Abolhassani N, Mazzei G, et al	脳神経内科	MUTYH Actively Contributes to Microglial Activation and Impaired Neurogenesis in the Pathogenesis of Alzheimer's Disease	Oxid Med Cell Longev. 2021 Dec 21;2021:8635088.	Original Article
53	Shiraishi W, Yamasaki R, Hashimoto Y, et al	脳神経内科	Clearance of peripheral nerve misfolded mutant protein by infiltrated macrophages correlates with motor neuron disease progression	Sci Rep. 2021 Aug 12;11(1):16438.	Original Article
54	Tanaka K, Matsumoto S, Nakazawa Y, et al	脳神経内科	Delays in Presentation Time Under the COVID-19 Epidemic in Patients With Transient Ischemic Attack and Mild Stroke: A Retrospective Study of Three Hospitals in a Japanese Prefecture	Front Neurol. 2021 Oct 27;12:748316.	Original Article
55	Miyachi Y † , Fujii T † , Yamasaki R, et al †Equal contribution	脳神経内科	Serum Anti-oligodendrocyte Autoantibodies in Patients With Multiple Sclerosis Detected by a Tissue-Based Immunofluorescence Assay	Front Neurol. 2021 Aug 5;12:681980.	Original Article
56	Hayashi F, Isobe N, Cossu D, et al	脳神経内科	Elevated mycobacterium avium subsp. paratuberculosis (MAP) antibody titer in Japanese multiple sclerosis	J Neuroimmunol. 2021 Nov 15;360:577701.	Original Article
57	Tanaka K, Matsumoto S, Ainiding G, et al	脳神経内科	PON1 Q192R is associated with high platelet reactivity with clopidogrel in patients undergoing elective neurointervention: A prospective single-center cohort study	PLoS One. 2021 Aug 5;16(8):e0254067.	Original Article
58	Ishikita A, Sakamoto I, Yamamura K, Umemoto S, et al	循環器内科	Usefulness of 18 F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography/Computed Tomography in the Diagnosis of Infective Endocarditis in Patients With Adult Congenital Heart Disease	Circ J. 2021 Aug 25;85(9):1505-1513.	Original Article
59	Ide T, Kaku H, Matsushima S, et al	循環器内科	Clinical Characteristics and Outcomes of Hospitalized Patients With Heart Failure From the Large-Scale Japanese Registry Of Acute Decompensated Heart Failure (JROADHF)	Circ J. 2021 Aug 25;85(9):1438-1450.	Original Article
60	Enzan N, Matsushima S, Ide T, et al	循環器内科	Beta-Blocker Use Is Associated With Prevention of Left Ventricular Remodeling in Recovered Dilated Cardiomyopathy	J Am Heart Assoc. 2021 Jun 15;10(12):e019240.	Original Article
61	Nakashima R, Nishihara M, Iyonaga T, et al	循環器内科	Efficacy of thromboelastography in the management of anticoagulation for veno-venous extracorporeal membrane oxygenation in a coronavirus disease 2019 patient: A case report	Medicine (Baltimore). 2021 Jun 11;100(23):e26313.	Case report
62	Enzan N, Matsushima S, Ide T, et al	循環器内科	The Use of Angiotensin-Converting Enzyme Inhibitors or Angiotensin II Receptor Blockers Is Associated with the Recovered Ejection Fraction in Patients with Dilated Cardiomyopathy	Int Heart J. 2021 Jul 30;62(4):801-810.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
63	Tohyama T, Ide T, Ikeda M, et al	循環器内科	Machine learning-based model for predicting 1 year mortality of hospitalized patients with heart failure	ESC Heart Fail. 2021 Oct;8(5):4077-4085.	Original Article
64	Matoba T, Tsutsui H.	循環器内科	Pursuit of Optimal Targeted Temperature Management for Patients With Out-of-Hospital Cardiac Arrest	Circ J. 2021 Sep 24;85(10):1849-1850.	Letter
65	Ikeda M, Ide T, Tadokoro T, et al	循環器内科	Excessive Hypoxia-Inducible Factor-1 α Expression Induces Cardiac Rupture via p53-Dependent Apoptosis After Myocardial Infarction	J Am Heart Assoc. 2021 Sep 7;10(17):e020895.	Original Article
66	Shinohara K, Ikeda S, Enzan N, et al	循環器内科	Efficacy of intensive lipid-lowering therapy with statins stratified by blood pressure levels in patients with type 2 diabetes mellitus and retinopathy: Insight from the EMPATHY study	Hypertens Res. 2021 Dec;44(12):1606-1616.	Original Article
67	Masaki K, Hashimoto T, Katsuki M, et al	循環器内科	Fatal Pulmonary Hemorrhagic Infarction Caused by Pulmonary Vein Thrombotic Occlusion During Venoarterial Extracorporeal Membrane Oxygenation	Int Heart J. 2021 Sep 30;62(5):1182-1185.	Case report
68	Tsutsui H, Ide T, Ito H, et al	循環器内科	JCS/JHFS 2021 Guideline Focused Update on Diagnosis and Treatment of Acute and Chronic Heart Failure	J Card Fail. 2021 Dec;27(12):1404-1444.	Others
69	Enzan N, Matsushima S, Ide T, et al	循環器内科	Sex Differences in Time-Dependent Changes in B-Type Natriuretic Peptide in Hypertrophic Cardiomyopathy	Circ Rep. 2021 Sep 30;3(10):594-603.	Original Article
70	Ishikita A, Matsushima S, Ikeda S, et al	循環器内科	GFAT2 mediates cardiac hypertrophy through HBP-O-GlcNAcylation-Akt pathway	iScience. 2021 Nov 26;24(12):103517.	Original Article
71	Hiasa KI, Kaku H, Kawahara G, et al	循環器内科	Echocardiographic Structure and Function in Elderly Patients With Atrial Fibrillation in Japan – The ANAFIE Echocardiographic Substudy	Circ J. 2022 Jan 25;86(2):222-232.	Original Article
72	Enzan N, Hiasa KI, Ichimura K, et al	循環器内科	Delayed administration of epinephrine is associated with worse neurological outcomes in patients with out-of-hospital cardiac arrest and initial pulseless electrical activity: insight from the nationwide multicentre observational JAAM-OHCA (Japan Association for Acute Medicine) registry	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2022 Mar 3;zuac026.	Original Article
73	Yasuhiro Nakano 1*, Tetsuya Matoba 1, Yusaku Nagatomo. et al	循環器内科	Percutaneous coil embolization and stent implantation for multiple coronary-to-pulmonary artery fistulas with giant coronary aneurysms: a case report	Eur Heart J Case Rep. 2022 Mar 7;6(3):ytac104.	Case report
74	Kentaro Tanaka, Hajime Asahina, Junji Kishimoto et al.	呼吸器科	Osimertinib versus osimertinib plus chemotherapy for non-small cell lung cancer with EGFR (T790M)-associated resistance to initial EGFR inhibitor treatment: An open-label, randomised phase 2 clinical trial	Eur J Cancer. 2021 May;149:14-22.	Original Article
75	Hiroyuki Inoue, HiironoTsutsumi, Kentaro Tanaka et al.	呼吸器科	Increased plasma levels of damage-associated molecular patterns during systemic anticancer therapy in patients with advanced lung cancer	Transl Lung Cancer Res. 2021 Jun; 10(6): 2475-2486.	Original Article
76	Iwama E., Zenke Y., Sugawara S, et al.	呼吸器科	Trastuzumab emtansine for patients with non-small cell lung cancer positive for human epidermal growth factor receptor 2 exon-20 insertion mutations	Eur J Cancer. 2022 Feb;162:99-106.	Original Article
77	Liu R, Ota K, Iwama E, et al.	呼吸器科	Quantification of HER family dimers by proximity ligation assay and its clinical evaluation in non-small cell lung cancer patients treated with osimertinib	Lung Cancer. 2021 Aug;158:156-161.	Original Article
78	Yoneshima Y, Iwama E, Matsumoto S, et al	呼吸器科	Paired analysis of tumor mutation burden for lung adenocarcinoma and associated idiopathic pulmonary fibrosis	Sci Rep. 2021 Jun 17;11(1):12732	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
79	Yoneshima Y, Morita S, Ando M, et al	呼吸器科	Phase 3 Trial Comparing Nanoparticle Albumin-Bound Paclitaxel With Docetaxel for Previously Treated Advanced NSCLC	J Thorac Oncol. 2021 Sep;16(9):1523–1532.	Original Article
80	Furukawa R, Inoue H, Yoneshima Y, et al	呼吸器科	Cytotoxic chemotherapeutic agents and the EGFR-TKI osimertinib induce calreticulin exposure in non-small cell lung cancer	Lung Cancer. 2021 May;155:144–150.	Original Article
81	Shiraishi Y, Hakozaiki T, Nomura S, et al	呼吸器科	A Multicenter, Randomized Phase III Study Comparing Platinum Combination Chemotherapy Plus Pembrolizumab With Platinum Combination Chemotherapy Plus Nivolumab and Ipilimumab for Treatment-Naive Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Without Driver Gene Alterations: JCOG2007 (NIPPON Study)	Clin Lung Cancer. 2021 Oct 25;S1525–7304(21)00271–0.	Original Article
82	Keiko Kan-o, Yasuyoshi Washio, Tsuguto Fujimoto et al.	呼吸器科	Differences in the spectrum of respiratory viruses and detection of human rhinovirus C in exacerbations of adult asthma and chronic obstructive pulmonary disease	Respir Investig. 2022 Jan;60(1):129–136.	Original Article
83	Takeshita T, Matsumoto K, Furuta M et al.	呼吸器科	Airflow limitation and tongue microbiota in community-dwelling elderly individuals	ERJ Open Res. 2021 May 24;7(2):00616–2020.	Original Article
84	Ogawa T, Kan-O K, Shiota A et al.	呼吸器科	Inhibition of PI3K δ Differentially Regulates Poly I:C- and Human Metapneumovirus-Induced PD-L1 and PD-L2 Expression in Human Bronchial Epithelial Cells	Front Immunol. 2021 Nov 25;12:767666.	Original Article
85	Ando H., Suzuki K., and Yanagihara T.	呼吸器科	Insights into Potential Pathogenesis and Treatment Options for Immune-Checkpoint Inhibitor-Related Pneumonitis	Biomedicines. 2021 Oct 16;9(10):1484.	Review
86	Kotetsu Y., Yanagihara T., Suzuki K., et al.	呼吸器科	Imaging Changes and Immune-Checkpoint Expression on T Cells in Bronchoalveolar Lavage Fluid from Patients with Pulmonary Sarcoidosis	Biomedicines. 2021 Sep 16;9(9):1231.	Original Article
87	Yanagihara T., Tsubouchi K., Gholf M., et al.	呼吸器科	Connective-Tissue Growth Factor Contributes to TGF- β 1-Induced Lung Fibrosis	Am J Respir Cell Mol Biol. 2022 Mar;66(3):260–270.	Original Article
88	Yamaguchi S, Yahata H, Okugawa K, et al	産科婦人科	Hypersensitivity reaction to pegylated liposomal doxorubicin administration for Mullerian carcinoma in Japanese women	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Apr;47(4):1544–1548.	Original Article
89	Kodama K, Yahata H, Okugawa K, et al	産科婦人科	Prognostic outcomes and risk factors for recurrence after laser vaporization for cervical intraepithelial neoplasia: a single-center retrospective study	Int J Clin Oncol. 2021 Apr;26(4):770–776.	Original Article
90	Sonoda K, Ohgami T, Hachisuga M, et al	産科婦人科	Difficulty of cervical cancer diagnosis during pregnancy: A case series analysis of the clinicopathological characteristics and prognosis of cervical cancer diagnosed during pregnancy or within 6 months after parturition	Mol Clin Oncol. 2021 Apr;14(4):67.	Original Article
91	Yasunaga M, Yahata H, Okugawa K, et al	産科婦人科	Prognostic impact of the subclassification of Müllerian cancer stage IV in the FIGO 2014 staging system with a focus of extra-abdominal lymph node metastases	Int J Clin Oncol. 2021 Jul;26(7):1330–1335.	Original Article
92	Hachisuga K, Ohishi Y, Tomonobe H, et al	産科婦人科	Endometrial endometrioid carcinoma, grade 1, is more aggressive in the elderly than in the young	Histopathology. 2021 Nov;79(5):708–719.	Original Article
93	Kato K, Terauchi M	産科婦人科	Annual report of the Women's Healthcare Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2021	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Jan;48(1):34–48.	Original Article

小計:15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
94	Okugawa K, Yahata H, Hachisuga K, et al	産科婦人科	Evaluation of Clinical Significance of Lymphovascular Space Invasion in Stage IA Endometrial Cancer	Oncology. 2021 Dec; 100(4): 195-202	Original Article
95	Sato Y, Hidaka N, Sakai A, et al	総合周産期母子医療センター (母性胎児)	Evaluation of the efficacy of vaginal progesterone in preventing preterm birth after abdominal trachelectomy	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2021 Apr;259:119-124	Original Article
96	Nakahara K, Michikawa T, Morokuma S, et al	総合周産期母子医療センター (母性胎児)	Influence of physical activity before and during pregnancy on infant's sleep and neurodevelopment at 1-year-old	Sci Rep. 2021 Apr 14;11(1):8099	Original Article
97	Nakahara K, Michikawa T, Morokuma S, et al	総合周産期母子医療センター (母性胎児)	Association of maternal sleep before and during pregnancy with sleep and developmental problems in 1-year-old infants	Sci Rep. 2021 Jun; 11(1): 01-16	Original Article
98	Nakahara K, Morokuma S, Kato K	総合周産期母子医療センター (母性胎児)	Recent Topics in Fetal Behavioral Assessment	Donald School Journal of Ultrasound in Obstetrics and Gynecology. 2021 Jul-Sep; 15(3): 240-244	Review
99	Ogawa M, Hasuo Y, Taura Y, et al	総合周産期母子医療センター (母性胎児)	Attitude changes toward prenatal testing among women with twin pregnancies after the introduction of noninvasive prenatal testing: A single-center study in Japan	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Nov;47(11):3813-3820	Original Article
100	Kamura S, Sasaki A, Ogawa K, et al	総合周産期母子医療センター (母性胎児)	Periconceptional folic acid intake and disturbing factors: A single-center study in Japan	Congenit Anom (Kyoto). 2022 Jan;62(1):42-46	Original Article
101	Nakahara K, Michikawa T, Morokuma S, et al	総合周産期母子医療センター (母性胎児)	Association of maternal hemoglobin levels during pregnancy with sleep and developmental problems in 1-year-old infants: A cohort study	Health Sci Rep. 2022 Mar 9;5(2):e552	Original Article
102	Mizuguchi S, Gotoh K, Nakashima Y, et al.	小児科	Mitochondrial Reactive Oxygen Species Are Essential for the Development of Psoriatic Inflammation	Front Immunol. 2021 Aug 6;12:714897.	Original Article
103	Adachi S, Sonoda M, Ishimura M, et al.	小児科	Optimal biologics for juvenile idiopathic arthritis in an infection with SARS-CoV-2 α -variant	Pediatr Allergy Immunol. 2022 Jan;33(1):e13686.	Case report
104	Kanemasa H, Ishimura M, Eguchi K, et al.	小児科	The immunoregulatory function of peripheral blood CD71+ erythroid cells in systemic-onset juvenile idiopathic arthritis	Sci Rep. 2021 Jul 13;11(1):14396.	Original Article
105	Tetsuhara K, Kaku N, Watanabe Y, et al.	小児科	Predictive values of early head computed tomography for survival outcome after cardiac arrest in childhood: a pilot study	Sci Rep. 2021 Jun 8;11(1):12090.	Original Article
106	Sonoda M, Ishimura M, Eguchi K, et al.	小児科	Progressive B cell depletion in human MALT1 deficiency	Clin Exp Immunol. 2021 Dec;206(3):237-247.	Original Article
107	Egami N, Ochiai M, Ichiyama M, et al.	小児科	Clinical Impact of Heritable Thrombophilia on Neonatal-Onset Thromboembolism: A Nationwide Study in Japan	J Pediatr. 2021 Nov;238:259-267.e2.	Original Article
108	Koga Y, Sanefuji M, Toya S, et al.	小児科	Infantile neuroblastoma and maternal occupational exposure to medical agents	Pediatr Res. 2021 Jul 9.	Original Article
109	Sakai Y, Okuzono S, Schaaf CP, et al.	小児科	Translational pediatrics: clinical perspective for Phelan-McDermid syndrome and autism research	Pediatr Res. 2021 Oct 26.	Review

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
110	Chong PF, Torisu H, Yasumoto S, et al.	小児科	Clinical and electrophysiological features of acute flaccid myelitis: A national cohort study	Clin Neurophysiol. 2021 Oct;132(10):2456-2463.	Original Article
111	Adachi S, Torio M, Okuzono S, et al.	小児科	Vitamin A deficiency-associated corneal perforation in a boy with autism spectrum disorder: A case report and literature review	Nutrition. 2021 Oct;90:111275.	Review
112	Sonoda Y, Sonoda M, Yonemoto K, et al.	小児科	Favorable outcomes of interferon- α and ribavirin treatment for a male with subacute sclerosing panencephalitis	J Neuroimmunol. 2021 Sep 15;358:577656.	Case report
113	Kanemasa H, Nanishi E, Takada H, et al.	小児科	Overlapping Features in Kawasaki Disease-Related Arthritis and Systemic-Onset Juvenile Idiopathic Arthritis: A Nationwide Study in Japan	Front Pediatr. 2021 Jul 20;9:597458.	Original Article
114	Inoue H, Matsunaga Y, Sawano T, et al.	小児科	Survival outcomes of very low birth weight infants with trisomy 18	Am J Med Genet A. 2021 Nov;185(11):3459-3465.	Original Article
115	Yamamoto S, Shiraishi A, Ishimura M, et al.	小児科	Cytomegalovirus-Associated Hemolytic Anemia in an Infant Born to a Mother with Lupus	Neonatology. 2021 Jul 1;118(3):368-372.	Case report
116	Sanefuji M, Senju A, Shimono M, et al.	小児科	Breast feeding and infant development in a cohort with sibling pair analysis: the Japan Environment and Children's Study	BMJ Open. 2021 Aug 11;11(8):e043202.	Original Article
117	Lenhartová N, Ochiai M, Sawano T, et al.	小児科	Serum erythroferrone levels during the first month of life in premature infants	J Perinatol. 2022 Jan;42(1):97-102.	Original Article
118	Sonoda Y, Sanefuji M, Ichimiya Y, et al.	小児科	Age-related morphological differences in the spike-and-wave complexes of absence epilepsy	Epilepsy Res. 2021 Aug;174:106647.	Original Article
119	Yamamoto S, Koga Y, Ono H, et al.	小児科	Alectinib-responsive infantile anaplastic ganglioglioma with a novel VCL-ALK gene fusion	Pediatr Blood Cancer. 2021 Sep;68(9):e29122.	Case report
120	Sanefuji M, Sonoda Y, Ito Y, et al.	小児科	Physical growth and neurodevelopment during the first year of life: a cohort study of the Japan Environment and Children's Study	BMC Pediatr. 2021 Aug 25;21(1):360.	Original Article
121	Yada Y, Torio M, Koga Y, et al.	小児科	Brain-sparing cord blood transplantation for the borderline stage of adrenoleukodystrophy	Mol Genet Metab Rep. 2021 Jun 24;28:100778.	Case report
122	Taira R, Yamamura K, Maeda T, et al.	小児科	Paroxysmal sympathetic hyperactivity and the later development of epilepsy in a chemotherapy-associated brain damage	Brain Dev. 2021 Nov;43(10):1044-1050.	Case report
123	Ichimiya Y, Mizuguchi S, Motomura Y, et al.	小児科	Acute-phase electroencephalography for an infantile atypical teratoid/rhabdoid tumor	Clin Neurol Neurosurg. 2021 Oct;209:106922.	Case report
124	Yamamoto S, Koga Y, Tetsuhara K, et al.	小児科	Hemorrhagic stroke due to leukostasis in pediatric mixed-phenotype acute leukemia	Blood Res. 2021 Jun 30;56(2):60.	Original Article
125	Matsuoka R, Nagata H, Sakamoto I, et al.	小児科	Infective Endocarditis Associated with Mitral Regurgitation in Two Cases of Williams Syndrome	Journal of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery. 5(2021 May) (2):104-108.	Case report

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
126	Murata K, Onoyama S, Yamamura K, et al.	小児科	Kawasaki Disease and Vaccination: Prospective Case-Control and Case-Crossover Studies among Infants in Japan	Vaccines (Basel). 2021 Jul 30;9(8):839.	Original Article
127	Kohei Nakata, Hiroyuki Yamamoto, Hiroaki Miyata	第一外科	Comparison of outcomes between laparoscopic and open pancreaticoduodenectomy without radical lymphadenectomy: Results of coarsened exact matching analysis using national database systems	Asian J Endosc Surg. 2022 Jan;15(1):15-21.	Original Article
128	Keizo Kaku, Yasuhiro Okabe, Yu Sato	第一外科	Effective Technique for Pancreas Transplantation by Iliac Vascular Transposition, Without Heparin-Based Anticoagulation Therapy	World J Surg. 2022 Jan;46(1):215-222.	Original Article
129	Hiroshi Noguchi, Kei Nishiyama, Keizo Kaku	第一外科	Factors Associated With Height Among Pediatric Kidney Transplant Recipients Aged ≤16 Years: A Retrospective, Single-Center Cohort Study of 60 Transplants	Exp Clin Transplant. 2022 Jan;20(1):35-41.	Original Article
130	Saori Hayashi, Makoto Kubo, Kazuhisa Kaneshiro	第一外科	Genetic medicine is accelerating in Japan	Breast Cancer. 2022 Feb 21.	Original Article
131	Kukiko Sakihama, Yutaka Koga, Takeo Yamamoto	第一外科	RNF43 as a predictor of malignant transformation of pancreatic mucinous cystic neoplasm	Virchows Arch. 2022 Jan 23.	Original Article
132	Tomohiko Shinkawa, Kenoki Ohuchida, Yuki Mochida	第一外科	Subtypes in pancreatic ductal adenocarcinoma based on niche factor dependency show distinct drug treatment responses	J Exp Clin Cancer Res. 2022 Mar 10;41(1):89.	Original Article
133	Xingyi Pan, Jiaojiao Zhou, Qian Xiao	第一外科	Cancer-associated fibroblast heterogeneity is associated with organ-specific metastasis in pancreatic ductal adenocarcinoma	J Hematol Oncol. 2021 Nov 2;14(1):184.	Original Article
134	Shu Ichimiya, Akiko Fujimura, Muneyuki Masuda	第一外科	Contribution of pre-existing neoantigen-specific T cells to a durable complete response after tumor-pulsed dendritic cell vaccine plus nivolumab therapy in a patient with metastatic salivary duct carcinoma	Immunol Invest. 2021 Sep 5;1-17.	Original Article
135	Kazuhisa Kaneshiro, Makoto Kubo, Masahiko Taniguchi	第一外科	Current Status and Problems of Breast Cancer Treatment with Schizophrenia	Clin Breast Cancer. 2021 Nov 4;S1526-8209(21)00297-4.	Original Article
136	Mai Yamada, Makoto Kubo, Hidetaka Yamamoto	第一外科	Effect of the 2013 ASCO-CAP HER2 Testing Guideline on the Management of IHC/HER2 2+ Invasive Breast Cancer	Anticancer Res. 2021 Aug;41(8):4143-4149.	Original Article
137	Chikanori Tsutsumi, Kenoki Ohuchida, Koji Shindo	第一外科	High frequency of bone recurrence as an initial recurrence site after radical surgery in T1N3 gastric cancer: a propensity score matching analysis	Langenbecks Arch Surg. 2021 Nov;406(7):2305-2313.	Original Article
138	Yu Sato, Keizo Kaku, Yu Hisadome	第一外科	Impact of Recipient Age on Outcomes After Pancreas Transplantation	Transplant Proc. Jul-Aug 2021;53(6):2046-2051.	Original Article
139	Hiroshi Noguchi, Yu Hisadome, Yu Sato	第一外科	Impact of the introduction of pure retroperitoneoscopic living-donor nephrectomy on perioperative donor outcomes: A propensity score matching comparison with hand-assisted laparoscopic living-donor nephrectomy	Asian J Endosc Surg. 2021 Oct;14(4):692-699.	Original Article
140	Yu Sato, Hiroshi Noguchi, Takanori Me	第一外科	Impact of the Mayo Adhesive Probability Score on Donor and Recipient Outcomes After Living-donor Kidney Transplantation: A Retrospective, Single-center Study of 782 Transplants	Transplant Direct. 2021 Jul 16;7(8):e728.	Original Article
141	Haimin Feng, Taiki Moriyama, Kenoki Ohuchida	第一外科	N-acetyl cysteine induces quiescent-like pancreatic stellate cells from an active state and attenuates cancer-stroma interactions	J Exp Clin Cancer Res. 2021 Apr 15;40(1):133.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
142	Takafumi Morisaki, Makoto Kubo, Masayo Umebayashi	第一外科	Neoantigens elicit T cell responses in breast cancer	Sci Rep. 2021 Jun 30;11(1):13590.	Original Article
143	Akiko Sagara, Kohei Nakata, Tomohiro Yamashita	第一外科	New high-throughput screening detects compounds that suppress pancreatic stellate cell activation and attenuate pancreatic cancer growth	Pancreatology. 2021 Apr 20;S1424-3903(21)00141-1.	Original Article
144	Mengwen Zhang, Xingyi Pan, Kenji Fujiwara	第一外科	Pancreatic cancer cells render tumor-associated macrophages metabolically reprogrammed by a GARP and DNA methylation-mediated mechanism	Signal Transduct Target Ther. 2021 Oct 29;6(1):366.	Original Article
145	Satoko Koga, Hideya Onishi, Shogo Masuda	第一外科	PTPN3 is a potential target for a new cancer immunotherapy that has a dual effect of T cell activation and direct cancer inhibition in lung neuroendocrine tumor	Transl Oncol. 2021 Sep;14(9):101152.	Original Article
146	Akiko Sagara, Kohei Nakata, Sokichi Matsumoto	第一外科	Repositioning of duloxetine to target pancreatic stellate cells	Oncol Lett. 2021 Oct;22(4):744.	Original Article
147	Takanori Mei, Hiroshi Noguchi, Kanae Otsu	第一外科	Risk Factors and Optimal Methods for Incisional Hernias After Kidney Transplantation: A Single-Center Experience From Asia	Transplant Proc. 2021 Apr;53(3):1048-1054.	Original Article
148	Kinuko Nagayoshi, Shuntaro Nagai, Karen P. Zaguirre	第一外科	Securing the surgical field for mobilization of right-sided colon cancer using the duodenum-first multidirectional approach in laparoscopic surgery	Tech Coloproctol. 2021 Jul;25(7):865-874.	Original Article
149	Koji Tamura, Toshiya Abe, Haruyoshi Tanaka	第一外科	Serum Carboxypeptidase Activity and Genotype-Stratified CA19-9 to Detect Early-Stage Pancreatic Cancer	Clin Gastroenterol Hepatol. 2021 Oct 12;S1542-3565(21)01094-6.	Original Article
150	Kiyoshi Chinen, Naoaki Sakata, Gumpei Yoshimatsu	第一外科	Therapeutic effects of acylated ghrelin-specific receptor GHS-R1a antagonist in islet transplantation	Sci Rep. 2021 Oct 28;11(1):21239.	Original Article
151	Keizo Kaku, Yasuhiro Okabe, Yu Sato	第一外科	Predicting Operation Time and Creating a Difficulty Scoring System in Donor Nephrectomy	J Endourol. 2021 Nov;35(11):1623-1630.	Original Article
152	Yasuhiro Okabe, Hiroshi Noguchi, Yu Sato,	第一外科	Outcomes of Everolimus Plus Standard-Dose Tacrolimus Immunosuppression in De Novo Kidney Transplant: A Retrospective, Single-Center Study of 225 Transplants	Exp Clin Transplant. 2022 Mar;20(4):362-369.	Original Article
153	Kohei Nakata, Ryota Higuchi, Naoki Ikenaga	第一外科	Precision anatomy for safe approach to pancreatoduodenectomy for both open and minimally invasive procedure: A systematic review	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022 Jan;29(1):99-113.	Original Article
154	Masafumi Nakamura, Go Wakabayashi, Akihiko Tsuchida	第一外科	Precision anatomy for minimally invasive hepatobiliary pancreatic surgery: PAM-HBP Surgery Project	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022 Jan;29(1):1-3.	Original Article
155	Weiyu Guan, Kohei Nakata, Akiko Sagara	第一外科	ERAP2 is a novel target involved in autophagy and activation of pancreatic stellate cells via UPR signaling pathway	Pancreatology. 2022 Jan;22(1):9-19.	Original Article
156	Harada N, Yoshizumi T, Mori M	第二外科	Current review of machine perfusion in liver transplantation from the Japanese perspective	Surg Today. 2022 Mar;52(3):359-368.	Review
157	Nakanishi R, Fujimoto Y, Sugiyama M, et al	第二外科	Clinical impact of the triple-layered circular stapler for reducing the anastomotic leakage in rectal cancer surgery: Porcine model and multicenter retrospective cohort analysis	Ann Gastroenterol Surg. 2021 Oct 7;6(2):256-264.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
158	Nakanishi R, Oki E, Hasuda H, et al.	第二外科	Radiomics Texture Analysis for the Identification of Colorectal Liver Metastases Sensitive to First-Line Oxaliplatin-Based Chemotherapy	Ann Surg Oncol. 2021 Jun;28(6):2975-2985.	Original Article
159	Matsubara Y, Gonzalez L, Kiwan G, et al	第二外科	PD-L1 (Programmed Death Ligand 1) Regulates T-Cell Differentiation to Control Adaptive Venous Remodeling	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2021 Dec;41(12):2909-2922.	Original Article
160	Kurose S, Matsubara Y, Yoshino S, et al	第二外科	Influence of Internal Iliac Artery Embolization during Endovascular Aortic Repair Regarding Postoperative Sarcopenia and Midterm Survival	Ann Vasc Surg. 2021 Jul;74:148-157.	Original Article
161	Itoh S, Yoshizumi T, Harada N, et al.	第二外科	A no-ligation technique to prevent intraoperative hepatic artery dissection in living-donor liver transplantation	Surg Today. 2021 Nov;51(11):1877-1880.	Original Article
162	Takenaka.T, Tagawa T, Kohno M, et al.	第二外科	Consideration of the Optimal Surgical Procedure Based on the Risk of Recurrence in Clinical Stage 0 or IA Lung Adenocarcinoma	Anticancer Res. 2022 Feb;42(2):1137-1142.	Original Article
163	Shinichiro Y, Matsubara Y, Furuyama T, Kurose S, Yamashita S, Morisaki K, Mori M.	第二外科	Iliac Artery Aneurysms Expand in Quadratically Proportion to the Diameter	Ann Vasc Surg. 2022 May;82:258-264.	Original Article
164	Hu Q, Nonaka K, Wakiyama H, et al.	第二外科	Cytolytic activity score as a biomarker for antitumor immunity and clinical outcome in patients with gastric cancer	Cancer Med. 2021 May;10(9):3129-3138.	Original Article
165	Hu Q, Masuda T,	第二外科	Oxysterol binding protein-like 3 (OSBPL3) is a novel driver gene that promotes tumor growth in part through R-Ras/Akt signaling in gastric cancer	Sci Rep. 2021 Sep 28;11(1):19178.	Original Article
166	Morisaki K, Matsubara Y, Furuyama T, et al.	第二外科	Effects of Antithrombotic Therapy on Abdominal Aortic Aneurysm Sac Size after Endovascular Repair in Patients with Favorable Neck Anatomy	J Vasc Interv Radiol. 2022 Feb;33(2):113-119.	Original Article
167	Morisaki K, Matsubara Y, Kurose S, et al.	第二外科	Analysis of prognostic factors for postoperative complications and reinterventions after open surgical repair and endovascular aneurysm repair in patients with abdominal aortic aneurysm	Ann Vasc Surg. 2021 Nov;77:172-181.	Original Article
168	Harada A, Morisaki K, Kurose S, et al.	第二外科	Internal Iliac Artery Aneurysm Ruptures with No Visualized Endoleak 2 Years after Endovascular Repair	Ann Vasc Dis. 2022 Mar 25;15(1):45-48.	Case report
169	Itoh S, Tsujita E, Fukuzawa K, et al.	第二外科	Prognostic significance of preoperative PNI and CA19-9 for pancreatic ductal adenocarcinoma: A multi-institutional retrospective study	Pancreatology. 2021 Oct;21(7):1356-1363.	Original Article
170	Itoh S, Yoshizumi T, Tomiyama T, et al.	第二外科	Impact and risk factors for skeletal muscle mass loss after hepatic resection in patients with hepatocellular carcinoma	JGH Open. 2021 Jun 10;5(7):785-792.	Original Article
171	Fujita T, Hamai S, Shiimoto K, et al.	整形外科	Analysis of factors influencing patient satisfaction after total hip arthroplasty in a Japanese cohort: the significant effect of postoperative physical activity	J Phys Ther Sci. 2022 Feb;34(2):76-84.	Original Article
172	Shiimoto K, Hamai S, Ikebe S, et al.	整形外科	Computer simulation based on in vivo kinematics of a replaced hip during chair-rising for elucidating target cup and stem positioning with a safety range of hip rotation	Clin Biomech (Bristol, Avon). 2022 Jan;91:105537.	Original Article
173	Kiyohara M, Hamai S, Fujiyoshi D, et al.	整形外科	Evaluation of the balance function before and after total knee arthroplasty using Berg balance scale	Arch Orthop Trauma Surg. 2021 Oct 30.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
174	Kiyohara M, Hamai S, Gondo H, et al.	整形外科	Comparison of in vivo knee kinematics before and after bicruciate-stabilized total knee arthroplasty during squatting	BMC Musculoskelet Disord. 2021 Sep 12;22(1):772.	Original Article
175	Harada S, Hamai S, Shiimoto K, et al.	整形外科	Patient-reported outcomes after primary or revision total hip arthroplasty: A propensity score-matched Asian cohort study	PLoS One. 2021 May 27;16(5):e0252112.	Original Article
176	Shimada E, Matsumoto Y, Endo M, et al.	整形外科	Clinical benefits of vessel sealing system (LigaSure™) during surgery for soft tissue sarcoma: a propensity score matching analysis	Jpn J Clin Oncol. 2021 Aug 1;51(8):1242-1247.	Original Article
177	Shimada E, Endo M, Matsumoto Y, et al.	整形外科	Does the Use of Peripheral Immune-Related Markers Indicate Whether to Administer Pazopanib, Trabectedin, or Eribulin to Advanced Soft Tissue Sarcoma Patients?	J Clin Med. 2021 Oct 26;10(21):4972.	Original Article
178	Nakagawa M, Sekimizu M, Endo M, et al.	整形外科	Prognostic impact of IDH mutations in chondrosarcoma	J Orthop Sci. 2021 Sep 13;S0949-2658(21)00271-2.	Original Article
179	Fujiwara T, Kondo M, Yamada H, et al.	整形外科	Factors affecting patient satisfaction related to cost and treatment effectiveness in rheumatoid arthritis: results from the multicenter observational cohort study, FRANK Registry	Arthritis Res Ther. 2022 Feb 22;24(1):53.	Original Article
180	Harada S, Hamai S, Motomura G, et al.	整形外科	Evaluation of optimal implant alignment in total hip arthroplasty based on postoperative range of motion simulation	Clin Biomech (Bristol, Avon). 2022 Feb;92:105555.	Original Article
181	Takeuchi N, Kozono N, Nishii A, et al.	整形外科	Stump classification was correlated with retear in the suture-bridge and double-row repair techniques for arthroscopic rotator cuff repair	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2021 Aug;29(8):2587-2594.	Original Article
182	Toya M, Akasaki Y, Sueishi T et al.	整形外科	G protein-coupled receptor kinase 5 deletion suppresses synovial inflammation in a murine model of collagen antibody-induced arthritis	Sci Rep. 2021 May 18;11(1):10481.	Original Article
183	Takakura K, Akasaki Y, Kuramoto T et al.	整形外科	Angular accuracy of plain radiographic measurements in leg alignment: Teleoroentgenogram versus orthoroentgenogram	J Orthop Sci. 2022 May;27(3):642-647.	Original Article
184	Kurakazu I, Akasaki Y, Tsushima H et al.	整形外科	TGF β 1 signaling protects chondrocytes against oxidative stress via FOXO1-autophagy axis	Osteoarthritis Cartilage. 2021 Nov;29(11):1600-1613.	Original Article
185	Kawahara S, Mawatari T, Matsui G, et al.	整形外科	Malrotation of whole-leg radiograph less than 10 degrees does not influence preoperative planning in open-wedge high tibial osteotomy	J Orthop Res. 2021 Jul;39(7):1505-1511.	Original Article
186	Kitamura K, Fujii M, Iwamoto M et al.	整形外科	Effect of coronal plane acetabular correction on joint contact pressure in Periacetabular osteotomy: a finite-element analysis	BMC Musculoskelet Disord. 2022 Jan 14;23(1):48.	Original Article
187	Kitamura K, Fujii M, Iwamoto M et al.	整形外科	Is Anterior Rotation of the Acetabulum Necessary to Normalize Joint Contact Pressure in Periacetabular Osteotomy? A Finite-element Analysis Study	Clin Orthop Relat Res. 2022 Jan 1;480(1):67-78.	Original Article
188	Kitamura K, Fujii M, Ikemura S et al.	整形外科	Does Patient-specific Functional Pelvic Tilt Affect Joint Contact Pressure in Hip Dysplasia? A Finite-element Analysis Study	Clin Orthop Relat Res. 2021 Aug 1;479(8):1712-1724.	Original Article
189	Shimada E, Matsumoto Y, Nakagawa M et al.	整形外科	Methylation-mediated silencing of protein kinase C zeta induces apoptosis avoidance through ATM/CHK2 inactivation in dedifferentiated chondrosarcoma	Br J Cancer. 2022 May;126(9):1289-1300.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
190	Sakamoto K, Motomura G, Hamai S, et al	整形外科	Short-term results of total hip arthroplasty using a tapered cone stem for patients with previous femoral osteotomy	J Orthop. 2022 Feb 20;30:83–87.	Original Article
191	Motomura G, Mashima N, Imai H, et al	整形外科	Effects of porous tantalum on periprosthetic bone remodeling around metaphyseal filling femoral stem: a multicenter, prospective, randomized controlled study	Sci Rep. 2022 Jan 18;12(1):914.	Original Article
192	Baba S, Motomura G, Ikemura S, et al	整形外科	Risk factors for radiological changes after bipolar hemiarthroplasty for osteonecrosis of the femoral head	Mod Rheumatol. 2021 May;31(3):725–732.	Original Article
193	Xu M, Motomura G, Utsunomiya T, et al	整形外科	Traumatic subchondral fracture of the femoral head occurring concurrently with contralateral acetabular fracture	J Orthop Sci. 2022 Mar;27(2):495–499.	Case report
194	Kuwahara M, Akasaki Y, Kurakazu I, et al.	整形外科	C10orf10/DEPP activates mitochondrial autophagy and maintains chondrocyte viability in the pathogenesis of osteoarthritis	FASEB J. 2022 Feb;36(2):e22145.	Original Article
195	Soejima Y, Akasaki Y, Hamai	整形外科	Transverse osteotomy closer to tibial plateau is associated with larger postoperative change in valgus laxity after open-wedge high tibial osteotomy	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2021 Dec 3.	Original Article
196	Ikemura S, Hagio S, Akasaki Y	整形外科	Frequency and risk factor analyses of bone erosion of the distal interphalangeal joint in patients with rheumatoid arthritis: a cross-sectional study	Acta Reumatol Port. Jul-Sep 2021;46(3):239–245.	Original Article
197	Sakuragi T, Yamada H, Haraguchi A	整形外科	Autoreactivity of Peripheral Helper T Cells in the Joints of Rheumatoid Arthritis	J Immunol. 2021 May 1;206(9):2045–2051.	Original Article
198	Momii K, Fujiwara T, Mae T, et. al	整形外科	Risk factors for excessive postoperative sliding of femoral trochanteric fracture in elderly patients: A retrospective multicenter study	Injury. 2021 Nov;52(11):3369–3376.	Original Article
199	Hata K, Kobayakawa K, Saiwai H	整形外科	Epidural Fat Tissue is More Effective for Scar Prevention Than Conventional Subcutaneous Fat Grafting After Laminectomy in a Mouse Model	Spine (Phila Pa 1976). 2021 Nov 19.	Original Article
200	Kuwakado S, Kawaguchi K, Sakugawa A et al	整形外科	Factors Affecting the Length of Convalescent Hospital Stay Following Total Hip and Knee Arthroplasty	Prog Rehabil Med. 2021 Aug 27;6:20210033.	Original Article
201	Tanaka, S., Ohgidani, M., Hata, N. et al	脳神経外科	CD206 Expression in Induced Microglia-Like Cells From Peripheral Blood as a Surrogate Biomarker for the Specific Immune Microenvironment of Neurosurgical Diseases Including Glioma	Front Immunol. 2021 Jun 29;12:670131.	Original Article
202	Ushijima T, Tanoue Y, Oishi Y, et al	心臓血管外科	Chronologic Changes in Residual False Lumen Under Continuous-Flow Circulation	Ann Thorac Surg. 2021 Jun;111(6):e439–e441.	Case report
203	Harada T, Tanoue Y, Oishi Y, et al	心臓血管外科	Investigating the cause of hemolysis in patients supported by a pulsatile ventricular assist device	Heart Vessels. 2021 Jun;36(6):890–898.	Original Article
204	Ushijima T, Sonoda H, Tanoue Y, et al	心臓血管外科	A therapeutic concept to resolve a possible coronary desaturation under Ecpella support and maximize the potential for myocardial recovery: combination of veno-arteriovenous extracorporeal membrane oxygenation and Impella (VAVEcpella)	Perfusion. 2021 Jul;36(5):535–537.	Case report
205	Fuke Y, Ushijima T, Matsuyama S, et al	心臓血管外科	A new combination technique of the modified Robicsek wire fixation and plate fixation achieves effective repair of transverse sternal fracture: a report of two cases	Surg Case Rep. 2021 Aug 12;7(1):182.	Case report

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
206	Tanoue Y, Sonoda H, Ushijima T, et al	心臓血管外科	Successful papillary muscle approximation for severe mitral regurgitation via apical cuff hole in HeartMate 3 implantation via left anterior thoracotomy	J Artif Organs. 2021 Sep;24(3):368-371.	Original Article
207	Kan-o M, Kimura S, Shiose A	心臓血管外科	Left atrial myxoma resection through right mini-thoracotomy in a patient with retrosternal gastric tube	Eur J Cardiothorac Surg. 2022 Mar 24;61(4):960-962.	Case report
208	Fujita S, Tatewaki H, Nagatomo Y, et al	心臓血管外科	A case of tricuspid atresia with pulmonary valve absence coexisting coronary-right ventricular fistula	Gen Thorac Cardiovasc Surg 69(12):1585-1588, 2021, December	Case report
209	Yoshimaru K, Matsuura T, Yanagi Y,	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Reevaluation of concurrent acetylcholinesterase and hematoxylin and eosin staining for Hirschsprung's disease	Int Cancer Conf J. 2021 Jun 23;10(4):300-304.	Original Article
210	Omori A, Yoshimaru K, Souzaki R,	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Successful management of Wilms tumor accompanied by traumatic renal injury: a case report	Int Cancer Conf J 2021 Jun 23;10(4):300-304.	Case report
211	Yoshimaru K, Taguchi T, Fujiyoshi T,	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Surgical Extirpation of a Huge Desmoid Fibromatosis of the Right Buttock. Case Report of a successful International Collaboration	SN Compr Clin Med 2021 Apr; 3:1746-1751,	Case report
212	Hino Y, Hayashida M, Kitadai Y,	小児外科、成育外科、小腸移植外科	A case of tracheal agenesis: Prenatal imaging resembles esophageal atresia	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14753.	Case report
213	Yoshimaru K, Tamaki A, Matsuura T	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Palisading-like arrangement of immature ganglion cell in myenteric ganglia is a unique pathological feature of immaturity of ganglia	J Pediatr Surg. 2022 Mar 13;S0022-3468(22)00209-3.	Original Article
214	Takeuchi S, Inoue K, Kuretake K, et al.	皮膚科	Dupilumab shows slow, steady effectiveness for intractable prurigo in patients with atopic dermatitis	J Dermatol. 2021 May;48(5):638-644.	Original Article
215	Nakahara T, Kido-Nakahara M, Onozuka D, et al.	皮膚科	Efficacy of Dupilumab for Atopic Dermatitis According to Clinical Course and Clinical Findings: A Multicentre Retrospective Study	Acta Derm Venereol. 2021 Nov 10;101(11)	Original Article
216	Kido-Nakahara M, Yokote G, Yoshida M, et al.	皮膚科	Atopic Dermatitis Control Tool (ADCT): A useful tool for self-evaluation in patients with atopic dermatitis	J Dermatol. 2021 Dec;48(12):1951-1952.	Original Article
217	Tsuji G, Takai-Yumine A, Kato T, et al.	皮膚科	Metalloproteinase 1 downregulation in neurofibromatosis 1: Therapeutic potential of antimalarial hydroxychloroquine and chloroquine	Cell Death Dis. 2021 May 19;12(6):513.	Original Article
218	Ito T, Tanegashima K, Tanaka Y, et al.	皮膚科	Trop2 Expression in Extramammary Paget's Disease and Normal Skin	Int J Mol Sci. 2021 Jul 19;22(14):7706.	Original Article
219	Mitamura Y, Schulz D, Oro S, et al.	皮膚科	Cutaneous and systemic hyperinflammation drives maculopapular drug exanthema in severely ill COVID-19 patients	Allergy. 2022 Feb;77(2):595-608.	Original Article
220	Mitamura Y, Ogulur I, Pat Y, et al.	皮膚科	Dysregulation of the epithelial barrier by environmental and other exogenous factors	Contact Dermatitis. 2021 Dec;85(6):615-626.	Original Article
221	Murai-Yamamura M, Garcet S, Yamamura K, et al.	皮膚科	T H 2 cytokines and Staphylococcus aureus cooperatively induce atopic dermatitis-like transcriptomes	Allergy. 2021 Nov;76(11):3534-3537.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
222	A. Yokoyama, T. Ito and M. Furue.	皮膚科	Sudden and transient livedo reticularis as a manifestation of mononucleosis-like disease by cytomegalovirus	Clin Exp Dermatol. 2021 Aug;46(6):1158-1159.	Original Article
223	Tomoyo Matsuda-Taniguchi, Masaki Takemura, Takeshi Nakahara, et al.	皮膚科	The Antidiabetic Agent Metformin Inhibits IL-23 Production in Murine Bone-Marrow-Derived Dendritic Cells	J Clin Med. 2021 Nov 29;10(23):5610.	Original Article
224	Hashimoto H, Ito T, Yamada Y, et al.	皮膚科	Onychopapilloma presenting as longitudinal melanonychia: A case report and literature review	Australas J Dermatol. 2021 May;62(2):244-246.	Original Article
225	Hashimoto H, Ito T, Ohno F, et al.	皮膚科	Severe drug eruption induced by cyclin-dependent kinase 4 and 6 inhibitor	J Dermatol. 2021 Jul;48(7):e339-e340.	Original Article
226	Hashimoto H, Kaku-Ito Y, Furue M, et al.	皮膚科	Mucosal Invasion, but Not Incomplete Excision, Has Negative Impact on Long-Term Survival in Patients With Extramammary Paget's Disease	Front Oncol. 2021 Apr 15;11:642919.	Original Article
227	Hashimoto H, Kaku-Ito Y, Oda Y, et al.	皮膚科	CDK4: A Novel Therapeutic Target for Extramammary Paget's Disease	Front Oncol. 2021 Jul 29;11:710378.	Original Article
228	Hashimoto H, Ito T.	皮膚科	Current Management and Treatment of Extramammary Paget's Disease	Curr Treat Options Oncol. 2022 Jun;23(6):818-830.	Review
229	Takei I, Sawamura S, Kimura T, et al.	皮膚科	Amelanotic melanoma of the nail apparatus complicated with digital mucous cyst	Australas J Dermatol. 2022 Feb;63(1):e95-e96.	Original Article
230	Takei I, Sawamura S, Myangat T, et al.	皮膚科	Clinical significance of skin colonization of Pseudomonas aeruginosa in cutaneous squamous cell carcinoma	J Dermatol. 2021 Dec;48(12):e581-e582.	Original Article
231	Yumine A, Tsuji G.	皮膚科	Hydroxychloroquine induces matrix metalloproteinase 1 expression and apoptosis in neurofibromatosis type 1 Schwann cells	J Dermatol Sci. 2021 Nov;104(2):142-145.	Original Article
232	Shiota M, Terada N, Saito T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Differential prognostic factors in low- and high-burden de novo metastatic hormone-sensitive prostate cancer patients	2021 Apr; 112(4): 1524-1533.	Original Article
233	Shiota M, Sumikawa R, Onozawa M, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Editorial Comment to Regional and facility disparities in androgen deprivation therapy for prostate cancer from a multi-institutional Japan-wide database	Int J Urol. 2021 May;28(5):591-592.	Original Article
234	Shiota M, Fujimoto N, Matsumoto T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Differential Impact of TGFB1 Variation by Metastatic Status in Androgen-Deprivation Therapy for Prostate Cancer	Front Oncol. 2021 May 25;11:697955.	Original Article
235	Kobayashi S, Mutaguchi J, Kashiwagi E, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Clinical advantages of robot-assisted partial nephrectomy versus laparoscopic partial nephrectomy in terms of global and split renal functions: A propensity score-matched comparative analysis	Int J Urol. 2021 Jun;28(6):630-636.	Original Article
236	Matsumoto T, Shiota M, Nakamura M, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Efficacy and safety of cabazitaxel therapy in elderly (≥75 years) patients with castration-resistant prostate cancer: A multiinstitutional study	Prostate Int. 2021 Jun;9(2):96-100.	Original Article
237	Goto S, Sakoda Y, Adachi K, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Enhanced anti-tumor efficacy of IL-7/CCL19-producing human CAR-T cells in orthotopic and patient-derived xenograft tumor models	Cancer Immunol Immunother. 2021 Sep;70(9):2503-2515.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
238	Shiota M, Terada N, Kitamura H, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Novel metastatic burden-stratified risk model in de novo metastatic hormone-sensitive prostate cancer	Cancer Sci. 2021 Sep;112(9):3616-3626.	Original Article
239	Nagakawa S, Shiota M, Fujimoto N, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The impact of single-nucleotide polymorphisms on intravesical recurrence after bacillus Calmette-Guérin therapy for non-muscle invasive bladder cancer in a genome-wide association study	Urol Oncol. 2021 Oct;39(10):733.e17-733.e24.	Original Article
240	Shiota M, Blas L, Kobayashi S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Predictive factors of survival outcomes in first-line therapy for metastatic castration-resistant prostate cancer	Int J Urol. 2022 Jan;29(1):26-32.	Original Article
241	Shiota M, Fujimoto N, Sekino Y, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Clinical impact of HSD3B1 polymorphism by metastatic volume and somatic HSD3B1 alterations in advanced prostate cancer	Andrologia. 2022 Feb;54(1):e14307.	Original Article
242	Matsumoto T, Shiota M, Yamada S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Anticancer Effect of Second-line Treatment for Castration-Resistant Prostate Cancer Following First-line Treatment with Androgen Receptor Pathway Inhibitors	JMA J. 2022 Jan 17;5(1):83-90.	Original Article
243	Yamada S, Shiota M, Blas L, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prognostic impact of dose reduction in androgen receptor pathway inhibitors for castration-resistant prostate cancer	Prostate Int. 2022 Mar;10(1):50-55.	Original Article
244	Shiota M, Akamatsu S, Narita S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The association between missense polymorphisms in SRD5A2 and HSD3B1 and treatment failure with abiraterone for castration-resistant prostate cancer	Pharmacogenomics J. 2021 Aug;21(4):440-445.	Original Article
245	Onitsuka T, Hirano Y, Nemoto K et al	精神科神経科	Trends in big data analyses by multicenter collaborative translational research in psychiatry	Psychiatry Clin Neurosci. 2022 Jan;76(1):1-14.	Review
246	Hirano Y and Uhlhaas PJ	精神科神経科	Current findings and perspectives on aberrant neural oscillations in schizophrenia	Psychiatry Clin Neurosci. 2021 Dec;75(12):358-368.	Review
247	Hirano Y and Tamura T	精神科神経科	Recent findings on neurofeedback training for auditory hallucinations in schizophrenia	Curr Opin Psychiatry. 2021 May 1;34(3):245-252.	Review
248	YM, YK, MF et al.	眼科	Genotype and Long-term Clinical Course of Bietti Crystalline Dystrophy in Korean and Japanese Patients	Ophthalmol Retina. 2021 Dec;5(12):1269-1279.	Original Article
249	IW, SN, MY et al.	眼科	Retinal VEGF-A Overexpression Is Not Sufficient to Induce Lymphangiogenesis Regardless of VEGF-C Upregulation and Lyve1+ Macrophage Infiltration	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2021 Oct 4;62(13):17.	Original Article
250	YM, MA, EU et al.	眼科	Risk factors for myopia at 1-year corrected age following laser photocoagulation for retinopathy of prematurity	Eye (Lond). 2021 Oct;35(10):2820-2825.	Original Article
251	KI, MA, KM et al.	眼科	Drainage Retinotomy Confers Risk of Epiretinal Membrane Formation After Vitrectomy for Rhegmatogenous Retinal Detachment Repair	Am J Ophthalmol. 2022 Feb;234:20-27.	Original Article
252	SN, SS, KI et al.	眼科	Drusen and pigment abnormality predict the development of neovascular age-related macular degeneration in Japanese patients	PLoS One. 2021 Jul 27;16(7):e0255213.	Original Article
253	MA, HI, SN et al.	眼科	Study protocol for a multicentre, open-label, single-arm phase I/II trial to evaluate the safety and efficacy of ripasudil 0.4% eye drops for retinopathy of prematurity	BMJ Open. 2021 Jul 27;11(7):e047003.	Others

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
254	SN, YK, JH et al.	眼科	Volumetric Three-Dimensional Optical Coherence Tomography Angiography of Retinal Neovascularization in Proliferative Diabetic Retinopathy	Retin Cases Brief Rep. 2021 Jul 22.	Case report
255	MT, HY, YY et al.	眼科	A case of primary orbital solitary fibrous tumor with lung metastases 41 years after initial treatment	Orbit. 2021 Jul 14;1-5.	Case report
256	AT, EH, SN et al.	眼科	Surgical Outcomes of Contrast Sensitivity and Visual Acuity in Uveitis-Associated Cataract	Clin Ophthalmol. 2021 Jun 24;15:2665-2673.	Original Article
257	YK, MA, KMN et al.	眼科	Regional differences in genes and variants causing retinitis pigmentosa in Japan	Jpn J Ophthalmol. 2021 May;65(3):338-343.	Original Article
258	Y.R, M.T, J.R et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Clinical Management of Early-Stage Hypopharyngeal Squamous Cell Carcinoma: A Single-Institution Clinical Analysis	Ear Nose Throat J. 2021 Apr 28;1455613211013084.	Original Article
259	M.M, Y.R, J.R et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Cancer of the External Auditory Canal with Extensive Osteoradionecrosis of the Skull Base after Re-Irradiation with Particle Beams	Case Rep Oncol. 2021 Jul 13;14(2):1097-1102.	Case report
260	N.K,N.T,M.N et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Management of Residual Hearing with Cartilage Conduction Hearing Aid after Lateral Temporal Bone Resection: Our Institutional Experience	Audiol Res. 2021 Jun 9;11(2):263-274.	Original Article
261	K.N,N.T,W.T et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Prognostic Significance of Systemic Inflammatory Response in Cases of Temporal Bone Squamous Cell Carcinoma	Laryngoscope. 2021 Aug;131(8):1782-1789.	Original Article
262	K.N, H.K, N.T et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Subtotal temporal bone resection en bloc with the parotid gland and temporomandibular joint: a 2-dimensional operative video	Am J Otolaryngol. Jul-Aug 2021;42(4):103081.	Original Article
263	H.K,Y.R,M.M et	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Treatment Efficacy of PD-1 Inhibitor Therapy in Patients With Recurrent and/or Metastatic Salivary Gland Carcinoma	Anticancer Res. 2022 Feb;42(2):981-989.	Original Article
264	Tsurumaru D, Takatsu N, Kai S, et al.	放射線科	Measurement of circumferential tumor extent of colorectal cancer on CT colonography: relation to clinicopathological features and patient prognosis after surgery	Jpn J Radiol. 2021 Oct;39(10):966-972.	Original Article
265	Yamasaki Y, Ishigami K	放射線科	Dynamic Chest Radiography of Pulmonary Arteriovenous Malformation	Radiology. 2021 Aug;300(2):285.	Case report
266	Kikuchi K, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	Diagnostic accuracy for the epileptogenic zone detection in focal epilepsy could be higher in FDG-PET/MRI than in FDG-PET/CT	Eur Radiol. 2021 May;31(5):2915-2922.	Original Article
267	Togao O, Obara M, Kikuchi K, et al.	放射線科	Vessel-Selective 4D-MRA Using Superselective Pseudocontinuous Arterial Spin-Labeling with Keyhole and View-Sharing for Visualizing Intracranial Dural AVFs	AJNR Am J Neuroradiol. 2022 Mar;43(3):368-375.	Original Article
268	Takao S, Ushijima Y, Motomura Y, et al.	放射線科	Radiology- and gene-based risk stratification in small renal cell carcinoma: A preliminary study	PLoS One. 2021 Sep 7;16(9):e0256471.	Original Article
269	Fujita N, Handa A, Park JM, et al.	放射線科	Peritumoral Hyperintensity at Hepatobiliary Phase Gadoxetic Acid-enhanced MRI in Hepatic Neuroendocrine Tumors	Anticancer Res. 2022 Feb;42(2):911-917.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
270	Yoshiyuki Kitamura, Shingo Baba, Takuro Isoda, et al.	放射線科	Usefulness of semi-quantitative analysis in 123 I metaiodobenzylguanidine SPECT/CT for the differentiation of pheochromocytoma and cortical adenoma	Ann Nucl Med. 2022 Jan;36(1):95-102.	Original Article
271	Nakayama T, Umehara K, Shirozu K, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Association between ionized magnesium and postoperative shivering	J Anesth. 2021 Jun;35(3):412-419.	Original Article
272	Doi H, Matsuda T, Sakai A, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Early-life midazolam exposure persistently changes chromatin accessibility to impair adult hippocampal neurogenesis and cognition	Proc Natl Acad Sci U S A. 2021 Sep 21;118(38):e2107596118.	Original Article
273	Matsushita H, Shirozu K, Umehara K, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Association of an electromyographic tube for severe postoperative laryngeal edema and reintubation in neurosurgery: a retrospective study	J Anesth. 2021 Oct;35(5):611-616.	Original Article
274	Shirozu K, Nobukuni K, Umehara K, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Comparison of the Occurrence of Postoperative Shivering Between Sevoflurane and Desflurane Anesthesia	Ther Hypothermia Temp Manag. 2022 Jan 18.	Original Article
275	Taniguchi N, Hironaga N, Mitsudo T, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Late responses in the anterior insula reflect the cognitive component of pain: evidence of nonpain processing	Pain Rep. 2022 Feb 2;7(2):e984.	Original Article
276	Umehara K, Karashima Y, Yoshizumi T, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Factors Associated With Postreperfusion Syndrome in Living Donor Liver Transplantation: A Retrospective Study	Anesth Analg. 2022 Mar 28.	Original Article
277	Shirozu K, Nobukuni K, Funakoshi K, et al	麻酔科蘇生科・手術部	The effect of remimazolam on postoperative memory retention and delayed regeneration in breast surgery patients: Rationale and design of an exploratory, randomized, open, propofol-controlled, single-center clinical trial: A study protocol	Medicine (Baltimore). 2021 Dec 3;100(48):e27808.	Original Article
278	Matsushita K, Arai C, Nakayama T, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Complete atrio-ventricular block with coronary artery spasm due to direct laryngoscopy in a pediatric patient with laryngeal papillomatosis: a case report	JA Clin Rep. 2021 Apr 17;7(1):36.	Case report
279	Yamada C, Maeda A, Matsushita K, et al	麻酔科蘇生科・手術部	1-kHz high-frequency spinal cord stimulation alleviates chronic refractory pain after spinal cord injury: a case report	JA Clin Rep. 2021 Jun 8;7(1):46.	Case report
280	Maeda A, Araki K, Yamada C, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Treatment of trigeminal and glossopharyngeal neuralgia in an adolescent: a case report	JA Clin Rep. 2021 Aug 8;7(1):61.	Case report
281	Takahashi K, Imura K, Nobukuni K, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Anesthetic Management Using Low Fraction of Inspiratory Oxygen for Living Donor Liver Transplantation in a Patient With Hepatopulmonary Syndrome Complicated by Interstitial Pneumonia: A Case Report	Transplant Proc. 2021 Oct;53(8):2556-2558.	Case report
282	Ando T, Sumie M, Sasaki S, et al	麻酔科蘇生科・手術部	Anesthetic management of cesarean section in a patient with Takayasu's arteritis: a case report	JA Clin Rep. 2022 Jan 5;8(1):1.	Case report
283	Ogawa E, Kawano A, Oho A, et al.	総合診療科	Long-term hepatic function of patients with compensated cirrhosis following successful direct-acting antiviral treatment for hepatitis C virus infection	J Gastroenterol Hepatol. 2022 Feb;37(2):371-377.	Original Article
284	Ogawa E, Nakamuta M, Furusyo N, et al.	総合診療科	Long-term assessment of recurrence of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C after viral cure by direct-acting antivirals	J Gastroenterol Hepatol. 2022 Jan;37(1):190-199.	Original Article
285	Otonari J, Ikezaki H, Furusyo N, et al.	総合診療科	Do neuroticism and extraversion personality traits influence disease-specific risk factors for mortality from cancer and cardiovascular disease in a Japanese population?	J Psychosom Res. 2021 May;144:110422.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
286	Otonari J, Ikezaki H, Furusyo N, et al.	総合診療科	Association of lifestyle factors with osteoporosis and fracture in postmenopausal women: a Japanese cohort study	Menopause. 2021 Jul 26;28(11):1254-1263.	Original Article
287	Ikezaki H, Furusyo N, Nakashima R, et al.	総合診療科	Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS): a large prospective cohort study in Japan	BMJ Open. 2021 Dec 21;11(12):e053763.	Original Article
288	Kamizono K, Yoshida S, Yasumatsu R他	形成外科	Volumetric changes of transferred free anterolateral thigh flaps in head and neck lesions	Auris Nasus Larynx. 2021 Aug;48(4):751-757.	Original Article
289	Kadota H, Shimamoto R, Fukushima S他	形成外科	Lymphaticovenular anastomosis for lymph vessel injury in the pelvis and groin	Microsurgery. 2021 Jul;41(5):421-429	Original Article
290	Ryo Kiyokoba, Takeshi Uchiumi, Mikako Yagi, et al	検査部	Mitochondrial dysfunction-induced high hCG associated with development of fetal growth restriction and pre-eclampsia with fetal growth restriction	Sci Rep. 2022 Mar 8;12(1):4056.	Original Article
291	Tateishi H, #Setoyama D, Kang D, et al (# co-first)	検査部	The changes in kynurenine metabolites induced by rTMS in treatment-resistant depression: A pilot study	J Psychiatr Res. 2021 Jun;138:194-199.	Original Article
292	Setoyama D, Yeop LH, Moon JS, et al	検査部	Immunometabolic signatures predict recovery from thyrotoxic myopathy in patients with Graves' disease	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2022 Feb;13(1):355-367.	Original Article
293	Ueyanagi Y, Setoyama D, Kawakami D, et al	検査部	Fully Automated Quantitative Measurement of Serum Organic Acids via LC-MS/MS for the Diagnosis of Organic Acidemias: Establishment of an Automation System and a Proof-of-Concept Validation	Diagnostics (Basel). 2021 Nov 25;11(12):2195.	Original Article
294	Nomiyama T, Setoyama D, Yasukawa T, et al	検査部	Mitochondria metabolomics reveals a role of β -nicotinamide mononucleotide metabolism in mitochondrial DNA replication	J Biochem. 2022 Mar 3;171(3):325-338.	Original Article
295	MaiYoshino, MasamuneAihara, YasuhiroGotoh, et al	検査部	Stepwise Evolution of a Klebsiella pneumoniae Clone within a Host Leading to Increased Multidrug Resistance	mSphere. 2021 Dec 22;6(6):e0073421.	Original Article
296	Takashi shirasaka, Tsukasa Kojima, Yoshinori Funama, et al.	放射線部	Image quality improvement with deep learning-based reconstruction on abdominal ultrahigh-resolution CT: A phantom study	J Appl Clin Med Phys. 2021 Jul;22(7):286-296.	Original Article
297	Shinya Takarabe, Taku Kuramoto, Yusuke Shibayama, et al.	放射線部	Effect of beam quality and readout direction in the edge profile on the modulation transfer function of photostimulable phosphor systems via the edge method	J Med Imaging (Bellingham). 2021 Jul;8(4):043501.	Original Article
298	Hamasaki H, Shirasaka T, Ushijima Y, et al.	放射線部	Improvement of Image Quality Using Hybrid Iterative Reconstruction with Noise Power Spectrum Model in Computed Tomography During Hepatic Arteriography	J Belg Soc Radiol. 2021 Sep 14;105(1):43.	Original Article
299	Ryoji Mikayama, Takashi Shirasaka, Tsukasa Kojima, et al.	放射線部	Deep-learning reconstruction for ultra-low-dose lung CT: Volumetric measurement accuracy and reproducibility of artificial ground-glass nodules in a phantom study	Br J Radiol. 2022 Feb 1;95(1130):20210915.	Original Article
300	Hiroo Murazaki, Tatsuhiko Wada, Osamu Togao, et al.	放射線部	Optimization of 4D-MR angiography based on superselective pseudo-continuous arterial spin labeling combined with CENTRA-keyhole and view-sharing (4D-S-PACK) for vessel-selective visualization of the internal carotid artery and vertebrobasilar artery systems	Magn Reson Imaging. 2022 Jan;85:287-296.	Original Article
301	Yuki Sakai, Erina Kitamoto, Kazutoshi Okamura, et al.	放射線部	Low-radiation dose scan protocol for preoperative imaging for dental implant surgery using deep learning-based reconstruction in multidetector CT	Oral Radiol. 2022 Jan 29.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
302	Shinya Takarabe, Taku Kuramoto, Yusuke Shibayama, et al.	放射線部	Is the image quality of conventional chest radiography obtained from a two-layer flat panel detector affected by the internal structure of the detector?	Phys Med. 2022 Mar;95:176-181	Original Article
303	Chiba T, Murata M, Kawano T, Hashizume M, Akahoshi T.	救命救急セン ター・集中治 療部	Reflectance spectra analysis for mucous assessment	World J Gastrointest Oncol. 2021 Aug 15;13(8):822-834.	Review
304	Guo J, Akahoshi T, Mizuta Y, Murata M, Narahara S, Kawano T, Nagao Y, Zhang S, Tomikawa M, Kawanaka H, Hashizume M.	救命救急セン ター・集中治 療部	Histidine-Rich Glycoprotein Alleviates Liver Ischemia/Reperfusion Injury in Mice With Nonalcoholic Steatohepatitis	Liver Transpl. 2021 Jun;27(6):840-853.	Original Article
305	Hyodo F, Ito S, Eto H, Elhelaly AE, Murata M, Akahoshi T, Utsumi H, Matuso M	救命救急セン ター・集中治 療部	Free radical imaging of endogenous redox molecules using dynamic nuclear polarization magnetic resonance imaging	Free Radic Res. 2021 Apr;55(4):343-351.	Review
306	Yoshimaru K, Kaku N, Taku K, et al.	救命救急セン ター・集中治 療部	Mediastinal emphysema induced by minor intraoral toothbrush injury	Pediatr Int. 2021 Apr;63(4):488-489.	Case report
307	Kondo T, Kaku N, Hanaki Y, et al.	救命救急セン ター・集中治 療部	Maxillofacial injury caused by bamboo skewer penetrating the cranial cavity	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e15018.	Case report
308	Hongo T, Kuga R, Miyazaki M, et al.	病理診断科・ 病理部	Programmed Death-Ligand 1 Expression and Tumor- Infiltrating Lymphocytes in Temporal Bone Squamous Cell Carcinoma	Laryngoscope. 2021 Dec;131(12):2674-2683.	Original Article
309	Hongo T, Yamamoto H, Jiromaru R, et al.	病理診断科・ 病理部	PD-L1 expression, tumor-infiltrating lymphocytes, mismatch repair deficiency, EGFR alteration and HPV infection in sinonasal squamous cell carcinoma	Mod Pathol. 2021 Nov;34(11):1966-1978.	Original Article
310	Ishihara S, Iwasaki T, Kohashi K, et al.	病理診断科・ 病理部	The association between the expression of PD-L1 and CMTM6 in undifferentiated pleomorphic sarcoma	J Cancer Res Clin Oncol. 2021 Jul;147(7):2003- 2011.	Original Article
311	Ito Y, Kohashi K, Endo M, et al.	病理診断科・ 病理部	Clinicopathological and prognostic significance of H3K27 methylation status in malignant peripheral nerve sheath tumor: correlation with skeletal muscle differentiation	Virchows Arch. 2021 Dec;479(6):1233-1244.	Original Article
312	Iwasaki T, Kohashi K, Toda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Association of PD-L1 and IDO1 expression with JAK- STAT pathway activation in soft-tissue leiomyosarcoma	J Cancer Res Clin Oncol. 2021 May;147(5):1451- 1463.	Original Article
313	Jiromaru R, Yamamoto H, Yasumatsu R, et al.	病理診断科・ 病理部	p16 overexpression and Rb loss correlate with high-risk HPV infection in oropharyngeal squamous cell carcinoma	Histopathology. 2021 Sep;79(3):358-369.	Original Article
314	Kinoshita I, Kohashi K, Yamamoto H, et al.	病理診断科・ 病理部	Myxoeplithelioid tumour with chordoid features: a clinicopathological, immunohistochemical and genetic study of 14 cases of SMARCB1/INI1-deficient soft- tissue neoplasm	Histopathology. 2021 Oct;79(4):629-641.	Original Article
315	Kiyozawa D, Kohashi K, Takamatsu D, et al.	病理診断科・ 病理部	Morphological, immunohistochemical, and genomic analyses of papillary renal neoplasm with reverse polarity	Hum Pathol. 2021 Jun;112:48-58.	Original Article
316	Kohashi K, Yamamoto H, Yamada Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Brachyury expression in intracranial SMARCB1-deficient tumors: important points for distinguishing poorly differentiated chordoma from atypical teratoid/rhabdoid tumor	Hum Pathol. 2021 Jun;112:1-8.	Original Article

小計:15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
317	Mochidome N, Koga Y, Ohishi Y, et al.	病理診断科・病理部	Prognostic implications of the coexisting precursor lesion types in invasive gallbladder cancer	Hum Pathol. 2021 Aug;114:44-53.	Original Article
318	Shibui Y, Kohashi K, Tamaki A, et al.	病理診断科・病理部	The forkhead box M1 (FOXM1) expression and antitumor effect of FOXM1 inhibition in malignant rhabdoid tumor	J Cancer Res Clin Oncol. 2021 May;147(5):1499-1518.	Original Article
319	Tateishi Y, Yamada Y, Katsuki M, et al.	病理診断科・病理部	Pathological review of cardiac amyloidosis using autopsy cases in a single Japanese institution	Pathol Res Pract. 2021 Nov;227:153635.	Original Article
320	Toda Y, Kohashi K, Yamamoto H, et al.	病理診断科・病理部	Tumor microenvironment in giant cell tumor of bone: evaluation of PD-L1 expression and SIRP α infiltration after denosumab treatment	Sci Rep. 2021 Jul 20;11(1):14821.	Original Article
321	Toda Y, Yamada Y, Kohashi K, et al.	病理診断科・病理部	Prognostic implication of desmoplastic stroma in synovial sarcoma: A histological review	Pathol Res Pract. 2021 Dec;228:153668.	Original Article
322	Ishihara S, Kohashi K, Kuboyama Y, et al.	病理診断科・病理部	Parosteal osteosarcoma with a manifestation of subperiosteal low-grade central osteosarcoma	Skeletal Radiol. 2021 Sep;50(9):1903-1907.	Case report
323	Yamamoto H, Kusafuka K, Nozaki Y, et al.	病理診断科・病理部	Carcinoma showing thymus-like differentiation (CASTLE) of the salivary gland: Report of 2 cases of a hitherto under-recognized extrathyroid counterpart	Pathol Res Pract. 2021 Nov;227:153646.	Case report
324	Iwasaki T, Hayashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Merkel cell polyomavirus-negative Merkel cell carcinoma is associated with JAK-STAT and MEK-ERK pathway activation	Cancer Sci. 2022 Jan;113(1):251-260.	Original Article
325	Mori T, Yamada Y, Oda Y et al.	病理診断科・病理部	Clinicopathological and histopathological review of dedifferentiated liposarcoma: a comprehensive study of 123 primary tumours	Histopathology. 2022 Feb;80(3):538-557	Original Article
326	Oda Y, Tanaka K, Hirose T, et al.	病理診断科・病理部	Standardization of evaluation method and prognostic significance of histological response to preoperative chemotherapy in high-grade non-round cell soft tissue sarcomas	BMC Cancer. 2022 Jan 21;22(1):94.	Original Article
327	Honda H, Matsuzono K, Satoh K et al.	病理診断科・病理部	Detection of cutaneous prion protein deposits could help diagnose GPI-anchorless prion disease with neuropathy	Eur J Neurol. 2021 Jun;28(6):2133-2137.	Original Article
328	Honda H, Mori S, Watanabe A, et al.	病理診断科・病理部	Abnormal prion protein deposits with high seeding activities in the skeletal muscle, femoral nerve, and scalp of an autopsied case of sporadic Creutzfeldt-Jakob disease	Neuropathology. 2021 Apr;41(2):152-158.	Case report
329	Yagita K, Honda H, Ohara T, et al.	病理診断科・病理部	A Comparative Study of Site-Specific Distribution of Aging-Related Tau Astroglialopathy and Its Risk Factors Between Alzheimer Disease and Cognitive Healthy Brains: The Hisayama Study	J Neuropathol Exp Neurol. 2022 Jan 29;81(2):106-116.	Original Article
330	Mori S, Honda H, Hamasaki H, et al.	病理診断科・病理部	Transactivation response DNA-binding protein of 43 kDa proteinopathy and lysosomal abnormalities in spastic paraplegia type 11	Neuropathology. 2021 Aug;41(4):253-265.	Case report
331	Mori S, Suzuki SO, Honda H, et al.	病理診断科・病理部	Symmetrical glial hyperplasia in the brainstem of fibrodysplasia ossificans progressiva	Neuropathology. 2021 Apr;41(2):146-151.	Case report
332	Hamasaki H, Shijo M, Honda H, et al.	病理診断科・病理部	Concurrent cardiac transthyretin and brain β amyloid accumulation among the older adults: The Hisayama study	Brain Pathol. 2022 Jan;32(1):e13014.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
333	Fujii S, Ishibashi T, Kokura M, et al.	病理診断科・病理部	RAF1-MEK/ERK pathway-dependent ARL4C expression promotes ameloblastoma cell proliferation and osteoclast formation	J Pathol. 2022 Jan;256(1):119-133.	Original Article
334	Inoue A, Kiyoshima T, Yoshizaki K, et al.	病理診断科・病理部	Deletion of epithelial cell-specific p130Cas impairs the maturation stage of amelogenesis	Bone. 2022 Jan;154:116210.	Original Article
335	Takanori Yamashita, Yoshifumi Wakata, Hideki Nakaguma, et al	メディカルインフォメーションセンター	Machine learning for classification of postoperative patient status using standardized medical data	Comput Methods Programs Biomed. 2022 Feb;214:106583.	Original Article
336	Tasuku Okui, Masayuki Ochiai, Naoki Nakashima,	メディカルインフォメーションセンター	An Association between Maternal Occupations and Low Birth Weight Infants in Japan from 1995 to 2015	Int J Environ Res Public Health. 2021 Jul 29;18(15):8040.	Original Article
337	Kan-o K.	光学医療診療部	Respirology Case Reports: Past, present and futur	Respirol Case Rep. 2022 Mar 10;10(4):e0926.	Letter
338	Wang H, Itoh S, Nagao Y, et al	先端医工学診療部	Surgically resected hepatic mass caused by fascioliasis	Clin J Gastroenterol. 2021 Apr;14(2):662-667.	Case report
339	Nagano T, Itoh S, Nagao Y, et al	先端医工学診療部	Late recurrence of cancer stem cell-positive colorectal cancer liver metastases after 15 years	Clin J Gastroenterol. 2021 Apr;14(2):613-616.	Case report
340	Rikako S, Tomoaki I, Noriyuki S, et al	医療連携センター	Association between cortisol and left ventricular diastolic dysfunction in patients with diabetes mellitus	J Diabetes Investig. 2022 Feb;13(2):344-350.	Original Article
341	Yonekawa A, Shimono N	グローバル感染症センター	Clinical Significance of COVID-19 and Diabetes: In the Pandemic Situation of SARS-CoV-2 Variants including Omicron (B.1.1.529)	Biology (Basel). 2022 Mar 4;11(3):400.	Review
342	Yamada T, Soda M, Nishida R, et al.	グローバル感染症センター	Simplified daptomycin dosing regimen for adult patients with methicillin-resistant Staphylococcus aureus infections based on population pharmacokinetic analysis	Drug Metab Pharmacokinet. 2022 Jan 7;44:100444.	Original Article
343	Fu R, Tajima S, Shigematsu T, et al	薬剤部	Establishment of an experimental rat model of tacrolimus-induced kidney injury accompanied by interstitial fibrosis	Toxicol Lett. 2021 May 1;341:43-50.	Original Article
344	Ishida S, Makihara Y, Watanabe H, et al	薬剤部	Risk Factors for Gemcitabine-Induced Vascular Pain in Patients With Pancreatic Cancer	Ann Pharmacother. 2021 Jun;55(6):738-744.	Original Article
345	Belabbas T, Yamada T, Tsuchiya Y, et al	薬剤部	Development and Full Validation of a Bioanalytical Method for Quantifying Letermovir in Human Plasma Using Ultra-Performance Liquid Chromatography Coupled with Mass Spectrometry	Chem Pharm Bull (Tokyo). 2021 July;69(7):646-651.	Original Article
346	Matsukane R, Watanabe H, Hata K, et al	薬剤部	Prognostic significance of pre-treatment ALBI grade in advanced non-small cell lung cancer receiving immune checkpoint therapy	Sci Rep. 2021 Jul 23;11(1):15057.	Original Article
347	Nagata K, Tsuji T, Suetsugu K, et al	薬剤部	Detection of overdose and underdose prescriptions-An unsupervised machine learning approach	PLoS One. 2021 Nov 19;16(11):e0260315.	Original Article
348	Suetsugu K, Muraki S, Fukumoto J, et al	薬剤部	Effects of Letermovir and/or Methylprednisolone Coadministration on Voriconazole Pharmacokinetics in Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Population Pharmacokinetic Study	Drugs R D. 2021 Dec;21(4):419-429.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
349	Shigematsu T, Tajima S, Fu R, et al	薬剤部	The mTOR inhibitor everolimus attenuates tacrolimus-induced renal interstitial fibrosis in rats	Life Sci. 2022 Jan 1;288:120150.	Original Article
350	Kudo K, Isobe N, Ueda S, et al	国際医療部	Barriers to International Telemedicine Conferencing: A Survey of the National University Hospital Council of Japan	Telemed J E Health. 2022 Mar;28(3):433-439.	Original Article
351	Tian T, Miyazaki K, Chiba Y, et al.	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	An ex vivo organ culture screening model revealed that low temperature conditions prevent side effects of anticancer drugs	Sci Rep. 2022 Feb 23;12(1):3093.	Original Article
352	Jia L, Chiba Y, Saito K, et al.	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	The tooth-specific basic helix-loop-helix factor AmeloD promotes differentiation of ameloblasts	J Cell Physiol. 2022 Feb;237(2):1597-1606.	Original Article
353	Chiba Y, Yoshizaki K, Tian T, et al.	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	Integration of Single-Cell RNA- and CAGE-seq Reveals Tooth-Enriched Genes	J Dent Res. 2021 Nov 20;101(5):220345211049785.	Original Article
354	Yamada A, Yoshizaki K, Ishikawa M, et al.	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	Connexin 43-Mediated Gap Junction Communication Regulates Ameloblast Differentiation via ERK1/2 Phosphorylation	Front Physiol. 2021 Sep 24;12:748574.	Original Article
355	Al Thamin S, Chiba Y, Yoshizaki K, et al.	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	Transcriptional regulation of the basic helix-loop-helix factor AmeloD during tooth development	J Cell Physiol. 2021 Nov;236(11):7533-7543	Original Article
356	Sonoda S, Yoshimaru K, Yamaza H, et al.	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	Biliary atresia-specific deciduous pulp stem cells feature biliary deficiency	Stem Cell Res Ther. 2021 Nov 22;12(1):582.	Original Article
357	Sonoda S, Murata S, Kato H, et al.	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	Targeting of Deciduous Tooth Pulp Stem Cell-Derived Extracellular Vesicles on Telomerase-Mediated Stem Cell Niche and Immune Regulation in Systemic Lupus Erythematosus	J Immunol. 2021 Jun 15;206(12):3053-3063.	Original Article
358	Haruyama N, Yamaza T, Suzuki S, et al.	矯正歯科	Leucine rich amelogenin peptide prevents ovariectomy-induced bone loss in mice	PLoS One. 2021 Nov 15;16(11):e0259966.	Original Article
359	Deguchi K, Nomura S, Tsuchiya A, et al.	矯正歯科	Effects of the carbonate content in carbonate apatite on bone replacement	J Tissue Eng Regen Med. 2022 Feb;16(2):200-206.	Original Article
360	Arakawa M, Kitahara T, Inadomi D, et al.	矯正歯科	Molecular imaging in masseter muscle observed by muscle function magnetic resonance imaging and 31 P-magnetic resonance spectroscopy in patients with a jaw deformity	Clin Exp Dent Res. 2022 Feb;8(1):231-238.	Original Article
361	Taiga Ono, Atsushi Tomokiyo, Keita Ipposhi	歯内治療科	Generation of biohybrid implants using a multipotent human periodontal ligament cell line and bioactive core materials	J Cell Physiol. 2021 Sep;236(9):6742-6753.	Original Article
362	Ipposhi, K., Tomokiyo, A., Ono, T.	歯内治療科	Secreted Frizzled-Related Protein 1 Promotes Odontoblastic Differentiation and Reparative Dentin Formation in Dental Pulp Cells	Cells. 2021 Sep 21;10(9):2491.	Original Article
363	Shinichiro Yoshida, Hideki Sugii, Tomohiro Itoyama	歯内治療科	Development of a novel direct dental pulp-capping material using 4-META/MMA-TBB resin with nano hydroxyapatite	Mater Sci Eng C Mater Biol Appl. 2021 Nov;130:112426.	Original Article
364	Yamashita, K., Tomokiyo, A., Ono, T.	歯内治療科	Mineral trioxide aggregate immersed in sodium hypochlorite reduce the osteoblastic differentiation of human periodontal ligament stem cells	Sci Rep. 2021 Nov 11;11(1):22091.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
365	Hiroshi Kaneko, Daigaku Hasegawa, Tomohiro Itoyama	歯内治療科	Inhibition of c-Jun N-terminal kinase signaling promotes osteoblastic differentiation of periodontal ligament stem cells and induces regeneration of periodontal tissues	Arch Oral Biol. 2022 Feb;134:105323.	Original Article
366	Hideki Sugii, Mhd Safwan Albougha, Orié Adachi	歯内治療科	Activin A Promotes Osteoblastic Differentiation of Human Preosteoblasts through the ALK1-Smad1/5/9 Pathway	Int J Mol Sci. 2021 Dec 16;22(24):13491.	Original Article
367	Atsushi Tomokiyo, Daigaku Hasegawa, Taiga Ono	歯内治療科	Characterization of a clonal human periodontal ligament stem cell line exposed to methacrylate resin-, bioactive glass-, or silicon-based root canal sealers	Odontology. 2022 Jan;110(1):127-137.	Original Article
368	Hayashi M, Iwashita M, Nishimura Y, et al.	歯周病科	Adipose-specific C-C motif chemokine ligand (CCL) 19 overexpression drives the mice to both insulin resistance and weight gain	BMJ Open Diabetes Res Care. 2021 May;9(1):e001871	Original Article
369	Iwashita M, Hayashi M, Nishimura Y, et al.	歯周病科	The Link Between Periodontal Inflammation and Obesity	Curr Oral Health Rep. 2021;8(4):76-83.	Review
370	A Yamashita, T Sano, M Iwashita, et al.	歯周病科	A Case Report of Improved Palmoplantar Pustulosis following Periodontal Treatment and Possible Association with Diminished Systemic Subclinical Inflammation	Case Rep Dermatol Med. 2021 Oct 19;2021:5548760.	Case report
371	Fu J, Shinjo T*, Li Q, te al. (co-first authors)	歯周病科	Regeneration of glomerular metabolism and function by podocyte pyruvate kinase M2 in diabetic nephropathy	JCI Insight. 2022 Mar 8;7(5):e155260.	Original Article
372	Furuhashi A, Ayukawa Y, Atsuta I, et al	義歯補綴科	Soft Tissue Interface with Various Kinds of Implant Abutment Materials	J Clin Med. 2021 May 28;10(11):2386.	Original Article
373	Kinoshita K, Ogino Y, Oki K, et al	義歯補綴科	A Prospective Comparative Study of Mastication Predominance and Masticatory Performance in Kennedy Class I Patients	Healthcare (Basel). 2021 Jun 1;9(6):660.	Original Article
374	Atsuta I, Narimatsu I, Morimoto T, et al	義歯補綴科	Assessment of the Soft-Tissue Seal at the Interface between the Base of the Fixed Denture Pontic and the Oral Mucosa	Materials (Basel). 2021 Jul 16;14(14):3997.	Original Article
375	Tachibana K, Atsuta I, Tsukiyama Y, et al	義歯補綴科	The need for polishing and occlusal adjustment of zirconia prostheses for wear on antagonist teeth	Dent Mater J. 2021 May 29;40(3):650-656.	Original Article
376	Ogino Y, Matsushita Y, Sasaki M, et al	義歯補綴科	A 3-Year Prospective Study on Radiographic Marginal Bone Evaluation Around Platform-Shifting Implants with Internal Conical Connections	Int J Oral Maxillofac Implants. May-Jun 2021;36(3):574-580.	Original Article
377	Ogino Y, Suzuki H, Ayukawa Y, et al	義歯補綴科	Analyses of Swallowing Function and Its Related Factors in Community-Dwelling Elderly Patients: A Case-Control Study	J Clin Med. 2021 Aug 2;10(15):3437.	Original Article
378	Ogino Y, Suzuki H, Ayukawa Y, et al	義歯補綴科	Masticatory performance and other oral functions in community-dwelling elderly patients without posterior occlusal support by natural teeth	J Oral Sci. 2021 Oct 1;63(4):330-333.	Original Article
379	Chen X, Moriyama Y, Takemura Y, et al	義歯補綴科	Influence of osteoporosis and mechanical loading on bone around osseointegrated dental implants: A rodent study	J Mech Behav Biomed Mater. 2021 Nov;123:104771.	Original Article
380	Zhang X, Atsuta I, Narimatsu I, et al	義歯補綴科	Replacement Process of Carbonate Apatite by Alveolar Bone in a Rat Extraction Socket	Materials (Basel). 2021 Aug 9;14(16):4457.	Original Article

小計:16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
381	Koma Sanda, Yasunori Ayukawa, Noriyuki Yasunami, et al	義歯補綴科	Therapeutic effect of fluvastatin on medication-related osteonecrosis of the jaw	J Periodontol. 2021 Sep 12. doi: 10.1002/JPER.21-0294.	Original Article
382	Sanda K, Yasunami N, Matsushita Y, et al	義歯補綴科	Trueness of the combined intra- and extraoral scanning technique for transferring subgingival contours from provisional restorations to definitive restorations	The International Journal of Prosthodontics.:in press	Original Article
383	Koma Sanda, Noriyuki Yasunami, Maki Okada, et al	義歯補綴科	Accuracy of the Intra- and Extra-Oral Scanning Technique for Transferring the Intaglio Surface of a Pontic of Provisional Restorations to Definitive Restorations	Materials (Basel). 2021 Oct 29;14(21):6489.	Original Article
384	Kyosuke Oki, Yoichiro Ogino, Yuriko Takamoto, Mikio Imai, Yoko Takemura, asunori Ayukawa, Kiyoshi Koyano.	咬合補綴科	The Significance of Posterior Occlusal Support of Teeth and Removable Prosthesis in Oral Functions and Standing Motion	Int J Environ Res Public Health. 2021 Jun 24;18(13):6776.	Original Article
385	Munemura R, Maehara T, Murakami Y, et al	顎口腔外科	Distinct disease-specific Tfh cell populations in two different fibrotic diseases: IgG4-related disease and Kimura's disease	J Allergy Clin Immunol. 2022 May 11;S0091-6749(22)00622-4.	Original Article
386	Chinju A, Moriyama M, Kakizoe-Ishiguro N, et al	顎口腔外科	CD163+ M2 Macrophages Promote Fibrosis in IgG4-Related Disease Via Toll-like Receptor 7/Interleukin-1 Receptor-Associated Kinase 4/NF- κ B Signaling	Arthritis Rheumatol. 2022 May;74(5):892-901.	Original Article
387	Kai K, Moriyama M, Haque ASM, et al.	顎口腔外科	Oral Squamous Cell Carcinoma Contributes to Differentiation of Monocyte-Derived Tumor-Associated Macrophages via PAI-1 and IL-8 Production	Int J Mol Sci. 2021 Aug 31;22(17):9475.	Original Article
388	Tsukamoto M, Taura S, Yamanaka H, et.al.	歯科麻酔科	Prediction of appropriate formula for nasotracheal tube size in developmental disability children	Clin Oral Investig. 2021 Apr;25(4):2077-2080.	Original Article
389	Chikui T, Panyarak W, Tokumori K, et al.	口腔画像診断科	A comparison among gamma distribution, intravoxel incoherent motion, and mono-exponential models with turbo spin-echo diffusion-weighted MR imaging in the differential diagnosis of orofacial lesions	Dentomaxillofac Radiol. 2022 Jan 1;51(1):20200609.	Original Article
390	Akira Haraguchi1・ Shinichiro Yoshida・ Masaaki Takeshita et al	口腔総合診療科	Effects of ultraviolet irradiation equipment on endodontic disease-related bacteria	Lasers in Dental Science (Jan 2022) 6, pages 31-40	Original Article
391	Kiyomi Iyota, Shinsuke Mizutani, Hiro Kishimoto et al.	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Effect of Isometric Tongue Lifting Exercise on Oral Function, Physical Function, and Body Composition in Community-Dwelling Older Individuals: A Pilot Study	Gerontology. 2021 Sep 1;1-11.	Original Article
392	Shinsuke Mizutani, Rui Egashira, Masahiro Yamaguchi et al.	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Changes in oral and cognitive functions among older Japanese dental outpatients: A 2-year follow-up study	J Oral Rehabil. 2021 Oct;48(10):1150-1159.	Original Article
393	Nanami Kai , Yoko Tsukamoto, Kaoru Urabe et al.	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Factors That Influence the Judgment of Oral Management Necessity in Preoperative Oral Screening	Int J Environ Res Public Health. 2021 Nov 22;18(22):12236.	Original Article
394	Nozomi Eto, Junichi Yamazoe, Akiko Tsuji et al.	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Development of an artificial intelligence-based algorithm to classify images acquired with an intraoral scanner of individual molar teeth into three categories	PLoS One. 2022 Jan 7;17(1):e0261870.	Original Article

小計:14件

合計:394件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	高倉 修	心療内科	摂食障害に対する認知行動療法(CBT-E)とその普及啓発活動	臨床栄養 2021年10月 139巻5号 652-656頁	Original Article
2	山下 真,高倉 修	心療内科	内分泌系の心身症における心身相関-神経性やせ症の病態を中心に-	心身医学 2022年1月 62 巻号494号 57-64	Original Article
3	白石渉, 立石 貴久, 園田和隆, et al	脳神経内科	悪性腫瘍との鑑別が問題となり, 治療経過より脳幹結核腫と考えられた1例	臨床神経学, 61(4):253-257. 2021 Apr 21	Case report
4	磯部紀子	脳神経内科	多発性硬化症における遺伝的要因	福岡医学雑誌 112(3):171-175. 2021 Sep 25	Review
5	重藤寛史, 酒田あゆみ	脳神経内科	COVID19禍での脳波検査の実際	Epilepsy. メジカルビュー社、東京. vol 15(1):40-44. 2021 May	Review
6	山崎亮, 緒方 英紀	脳神経内科	IgG4抗NF155抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)における脳神経障害	末梢神経. 31(1):54-61. 2021 Jun 1	Original Article
7	山崎亮	脳神経内科	分子機構に基づいた慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)の新聞類と治療選択	日内会誌. 110(8):1591-1600. 2021 Aug 10	Review
8	松下拓也	脳神経内科	多発性硬化症の画像所見とモニタリング	日本臨牀. 79:1506-1514, 2021 Oct	Others
9	眞崎勝久	脳神経内科	多発性硬化症とBaló 病の分子免疫病理	日本臨牀. 79(10):1465-1475. 2021 Oct	Others
10	渡邊充	脳神経内科	脱髄性疾患の疾患活動性と治療反応性のモニタリング	日本臨牀, 79(10):1617-1622. 2021 Oct	Others
11	藤井敬之, 山崎亮, 宮地佑希野, et al	脳神経内科	抗Plexin D1抗体介在性神経障害性疼痛	自律神経, 58:163-168, 2021 Apr 15	Original Article
12	藤井敬之, 山崎亮	脳神経内科	自己抗体介在性小径線維ニューロパチー	末梢神経, 32(1):31-37, 2021 Jun 1	Letter
13	藤井敬之	脳神経内科	急性散在性脳脊髄炎とアトピー性脊髄炎	日本臨牀, 79(10):1553-1558. 2021 Oct	Others
14	小早川優子	脳神経内科	筋萎縮性側索硬化症の予後を反映した新規分類法の検討	難病と在宅ケア, Vol 27. No2:9-11, 2021 May	Others

小計: 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
15	林史恵, 磯部紀子	脳神経内科	多発性硬化症の疫学データー世界と比較した本邦の特徴	多発性硬化症診療と最新エビデンスと課題. 医学と薬学 79(4): 451-454. 2022 Mar 27	Original Article
16	福元尚子, 磯部紀子	脳神経内科	神経疾患治療とモノクローナル抗体 抗CD20抗体オクレリズマブ	月刊臨床神経科学. 中外医学社. 39(12): 1496-1498. 2021 Dec 1	Letter
17	林田翔太郎, 眞崎勝久	脳神経内科	同心円・層状病変におけるミクログリア・マクロファージの多様性とその役割: Baló 病と視神経脊髄炎の分子病理学的評価から	日本臨牀. 79(10): 1452-1458. 2021 Oct 1	Letter
18	磯邊 明子, 蔵本 和孝, 友延尚子, 他	産科婦人科	ARTにより妊娠成立後、帝王切開術で生児を獲得し得た総排泄腔遺残症術後患者の1例	日本女性医学学会雑誌. 2021 Jul; 28(4): 577-580	Case report
19	城戸 咲, 嘉村駿佑, 佐藤 由佳, 他	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	ワークショップ; 胎胞視認例に対する治療的頸管縫縮術の成否に関する所見	九州連合産科婦人科学会雑誌. 2022 Feb; 72: 11-16	Original Article
20	小川 昌宣	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	動き出したがんゲノム医療～九州大学病院での経験～	日本産婦人科・新生児血液学会誌. 2022 Mar; 31(2): 97-106	Review
21	堤規範、阿部俊也、岡山卓史	第一外科	膵癌と鑑別を要し膵切除を行った自己免疫性膵炎	日本臨床外科学会雑誌. 2021年 82 巻 6 号 p. 1063-1069	Review
22	堤規範、阿部俊也、中村聡	第一外科	膵癌切除後長期生存に関わる因子の検討	第52回日本膵臓学会大会, 2021.09	Review
23	小山虹輝、豊福篤志、久保顕博	第一外科	抗EGFR抗体薬併用化学療法が著効をみた切除不能Lynch症候群関連小腸癌の1例	日本臨床外科学会雑誌. 2021 年 82 巻 12 号 p. 2235-2245	Case report
24	小山虹輝、森泰寿、大塚隆生	第一外科	十二指腸憩室に対して外科的切除を行った1例	日本消化器外科学会雑誌. 2021 年 54 巻 3 号 p. 184-192	Case report
25	島田有貴、石川奈美、奥村隆志	第一外科	播種性骨髄癌症に対し mFOLFOX6/panitumumab療法が著効しPET-CTで標的病変が全て消失したS状結腸癌の1例	日本消化器外科学会雑誌. 2021 年 54 巻 11 号 p. 831-838	Case report
26	林昌孝、池永直樹、仲田興平	第一外科	膵頭十二指腸切除を行った腹腔動脈起始部狭窄を伴う門脈輪状膵の1例	日本臨床外科学会雑誌. 2021 年 82 巻 11 号 p. 2068-2073	Case report
27	田尻達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科	With and After COVID-19時代の小児外科	小児外科 53;102-105, 2021	Original Article
28	松浦俊治、内田康幸、河野雄紀、	小児外科、成育外科、小腸移植外科	肝損傷	小児外科 53;1140-1145, 2021	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
29	宗崎良太、田口智章	小児外科、成育外科、小腸移植外科	【消化管重複症のすべて】孤立性腸管重複症(後腹膜)	小児外科 53(9):990-993,2021年9月	Original Article
30	吉丸耕一郎、河野雄紀、白井 剛、	小児外科、成育外科、小腸移植外科	腸管神経異常に対するStem cell therapyの最前線	小児外科 56:595-597,2021	Original Article
31	吉丸耕一郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科	小児外科領域におけるstem cellを用いた病態解明と治療の展望	日本周産期・新生児医学会雑誌 56:595-597,2021	Original Article
32	川久保尚徳、田尻達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科	神経芽腫に対する全く新しいNK細胞養子免疫治療の開発	日本小児血液・がん学会雑誌 58(5):374-377,2021	Original Article
33	日野祐子、玉城昭彦、渋谷一、木下伊寿美、孝橋賢一、小田義直	小児外科、成育外科、小腸移植外科	恥骨腫瘍の1例	日本小児血液・がん学会雑誌 58(1):84,2021	Case report
34	YO, TI	眼科	加齢黄斑変性診療の変遷	あたらしい眼科 38:1431-1439,2021年12月	Review
35	M.D,M.Y	耳鼻咽喉・頭頸部外科	統計データから見えてきた好酸球性副鼻腔炎その特徴と課題	耳鼻と臨床 67(3):212-218, 2021年5月	Original Article
36	K.Y	耳鼻咽喉・頭頸部外科	吃音患者が自己実現の欲求を持つためのマズローの欲求段階説	日本音声言語医学会 62(3), 181-185, 2021.05	Review
37	K.Y	耳鼻咽喉・頭頸部外科	精神障害者保健福祉手帳を取得し就職できた吃音患者の1例	耳鼻と臨床 67(4):280-283, 2021.09	Case report
38	N.T	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Hidden hearing lossとAuditory processing disorder 正常聴力を示す非定型難聴の鑑別	耳鼻と臨床 67(5):340-344, 2021	Original Article
39	M.Y, M.D, N.T 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	腸腰筋膿瘍を合併した深頸部膿瘍の1例	耳鼻と臨床 67(5):325-328, 2021	Original Article
40	N.T	耳鼻咽喉・頭頸部外科	【ここまで進化した補聴器と人工内耳診療】難聴対策の現状 難聴対策推進議員連盟とJapan Hearing Vision	JOHNS(0910-6820)38巻2号 Page127-129(2022.02)	Original Article
41	M.M	耳鼻咽喉・頭頸部外科	咽頭癌と診断されるも、その後HIV感染症合併梅毒と判明した1例	耳鼻と臨床 68(2):136-139,2022.3	Case report
42	西ヶ野 千晶、崎村 正太郎、藤本 侑里、他	麻酔科蘇生科・手術部	弓部置換術中の大動脈解離フラップによる急性冠動脈閉塞の診断に経食道心エコー検査が有用であった1症例	麻酔(0021-4892)70巻6号 Page596-598(2021.06)	Case report

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
43	中島孝輔、牧盾、白水と宏、他	麻酔科蘇生科・手術部	ロラゼパム静注が診断と治療に有効だった悪性カトニアの1症例	日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)28巻5号 Page450-453(2021.09)	Case report
44	藤吉哲宏、坂田いつか、中山昌子、他	麻酔科蘇生科・手術部	眼科手術中に急性心筋梗塞を発症した1症例	循環制御 (0389-1844)42巻1号 Page36-40(2021.08)	Case report
45	長松大子、牧盾、藤本侑里、他	麻酔科蘇生科・手術部	メホルミン内服とプロポフォールを用いた全静脈麻酔が原因と考えられた乳酸アシドーシスの1症例	麻酔 70(12): 1365-1368(2021.12)	Case report
46	十時崇彰、伊藤隆史	麻酔科蘇生科・手術部	作用機序から考えるDIC治療戦略 敗血症性DICを中心に	臨床麻酔(0387-3668)46巻臨増 Page305-318(2022.03)	Review
47	十時崇彰、山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	【トロンボエラストグラム(ROTEMも含めて)の原理と応用】TEG 6sの原理と応用	Thrombosis Medicine(2186-0327)12巻1号 Page12-17(2022.03)	Review
48	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	【最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー 2021】抗血栓療法ガイドライン	麻酔科学レビュー(1884-8516)2021巻 Page235-241(2021.05)	Others
49	白水と宏、山浦健	麻酔科蘇生科・手術部	Chapte- I 4.術後脳機能(せん妄)とデクスメデトミジン	神経麻酔最前線-すべては患者の機能維持・向上のために-, 中外医学社(東京), Pp32-38(2021.6)	Others
50	松下克之、山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	質疑応答「左室収縮能が低下した患者の全身麻酔管理について」	臨床麻酔 45(4): 600-602, 2021年4月	Others
51	住江 誠、山浦健	麻酔科蘇生科・手術部	Question7 なぜ鎮静には専従する医療関係者が必要なのかを教えてください	鎮静・鎮痛の疑問Q&A, 中外医学社(東京), Pp28-29, 2021年6月	Others
52	中山 徹三、山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	Question8 鎮静に専従する医療関係者に必要な知識・技量について教えてください	鎮静・鎮痛の疑問Q&A, 中外医学社(東京), Pp30-31, 2021年6月	Others
53	牧 盾、山浦健	麻酔科蘇生科・手術部	高齢者麻酔のポイント50 Q34 高齢者に多い術後合併症について教えてください	高齢者麻酔のポイント50, 克誠堂出版(東京), Pp130-133, 2021年6月	Others
54	土井 浩義	麻酔科蘇生科・手術部	幼児期の麻酔処置で記憶障害 ニューロン新生の低下が一因	科学新聞, 2021.10.1, 第3843号(4)	Others
55	Kamizono K, Hayashi M 他	形成外科	後頭頭蓋拡大術におけるMRIでの静脈洞とCTでの頭蓋骨の三次元透見合成画像の有用性	日本頭蓋顎顔面外科学会誌 2021.12;37巻4号p109-114	Original Article
56	大野真依, 木部泰志, 清祐麻紀子, 他	検査部	Clostridioides difficile感染症診断におけるXpert C. difficileの性能評価.	医学検査:2021Apr 25;70(2): 286-290.	Original Article

小計: 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
57	川述由希子, 酒本美由紀, 梅村明, 他	検査部	IFCC法対応試薬(LD・ALP・AST・ALT)の基礎的 性能評価.	臨床化学:2021 Apr 30;50(2): 117-123.	Original Article
58	樋渡小夜, 青 木義政, 渡邊 久美子, 他	検査部	凝固分子マーカーを中心とした全自動血液凝固 測定装置CN-6500の基礎性能評価. 医療検査と 自動化.	医療検査と自動化:2021 Jun 1;46(3):243-247.	Original Article
59	上田沙央理, 内海健, 松本 信也, 他	検査部	マイクロベシクルが含有する核酸とミトコンドリア の解析. 臨床化学.	臨床化学:2022 Jan 31; 51(1):41-45.	Original Article
60	酒田あゆみ	検査部	特集 睡眠とてんかんー最新的话题をめぐって ー 終夜脳波記録をてんかん診療に活かす.	睡眠医療:2021 Jun 30; 15(2):147-153.	Original Article
61	榎本麻里	検査部	輸血・細胞治療領域の臨地実習 九州大学病院 の場合	臨床検査 Vol.65 No.3 260-265,2021年3月	Original Article
62	酒田あゆみ, 重藤寛史	検査部	COVID-19禍での脳波検査の実際	Epilepsy 15 40-44,2021年 5月	Original Article
63	清祐麻紀子	検査部	アウトブレイク時の環境培養	検査と技術 49 488- 494,2021年4月	Original Article
64	清祐麻紀子	検査部	感染症検査別(感染部位別)にみたDS 腹腔内 感染症	臨床と微生物 48 577- 583,2021年10月	Original Article
65	廣瀬 貴章, 有 村 秀孝, 二宮 健太,他	放射線部	肺癌定位放射線治療における治療計画 CT 画 像を用いたレディオミクス解析による放射線肺臓 炎予測	医用画像情報学会雑誌: 2021年7月;38(2):41-45	Original Article
66	阿部千恵、米 田玲子、 小田義直 他	病理診断科・ 病理部	下行結腸原発Histiocytic sarcomaの1例	診断病理. 2022 Jan;39(1)56-61	Case report
67	小田義直	病理診断科・ 病理部	骨・軟部腫瘍病理診断のポイント	日本整形外科学会雑誌. 2021 Oct;95(10):848-856	Review
68	木下伊寿美、 孝橋賢一、 小田義直	病理診断科・ 病理部	【第62回日本小児血液・がん学会学術集会】シン ポジウム5:小児がんの中央病理診断一次世代 へつなぐために 希少がんの病理診断支援体制ー骨軟部腫瘍を モデルに	日本小児血液・がん学会 雑誌. 2021 Nov;58(3):215- 217	Review
69	戸田雄、小田 義直	病理診断科・ 病理部	骨 治療方針を変える病理所見 診療ガイドラインと 治療戦略	病理と臨床. 2021 Apr;39(臨時増刊号):169- 175	Review
70	小田義直	病理診断科・ 病理部	SWI/SNF複合体発現欠失腫瘍	病理と臨床. 2021 Apr;39(5):506-509	Review

小計: 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
71	長尾 吉泰, 吉住朋晴, 沖英次	先端医工学診療部	臨床外科 肥満外科A to Z 肥満外科治療の治療困難例への対応	臨床外科Vol.76 No.4 2021: p479-487:医学書院 (2021年4月20日発行) ISSN 0386-9857	Others
72	長尾 吉泰, 原田 昇, 吉住朋晴	先端医工学診療部	消化器内視鏡外科手術トラブルシューティング、5 脾 大量出血に対する対処法:	腹腔鏡下脾臓摘出術時の術中トラブルp78-81:医学書院(2021年5月1日発行) ISBN978-4-260-04576-6	Others
73	長尾 吉泰, 吉住朋晴, 島垣智成	先端医工学診療部	術後合併症管理を極める「腹腔鏡下脾臓摘出術」	1. :消化器外科5 月号第44巻第5号p559~567:へるす出版(2021年5月10日発行)ISSN 0387-2645	Others
74	後 信	医療安全管理部	「医療事故調査制度」の現状と制度運営上の課題	医学のあゆみ Volume 280, Issue 2, 164 - 166 (2022.1)	Original Article
75	後 信	医療安全管理部	専門家のピアレビューによる質の向上と無過失補償制度	2021 年 41 巻 7 号 p. 642-655(2021.11)	Original Article
76	橋本昂介, 入佐俊弘, 石田茂, 他	薬剤部	職業性曝露防止に着目した廃棄容器からの抗がん薬汚染状況調査	医療薬学:2021,47(4):200-207.(2021.4)	Original Article
77	松本慎太郎, 石田茂, 渡邊裕之, 他	薬剤部	腎機能の低下したAIDS患者に対する初回治療としてのドルテグラビル+ラミブジン2剤療法が奏効した1例	日本病院薬剤師会雑誌:2021,57(10):1097-1101.(2021.10)	Case report
78	石田茂, 白倉由基, 田川慎二, 他	薬剤部	手術中止率に対する周術期支援センターにおける薬剤師の術前薬剤確認の効果に関する後ろ向き調査	医療薬学:2021,47(10):569-576.(2021.10)	Original Article
79	工藤孔梨子, 上田真太郎, 富松俊太, 他	国際医療部	オンラインでの国際間遠隔医療教育技術研修の実施と評価	日本遠隔医療学会雑誌, 17 (2), 104-107, 2021.09	Original Article
80	上田真太郎, 工藤孔梨子, 富松俊太, 他	国際医療部	Lecturers' and Students' Perspectives Toward the Shift to Online Teaching Owing to COVID 19: A Case at Kyushu University School of Medicine	日本遠隔医療学会雑誌, 17 (2), 108-111, 2021-09	Original Article
81	富松俊太, 吉田直久, 木村哲也, 他	国際医療部	遠隔会議ソフトウェアを用いたHD画質での内視鏡ライブ配信の評価	日本遠隔医療学会雑誌, 17 (2), 120-123, 2021.09	Original Article
82	浅井知宏, 三橋晃, 林誠	歯内治療科	歯内療法におけるラバーダム防湿に関する調査—2019-2020—	日本歯内療法学会誌: 42(3):166-173,2021	Original Article
83	山下梢, 友清淳, 小野太雅	歯内治療科	Iodine potassium iodideがWhite Mineral Trioxide Aggregateの表面性状および機械的強度に及ぼす影響について	日本歯内療法学会誌: 42(3):181-187,2021	Original Article
84	大木 郷資, 荻野洋一郎, 今井実喜生, 上田 将之, 木下康平, 松村 英尚, 古谷野 潔	咬合補綴科	マウスガードの咬合接触範囲が起立動作能力に与える影響についての検討	スポーツ歯学 24(2): 117-118(2021.08)	Original Article

小計: 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
85	羽野 和宏, 加藤 瑞希, 宮島 理穂, 他	歯科麻酔科	メチルマロン酸血症患者における腎移植前歯周治療に対する全身麻酔経験	日本歯科麻酔学会雑誌.2022; 50(1),11-13(2022.1)	Case report
86	大島 優, 宮島 理穂, 亀山 泉	歯科麻酔科	腕頭動脈離断術後症例に対する全身麻酔経験	日本歯科麻酔学会雑誌.2022;50(1):8-10(2022.1)	Case report
87	内藤久貴、山添淳一、池田初男 他	高齢者歯科・全身管理歯科	災害医療における歯科の役割と多職種連携教育の重要性	九州救急医学雑誌21:35-38, 2021.12	Original Article

小計：3件

合計:87件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年10回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年5回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年9回
・ 研修の主な内容 「臨床研究と倫理、法規制」「臨床研究の立案から遂行まで（生物統計の立場から）」 「企業主導治験の適正な遂行」「(ガイダンス)AR0次世代医療センターの活用法」、認定試験 「臨床研究とPIの責務」「医師主導治験」「研究倫理」「データマネジメントとは」 「プロジェクト管理」「試験デザイン」「モニタリングと監査/安全性管理」、認定試験	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数

1024人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
草場 仁志	血液・腫瘍・心血管内科	副診療科長	19年	
有信 洋二郎	免疫・膠原病・感染症内科	副診療科長	28年	
北園 孝成	消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	38年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	35年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	34年	
磯部 紀子	脳神経内科	診療科長	18年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	40年	
岡本 勇	呼吸器科	診療科長	19年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	35年	
大賀 正一	小児科	診療科長	38年	
中村 雅史	第一外科	診療科長	34年	
吉住 朋晴	第二外科	副診療科長	29年	
中島 康晴	整形外科 リハビリテーション科	診療科長	32年	
吉本 幸司	脳神経外科	診療科長	26年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	27年	
田尻 達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科	診療科長	33年	
中原 剛士	皮膚科	副診療科長	22年	
江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	37年	
中尾 智博	精神科神経科	診療科長	27年	
園田 康平	眼科	診療科長	32年	
中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	診療科長	34年	
石神 康生	放射線科	診療科長	28年	
山浦 健	麻酔科蘇生科	診療科長	30年	
下野 信行	総合診療科	診療科長	36年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	25年	
水野 晋一	先端分子・細胞治療科	診療科長	33年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	36年	
北園 孝成	救急科	診療科長	38年	
福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯	診療科長	28年	

	科			
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	33年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	32年	
西村 英紀	歯周病科	診療科長	37年	
鮎川 保則	義歯補綴科	診療科長	28年	
	咬合補綴科			
中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	39年	
森 悦秀	顔面口腔外科	診療科長	41年	
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	36年	
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	39年	
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	25年	
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	32年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
	第一内科（血液・腫瘍内科）	九州大学病院内科専門研修プログラム	1	1	29	26	0	0	0	0
		浜の町病院内科専門研修プログラム			1	1	0	0	0	0
		福岡東医療センター内科専門研修プログラム	1	1	2	2	0	0	0	0
		広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム								
		血液専門医コース			28	2	37	8	32	6
		腫瘍専門医コース			24	2	28	4	26	3
		循環器専門医コース			21	1	22	2	21	1
	第一内科（血液・腫瘍・心血管内科）	浜の町病院内科専門研修プログラム	2	2						
		東医療センター内科専門研修プログラム	1	1						
		広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム	2	2						
		九州大学病院内科専門研修プログラム	11	11						
		九州中央病院内科専門研修プログラム	1	1						
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム	1	1						
		飯塚病院内科専門研修プログラム	1	0						
	第一内科（免疫・膠原病・感染症内科）	九州大学病院内科専門研修プログラム	14	12						
		駒込病院内科専門研修プログラム	1	0						
		福岡赤十字病院内科専門研修プログラム	1	1						
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム	1	1						
		感染症専門医コース			17	1	20	6	18	4
		リウマチ専門医コース			29	2	36	10	31	3
		総合診療プログラム			2	1	3	1	3	1
	第二内科（消化管内科）	消化管内科専門医コース	15	10	29	19	36	15	30	11
		消化管治療習熟コース	8	6	7	6	8	5	8	5
		腎臓専門医・透析専門医コース	12	10	13	8	19	11	15	7
	第二内科（腎・高血圧・脳血管内科）	腎臓内科・医学博士取得コース	32	22	24	15	23	10	19	8
		消化管内科専門医コース	2	2						
		脳卒中専門医コース1	6	5	6	6	4	4	3	3
		脳卒中専門医コース2	2	2	5	4	6	4	5	3
		糖尿病専門医コース	12	8	13	4	20	5	18	4
		高血圧専門医・臨床コース	2	2	4	2	5	2	5	2
		高血圧専門医・大学院コース			0	0	3	1	3	1
	第三内科（内分泌・糖尿病内科）	内分泌代謝・糖尿病コース	31	1	52	6	57	5	43	4
		内分泌代謝・糖尿病・消化器総合コース	1	1	1	1	0	0	0	0
1		血液・腫瘍総合コース	3	1						

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
1	第三内科(肝臓・脾臓・膵臓・内科)	消化管総合コース（消化管・肝臓・脾臓・膵臓・胆道）	29	5	47	5	36	7	34	5
		血液・腫瘍総合コース			7	1	8	6	8	1
	心療内科	心療内科臨床研修コース	12	5	15	5	16	7	14	6
		神経内科専門医コース	31	8	24	7	22	2	20	6
		神経内科専門医大学院コース	2	2	2	2	2	0	2	2
	神経内科	てんかん専門神経内科コース			0	0	0	1	3	1
		認知症専門神経内科コース	1	1	1	1	1	0	1	1
		脳卒中専門神経内科コース			0	0	0	0	2	2
		循環器内科専門医・大学重点コース			0	0	0	0	0	0
	循環器内科	循環器内科専門医・大学院進学コース			0	0	0	0	0	0
		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	38	1	27	2	29	3	18	3
		循環器内科専門医・地域医療重点コース			0	0	4	2	5	2
		クリティカルケアコース			27	2	45	4	39	3
		新内科専門医1年目	7	1	5	1	0	0	0	0
	呼吸器科	新内科専門医2年目	6	1	7	1	0	0	0	0
		新内科専門医3年目	5	1	8	1	0	0	0	0
		新内科専門医4年目	7	1						
		新内科専門医5年目	1	1						
		産婦人科専門医コース			36	1	29	1	38	13
		周産期研究者コース			0	0	0	0	1	1
		内視鏡専門医養成コース			0	0	0	0	0	0
	産科婦人科	生殖医学専門医コース			0	0	0	0	0	0
		腫瘍専門医養成コース			0	0	0	0	0	0
		形態病理専門医養成コース			0	0	0	0	0	0
		形態病理専門医養成コース			0	0	0	0	0	0
		産婦人科専門医コース	39	1						
		小児科専門医コース1（大学重点）			0	0	0	0	0	0
	小児科	小児科専門医コース2（大学重点）			0	0	0	0	0	0
		小児科専門医コース22（地域重点）	28	1	47	1	26	1	31	0
		小児科専門医コース3（地域重点）			0	0	0	0	0	0
		小児科専門医・大学院進学コース			0	0	0	0	0	0
		外科専門医コース	39	4	32	3	28	2	29	1
	第一外科	消化器外科専門医取得コース	2	1	2	1	6	2	8	1
		肝胆膵外科専門医コース			0	0	1	1	2	1
		内視鏡外科専門医コース	2/4	1	1	1	1	1	1	1

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
		(外科専攻医)	26	6	21	1	0	0	0	0
		外科専門医コース			5	2	5	2	5	2
		消化器外科専門医コース			18	2	18	2	18	2
		呼吸器外科専門医コース			5	1	5	1	5	1
		心臓血管外科専門医コース			6	1	6	1	6	1
		ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース			12	1	12	1	12	1
		がん専門医養成コース			13	2	12	2	12	2
		乳腺外科専門医コース			0	0	0	0	0	0
		整形外科専門医コースA			0	0	87	9	49	6
		整形外科専門医コースB			0	0	80	9	108	8
		整形外科専門医コース	143	9	124	9	0	0	0	0
		臨床コース	17	13	12	12	22	16	18	7
		心臓血管外科専門医コース	15	4	16	3	21	4	21	4
		一般小児外科重点コース	5	2						
		一般小児外科重点コース（1）	3	3	12	3	12	4	11	3
		一般小児外科重点コース（2）	2	2						
		小児腫瘍外科重点コース	1	1	3	2	3	2	4	2
		新生児外科重点コース（1）	2	2	6	3	5	1	6	1
		新生児外科重点コース（2）	2	2						
		皮膚科専門医養成＋美容皮膚科実践コース	6	2	6	2	10	3	8	4
		皮膚科専門医養成＋褥瘡・プライマリアコース	7	3	9	4	11	5	10	6
		皮膚科専門医養成＋皮膚科レーザー治療実践コース	3	2	2	1	5	3	3	3
		皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	9	5	7	4	8	4	7	4
		皮膚科専門医養成＋形成外科強化学習コース	4	2	2	2	5	3	4	4
		皮膚科専門医養成＋小児皮膚科コース			0	0	2	2	2	2
		皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急プライマリアコース	11	4	9	3	14	6	16	6
		泌尿器科研究医師育成コース			0	0	4	2	4	4
		泌尿器科臨床研究医師育成コース			0	0	5	3	6	6
		臨床指導医育成コース			0	0	4	3	5	5
		九州大学泌尿器科専門研修プログラム	22	8	12	7	0	0	0	0
		日本精神神経学会専門医取得コース	37	13	50	14	62	14	73	14
		新専門医制度	49	15	28	11	0	0	0	0

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
		眼科総合習得コース	26	2	21	1	19	1	13	5
		角膜専門医養成コース	9	1	8	1	7	1	6	1
	眼科	網膜専門医育成コース	15	1	13	1	10	1	10	1
		黄斑疾患専門医育成コース	15	1	13	2	10	2	8	1
		臨床研究コース	1	1						
	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	42	6	37	6	30	5	24	4
		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース	2	2	2	2	5	3	6	3
		放射線診断専門医ならびに学位取得コース	32	13	35	12	42	15	38	15
	放射線科	放射線診断専門医養成コース	1	1	3	3	3	3	4	4
		放射線治療専門医ならびに学位取得コース	7	7	9	5	7	4	4	4
		放射線治療専門医養成コース	1	1	1	1	2	4	3	3
		病院総合診療医重点コース	1	1	3	2	4	2	4	2
		病院総合診療医・臨床研究コース	1	1	1	1	2	1	2	1
		病院総合診療医・大学院進学コース	1	1	1	1	1	1	1	1
	総合診療科	九州大学病院総合診療専門研修プログラム	4	1	1	1	0	0	0	0
		九州大学病院総合診療専門研修プログラム→九州大学病院内科専門研修プログラム	1	1						
		日本病院総合診療専門研修プログラム	1	1						
	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	64	30	56	24	59	17	56	16
	病理診断科・病理部	臨床コース	12	1	9	6	14	10	11	6
		大学院コース	4	1	2	1	2	2	1	1
		美ら海形成外科研修プログラム	2	1	1	1	0	0	0	0
		福岡大学形成外科研修プログラム	1	1	1	1	0	0	0	0
	形成外科	大分大学形成外科研修プログラム	1	1						
		九州大学形成外科研修プログラム	3	1						
			1	1						
		形成外科コース			3	1	5	1	5	1

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
別紙「令和3年度 看護部教育プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：新任副看護師長研修、新任看護師長研修 看護管理者研修1（副看護師長）、看護管理者研修2（看護師長） 中間管理者研修（リーダークラスの看護師） 入職時研修（新人看護師） ・研修の期間・実施回数：期間は令和3年度、実施回数は20回 ・研修の参加人数：看護師長41名、副看護師長100名、看護師164名（合計305名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容：がん看護、周術期看護、感染管理 ・研修の期間・実施回数：期間は令和3年度 11回 ・研修の参加人数：5人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

XI.研究活動・研修実施状況

1.看護部教育実施状況

<全看護職員研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講人数
1	看護部長講演【オンデマンド配信】	4-5月	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える	看護部長	60分	Web				1194
2	臨床看護研究発表会	11/6	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る	教育WG	am 0.5日	集合	臨床大講堂		全職員対象 申し込み 不要	534
3	業務改善報告会	R4年 1-2月	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG		Web				770

<管理者研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講人数
4	新任副看護師長研修	4/19 pm ・20	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	1.5日	集合	打合せ 室1		新任 副看護師長 11名	11
5	新任看護師長研修	R3年 3/18 ・19pm	九州大学病院・看護の理念を再確認した上で、看護師長として必要な知識を修得し、自身が果たすべき役割を考える		1.5日	集合	打合せ 室1		新任 看護師長 6名	6
6	管理者研修1(全3回) (目的) 看護管理者に求められる責務を理解し、部署目標の達成を目指して看護管理過程が達成できる能力を養う	7/14	<第1回>できるトップはここが違う	外部講師	60分	集合	臨床大講堂	副看護師長 97名		100
		9/13	<第2回>看護管理実践計画 進捗状況の共有	看護部長 副看護部長 認定看護管理者 教育委員会看護師長	13:00- 150分		外来棟5 階 会議室2			96
		R4年 2/28	<第3回>看護管理実践計画 まとめ			レポート				100
	認定看護管理者教育課程修了報告会	R4年 1/24	研修で学んだ知識を共有し、看護管理能力の向上を目指す	看護部	90分	集合	外来棟5 階 会議室2	全看護職員		98
		R4年 3/24		外部講師	90分	集合	外来棟5 階 会議室2	全看護職員		98
7	管理者研修2(全3回) (目的) 現在の医療現場を視野に、病院管理や看護管理の側面から問題点を分析し、解決策の方向性を形成する	7/14	<第1回>できるトップはここが違う	看護部長 副看護部長	60分	集合	臨床大講堂	看護師長 42名		41
		9/22	<第2回>看護管理実践計画 進捗状況の共有		13:00- 150分	集合	外来棟5 階 会議室2			41
		R4年 2/15	<第3回>看護管理実践計画 まとめ			レポート				42
	管理実践報告	適宜	他部署の管理の現状について情報共有し、自部署の運営に活かす	看護部		集合	外来棟5 階 会議室2			
8	中間管理者育成研修(全8回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看護実践に活かす	8/11	<第1回>九州大学病院の理念と組織形態 看護管理とは	教育委員会 教育WG	17:00- 90分	集合	北棟2階 多目的室	条件を満たす希望者 *別途募集 15名に選定		12
		9/1	<第2回>人事・労務管理 看護管理の実践(1)				北棟2階 多目的室			13
		9/22	<第3回>看護職員の能力開発・人材育成 看護者の倫理				北棟2階 多目的室			13
		10/20	<第4回>医療保険と介護保険、医療連携				北棟2階 多目的室			13
		11/10	<第5回>医療安全と医療事故発生時の対策、 感染管理と病棟管理				WW棟1階 カンファ レンスル ーム			13
		12/15	<第6回>診療報酬と看護【公開講座】				臨床大講堂			163
		R4年 1/13	<第7回>医療及び看護の質、経営管理と看護				北棟2階 多目的室			13
		R4年 1/26	<第8回>災害への対応、研修まとめ				北棟2階 多目的室			12

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講人数
9	プリセプターシップ * プリセプターシップの役割と機能を学び、プリセプターとしての能力を高める	6/30	〈第2回〉支援研修	看護キャリアセンター	60分×2	集合	臨床大講堂	条件を満たし推薦された者 * 別途募集		73
		11/2	〈第3回〉支援研修		90分×2		中央会議棟 多目的会			71
		R4年2/22	〈第4回〉まとめ		レポ	レポート	中央会議棟 多目的会			72
10	プリセプターシップ (令和4年度)	R4年3/9	〈第1回〉準備研修		60分	集合	臨床大講堂	R4年2月募集		79
11	臨地実習指導者研修(新任) (全6回) (研修の目的) * 看護教育にける実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう必要な知識を習得する * 自己の看護観の再構築と実習指導者像の形成を目指す	5月	〈第1回〉ガイダンス、実習指導者経験談 看護教育課程、実習指導の原理	教育担当副看護部長	60分	Web		条件を満たし推薦された者 * 別途募集		52
		6/15	〈第2回〉教育原理、教育方法【ライブ配信】	九州大学人間環境学研究院 教授	13:00-90分	Web	臨床小講堂1			52
		7/7	〈第3回〉看護過程・事例検討	九州大学大学院医学研究院保健学部門 教授 実習指導者育成九州大学大学院医学研究院保健学部門 教授	13:00-150分	集合	中央会議棟 多目的会議室			52
		8/20	〈第4回〉実習指導計画、実習指導の評価	九州大学大学院医学研究院保健学部門 教授 実習指導者育成九州大学大学院医学研究院保健学部門 講師	13:00-90分	集合	中央会議棟 多目的会議室			51
		9/15	〈第5回〉カンファレンスの指導方法・事例検討	実習指導者育成九州大学大学院医学研究院保健学部門 講師 実習指導者育成	13:00-150分	集合	中央会議棟 多目的会議室			51
		R4年1/12	〈第6回〉まとめ	実習指導者育成WG	13:00-60分	集合	中央会議棟 多目的会議室			50
12	臨地実習指導者研修 (アドバンスコース) (研修の目的) * 看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を再確認し、実習指導に活かす	4-5月	〈第1回〉看護部長講演(必ず1回は聴講)	看護部長	60分	Web		条件を満たし推薦された者 ※第2回・3回は今年度新任者のみ		29
		5月	〈第2回〉ガイダンス、看護教育課程、実習指導の原理	教育担当副看護部長	60分	Web				21
		9/2	〈第3回〉看護学生の動向と看護教育の現状	九州大学大学院医学研究院保健学部門 教授	90分	集合	外来棟5階 会議室2			21
		R4年2/9	〈第4回〉まとめ	看護部実習指導者育成WG		レポート				29
13	教育担当者研修	4-5月	〈第1回〉看護部長講演(必ず1回は聴講)	濱田看護部長				教育WG ※第2回は新規教育WG構成員		46
		6/8	〈第2回〉組織の理念と人材育成	看護部長 教育担当副看護部長	13:00-60分	集合	外来棟5階 会議室2			18
		10/12	〈第3回〉部署内OJTの現状と今後の運用について	教育委員会			外来棟5階 会議室2			46
		R4年2/8	〈第4回〉目標達成の評価、まとめ	教育委員会		レポート				46
14	リーダーシップ	8/30	リーダーシップ理論を学び、リーダーとしての能力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	150分×2	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	40×2	89
15	問題解決技法	8/4	自部署の現状把握、解決策の検討・分析などを通して、看護管理能力を養う。	福岡看護大学健康支援看護部門 教授	pm 0.5日	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅳ	40	26
16	キャリア開発支援【ライブ配信】	11/16	看護職としてのキャリアデザインについて学び、自身のキャリア開発に役立てる	三重大学 准教授	90分	Web	臨床小講堂1	Ⅳ	40	36
17	地域包括ケアシステムと退院支援	9/17	地域包括ケアシステムにおける大学病院の役割を知り、退院支援時の調整に役立てる	医療連携センター 病床管理・相談支援部門 看護師長	90分	集合	中央会議棟 多目的会議室	Ⅲ	40	37
18	コーチング	11/17	コーチングの基本的スキルを習得し、看護実践や後輩の指導に適用する	他大学講師	0.5日×2	集合	中央会議棟 多目的会議室	Ⅲ	40×2	58

<看護倫理>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講人数
19	看護倫理の基本	9月	看護倫理について理解を深め、倫理的視点を持つ	看護部倫理委員会 慢性疾患看護専門看護師	60分	Web	Web	全	多数可	504
20	看護倫理1	10/6	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理の理解を深める	看護部倫理委員会	90分×2	集合	中央会議棟 多目的会議室	Ⅱ	40×2	114
21	看護倫理2	11/12	事例を通して倫理上の問題解決の方向性を探り、看護倫理の理解を深める		90分×2	集合	中央会議棟 多目的会議室	Ⅲ	30×2	82

<看護記録>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講人数
22	看護記録の実践	10/25	看護ケアのアセスメント力の向上のために、記録を振りかえり、重要性を学ぶ	看護部記録委員会	9:00-12:0分	集合	外来棟5階会議室2	Ⅲ ※新任の記録委員	40	46

<静脈注射認定看護師育成>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講人数
23	静脈注射認定看護師育成研修	6/2	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	麻酔科医師 薬剤師 安全管理担当 感染管理担当 IVナース育成WG 教育WG	講義 1日	集合	臨床小講堂1	2年目以上の 該当者 (新人看護職員は別途開催)		36
		6/7			演習 90分		スキルトレーニングセンター			30
		6/16			筆記試験 60分		臨床小講堂1			29

<専門領域>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講人数
24	循環管理(実践編) 心電図や心不全患者への看護を学ぶ	8/12	循環管理に必要な知識を理解し、看護実践に活用する	慢性心不全認定看護師	90分×2	Web 集合	外来棟5階会議室2	Ⅱ	30×2	66
25	呼吸フィジカルアセスメントの基本	8/24	フィジカルアセスメント(呼吸音聴取)を習得することで、患者の状況に応じた適切な看護ケアの選択と実践につなげることができる。	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師	90分×3	Web 集合	スキルトレーニングセンター	Ⅱ	20×2	58
26	人工呼吸管理の基本	10/8	人工呼吸器の原理、チェックリストを用いた点検法、アラーム対応について学び、臨床現場で実践する	集中ケア認定看護師 院内認定看護師	90分×2	Web 集合	学習段階: Ⅱ(15名×2) 会場: MEセンター 受講条件: Servo iで人工呼吸管理を行う一般病棟、ハイケア病棟の看護師			33
27	人工呼吸管理の実践	11/5	人工呼吸管理に必要な知識を理解し、看護実践や指導に適用できる	集中ケア認定看護師 院内認定看護師	120分×2	集合	学習段階: Ⅲ(10名×2) 会場: MEセンター 受講条件: NPPV, Servo iで人工呼吸管理を行う一般病棟、ハイケア病棟の看護師			16
28	感染管理(指導者編) 「臨床現場における実践モデルと指導者に必要なスキルを磨こう！」	5/28	1. 正しい感染対策を理解し、部署での実践・指導を実践する 2. 感染対策マニュアルが活用できる	感染管理認定看護師	17:00-45分	集合	臨床大講堂	Ⅲ・Ⅳ 院内認定看護師(感染管理) リンクナース 60名		62
29	褥瘡予防 体圧分散マットレスとポジショニングに強くなる！	12/8	1.体圧分散マットレスの特徴を理解できる 2.体位変換の必要性が理解できる 3.基本的なポジショニングの知識と技術を習得できる	皮膚排泄ケア認定看護師	13:00-90分×2	Web 集合	スキルトレーニングセンター	Ⅱ	25×2	60
30	これでわかる！褥瘡とスキン-ケア予防	8/25	褥瘡とスキン-ケアのハイリスク患者を理解し、患者に応じた予防ケアや局所管理に必要な知識や技術を習得する	皮膚排泄ケア認定看護師	13:00-90分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議室B・C	Ⅱ	30	61
31	糖尿病看護 ～糖尿病の薬物療法、困っていることを解決しよう～	7/30	1. 糖尿病患者の薬物療法が安全に行えるようリスクマネジメントの視点について学ぶ 2. 糖尿病患者が自宅でも安全に療養を継続できるように生活調整支援の方法を学ぶ	糖尿病看護認定看護師	17:00-60分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議室B・C	Ⅲ	30	40
32	がん看護(実践編) ～明日からの看護に活かす症状マネジメント(悪心・嘔吐・疼痛)～ ※緩和ケアリンクナース育成研修・院内認定看護師育成研修(がん看護領域)受講の必須研修	7/5	がん治療期の症状マネジメントの基本的な知識を習得し、がん看護の実践能力向上を図る	がん看護領域専門・認定看護師	13:00-90分	Web 集合	外来棟5階会議室2	Ⅱ	40	29
33	乳がん看護 ～乳がんの最新治療、遺伝学的知識を深めよう～	7/26	遺伝学的知識を含めた乳がんの最新治療を理解し、乳がん看護の質の向上を図る	乳がん看護認定看護師	17:00-60分	集合	臨床小講堂2	Ⅲ・Ⅳ	20	23
34	腎臓移植術を受ける患者の周術期看護	10/4	腎臓移植術を受ける患者の周術期看護を理解し、看護実践に活かすことができる	手術看護認定看護師	17:00-60分	集合	外来棟5階会議室2	Ⅲ	15	27
35	血液透析患者のバスキュラーアクセス管理	11/11	血液透析患者のバスキュラーアクセス管理に必要な知識と観察の視点およびケア方法を学習する	透析看護認定看護師	17:00-60分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議室B・C	Ⅱ	30	36
36	身体抑制のない看護、身体抑制のある看護	9/21	演習や事例を通して身体抑制の問題に気付き、認知症・せん妄看護への理解を深める	認知症看護認定看護師	13:00-90分	集合	スキルトレーニングセンター	Ⅲ・Ⅳ	30	42

37	小児看護「子どもが苦手」を克服しよう	10/26	小児の発達段階に合わせた関わりを理解し、小児と家族ケアの向上を図る	小児看護領域 専門看護師・認定看護師	17:00-90分	集合	中央会議棟 多目的会議室B・C	Ⅲ・Ⅳ	30	18
----	--------------------	-------	-----------------------------------	-----------------------	-----------	----	--------------------	-----	----	----

＜緩和ケアリンクナース育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講人数
38	緩和ケアリンクナース育成研修(全2日間)	10/1	緩和ケアを必要としている患者ががんと診断された時から、質の高い緩和ケアの提供ができるよう「意思決定支援」「苦痛緩和」「専門家への橋渡し・連携」を中心に看護師の実践能力を向上させる	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00-90分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ・Ⅳ※	15	17
		11/19			13:00-90分					17
39	緩和ケアリンクナースフォローアップ ※がん看護領域院内認定看護師フォローアップ研修と合同開催	R4年 1/17	緩和ケアリンクナースに必要な、緩和ケアの実践能力の維持・向上を図る	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00-60分	集合	臨床小講堂1		50	17

＜院内認定看護師育成＞

No	研修名		日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講人数
41	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回) (研修目的) 専門分野において高い知識・技術を 修得し看護実践や教育・指導に活か す		① 5/24	1. 感染管理	感染管理認定 看護師	90分	集合	スキルレー ニング センター・ 手術部	別途募集 あり		各回 9
			② 6/21	2. がん看護(2年間コース:1/2年目)	がん看護領域 専門・認定看護 師						各回 5
			③ 7/19	3. 周術期看護	手術看護認定看 護師						各回 4
			④ 8/23	4. クリティカルケア(2年間コース:1/2年目)	急性重症患者 看護 専門看護師 集中ケア認定看 護師						各回 8
			⑤ 9/27								
⑥ 10/29	5. 褥瘡ケア	皮膚・排泄ケア 認定看護師	各回 7								
⑦ 11/22											
⑧ 12/20											
⑨R4年 1/21											
⑩R4年 2/21											
42	院内認定 看護師 フォロー アップ	がん看護領域 ※緩和ケアリンクナースフォロー アップ研修と合同開催	R4年 1/17	がん看護領域認定看護師に必要な、緩和ケアの 実践能力の維持・向上を図る	がん看護領域 専門・認定看護 師	17:00- 60分	集合	臨床小 講堂1	院内 認定 看護師	50	11
			毎月 30分	1. 院内認定看護師が、資格取得後も糖尿病に 関する最新の知識と技術を習得できる 2. 糖尿病内科の医師と症例検討を行うことによ り、支援に難渋する症例に対応できる支援方法 を考えることができる	慢性疾患看護 専門 看護師 糖尿病看護認 定看護師 糖尿病専門医な	17:00- 30分	集合	臨床小 講堂1 臨床研 究棟		20	毎月 15

＜看護助手研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講人数
43	看護助手研修	5/14	＜第1回＞診療報酬上求められる基礎知識	業務委員会 業務WG	13:00-120分 ×2	集合	外来棟5階 会議室2 臨床大講堂	看護助手		78
		7/29	＜第2回＞移乗・移送		10:00-120分 ×2					71
		12/6	＜第3回＞高齢者と認知症の人への対応 環境整備における感染対策		13:00-120分					70
		7/8	診療報酬上求められる基礎知識		16:00-90分		外来棟5階 会議室2	夜勤看護助手		70

＜新人看護職員研修＞

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	方法	会場
44	4/1	新採用者合同研修	九州大学病院・看護部の組織と役割を理解し、組織の一員である自分の果たすべき役割を理解する	病院内各部門担当者	1日	集合	臨床大講堂
45	4/2・5・6	看護部新採用者入職時研修	九州大学病院・看護部の役割を学び、組織の一員であることを理解する 社会人としての基礎的知識・態度を身につける	各部門担当者 看護部長・副看護部長 看護師長 看護部各委員会・各WG	3日	集合	臨床大講堂
46	4/7・8	看護実践研修1	①感染管理1(手指衛生・PPE・環境整備)	感染管理担当	130分	集合	スキルトレーニングセンター 電算研修室
			②看護記録・電算研修	記録委員会	130分		
			③輸液管理	教育WG	60分		
			④看護職のためのセルフメンテナンス	教育担当	60分		
47	5月	看護実践研修2	①感染管理2(針刺し防止)	感染管理認定看護師 院内認定看護師(感染管理領域)		OJT	各部署
			②血糖測定とインスリン療法	感染対策担当看護師 糖尿病看護認定看護師 院内認定看護師(糖尿病ケア領域)			
48	6月	重症度、医療・看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施するための基本的知識や方法を身につける	業務委員会 業務WG		Web OJT テスト	各部署
49	6/10・11・14	看護実践研修3 「尿道留置カテーテル挿入・導尿」	尿路感染防止の学習を通して、尿道留置カテーテルの挿入・管理、導入における清潔操作の基本的知識を知る	感染管理認定看護師 院内認定看護師(感染管理)	演習 130分 × 6	Web 集合	スキルトレーニングセンター
50	6/18	3ヵ月フォローアップ研修	入職後3ヵ月を振り返り、悩みや不安を話し合い情報共有し、問題解決の方法を考える	教育担当	90分 × 3	集合	中央会議棟 多目的会議室 A-C
51	7/8・9・12	看護実践研修4 「静脈血採血」	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	演習 130分 × 6	Web 集合	スキルトレーニングセンター
52	8/17・18	看護実践研修5 「フィジカルアセスメント1(呼吸を整える技術)・口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引」	1. 基本的看護技術を身につけ、看護ケアを安全・正確に実施できる能力を養う 2. 酸素療法、体位ドレナージ、口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引の看護技術を部署で実践できる	急性・重症患者看護専門看護師 院内認定看護師(呼吸ケア領域)	演習 90分 × 8	Web 集合	スキルトレーニングセンター
53	9月以降	血流感染防止対策、CVC挿入介助、CVCドレッシング交換	1. 血流感染予防の学習を通してCVC挿入・留置中の管理における清潔操作の基礎知識を得る 2. CVC挿入介助・CVCドレッシング交換の正しい手順を習得する	院内認定看護師(感染管理領域) 感染対策担当看護師 教育WG		OJT	各部署
54	9月	フィジカルアセスメント2 (心電図の基本と危険な不整脈)	心電図の基礎および重症不整脈に関する知識を習得し、看護実践に適用する	慢性心不全看護認定看護師	30分	Web	個人学習
55	9/28・29	クリティカルケア研修1 「心肺蘇生法:一次救命処置」	シミュレーション研修を通して一次救命処置(BLS)の知識・技術を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護領域・小児救急看護領域)	90分 × 8	Web 集合	スキルトレーニングセンター
56	10/15・18・19	シミュレーション研修 (状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	120分 × 8	集合	スキルトレーニングセンター
57	10/27	6ヵ月フォローアップ研修	入職後6ヵ月を振り返り情報共有し、今後の目標を考える。	教育担当	60分 × 3	集合	中央会議棟 多目的会議室 A-C
58	11月	口腔ケア・食事介助	口腔ケア支援の方法を知り、適切で安全な口腔ケアや食事介助の基本的知識を取得する。	摂食・嚥下障害看護認定看護師		Web	個人学習
59	R4年 1/28・31	看護実践研修6 (静脈注射認定看護師育成研修)	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	手術部医師・薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 教育委員会 教育WG 静脈注射認定看護師育成WG	1日 (講義)	Web	各部署
	R4年 3/17・18				90分 (演習)	Web 集合	スキルトレーニングセンター
	R4年 2/15				60分 (試験)	集合	臨床小講堂 1・2 臨床大講堂

60	R4年 3/11	12カ月フォローアップ研修	入職後1年を振り返り、GWと全体討議を通して自己の課題を明確にし次年度の目標を考える。また後輩を受け入れる心構えを持つ	教育担当	60分 × 3	集合	中央会議棟 多目的会議室 A-C
61	1年 以内	輸液ポンプ・シリンジポンプの 使用法	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作方法が安全かつ正確に実施できるように知識と技術を習得する	医療機器操作強化WG 輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者		OJT	各部署

<新卒2年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	方法	会場
62	6月	がん看護(基礎編) ～がん診療連携拠点病院の看護 師の役割～	がん対策推進基本計画について学び、がん診療連携拠点病院における看護師の役割について考えることができる	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師	40分	Web	
63	6/24・ 25	クリティカルケア研修2 「急変時の対応」	シミュレーション研修を通して急変時の対応に必要な知識・技術を学び、臨床実践能力の向上に活かす	急性・重症患者看護専門看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護領域・小児救急看護領域)	90分 × 8	Web 集合	スキルトレーニング センター
64	9/10	明日からできるスキンケア	スキンケアの基本を学び、最新ですぐにでも実践できる予防的スキンケアの技術を習得する	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師(褥瘡ケア領域)	120分 × 3	Web 集合	中央会議棟 多目的会議室 A-C
65	R4年 1/19	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	認定看護管理者 教育委員会	90分 × 2	集合	百年講堂
66	9月 以降	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1.5～2日		ICU・救命ICU 手術部・各部署

<新卒3年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	方法	会場
67	6月	がん看護(基礎編) ～がん診療連携拠点病院の看護 師の役割～	がん対策推進基本計画について学び、がん診療連携拠点病院における看護師の役割について考えることができる	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師	40分	Web	
68	6/4	感染管理(実践編) ～正しい知識で院内感染を 防ごう！～	1.感染対策マニュアルを活用し、正しい感染対策が実践できる 2.新人看護職員に対し正しい知識を持って指導ができる 3.感染対策に関する院内ルールを説明できる	感染管理担当 感染管理認定看護師	60分 × 2	集合	中央会議棟 多目的会議室 A-C
69	8/5・6	クリティカルケア研修3 「フィジカルアセスメント」	フィジカルアセスメントの重要性を再認識し、実践に活かす	救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護領域・小児救急看護領域)	90分 × 8	Web 集合	スキルトレーニング センター
70	11月	接遇研修	身だしなみや礼節について学び、組織人としての自覚を認識する	患者サービスWG		Web	

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 中村 雅史
管理担当者氏名	各診療科長、放射線部長・診療録管理室長 石神康生、薬剤部長 家入一郎、総務課長 徳吉透、医療連携センター長 中川尚志、医療管理課長 川勝美樹、患者サービス課長 大賀美喜

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	・診療に関する諸記録は、平成25年1月以降、全て電磁的記録として無期限保存である。 ・平成24年12月以前の診療に関する諸記録で紙であるものは本学で定められた保存期間10年未満は診療録管理室において中央管理し、保存期間満了時は原則廃棄とする。
		各科診療日誌	病棟	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課	
		監査委員会の設置状況	医療管理課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医療管理課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 中湖 博則
閲覧担当者氏名	総務課長 徳吉 透
閲覧の求めに応じる場所	総務課

閲覧の手続の概要

九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。

【開示請求できる文書】

九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。

ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。

【不開示となる文書】

開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。

【開示・不開示決定の通知】

法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。

【開示請求手数料、開示実施手数料】

○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円

○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。

【開示請求方法】

法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する(郵送可)。

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無（ 有 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。 (2) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。 (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。 (7) 医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること。 (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 (9) 医療安全管理部の業務に関すること。 (10) 医療事故調査に関すること。 (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	主にe-learning研修により実施
・ 研修の内容（すべて）： - 安全で質の高い医療の提供について - 当院の医療安全対策について - 前年度発生した事例 - 紛争リスクの高いインシデント事例への対応 - 再活性化B型肝炎発生予防と管理システムについて - せん妄予防対策 - 医薬品安全管理について	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有 ） - 院内報告制度においては事故の影響度レベルを0～5の8段階（3、4は夫々a, bの別有り）に分類して医療安全管理部への報告を義務づけている（報告書類は電子システムによる）。3b以上の事例において	

は、臨床試験（治験を含む）対象者の場合にはAR0安全性情報管理室への報告も義務づけている。報告に迷うことがないように報告が必要な事例を例示しており、マニュアルの改訂毎に見直しと周知を実施している。

・ その他の改善のための方策の主な内容：

○インシデント情報の発信

報告されたインシデント事例から特に警鐘を促すべき内容について、毎月1回インシデント情報（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している

○リスクマネージャーを対象とした研修会の開催

○医療安全管理マニュアルとホームページの改訂

○「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載

○患者・手元情報の確認方法の改訂と周知

○再活性化B型肝炎対策について、フローチャートの改訂と周知

○病理組織診断申込書の改正と周知

○不眠時指示簿定型文の作成と周知

○画像診断報告書未開封に対してRPAによる未開封通知を開始

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
・ 指針の主な内容： 平成19年7月に制定した「九州大学病院における院内感染対策のための指針」の主な内容は次のとおり。 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1. 院内感染防止対策のための措置に関すること。 2. 院内感染防止対策に係る職員の研修及び教育に関すること。 3. 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。 4. グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。 5. その他院内感染防止対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	主にe-learning研修により実施
・ 研修の内容（すべて）： 基本的な感染対策（新型コロナウイルス対策も含めて） ASTによる抗菌薬適正使用 アンチバイオグラムの活用と適切な検査の実施 2020年度サーベイランス報告（エピネット報告、VAP、SSI、BSI） HIVについて 感染症の概要と職業感染対策および術前 HIV 検査について 福岡県はCOVID19にどう対応したか？ 当院の新型コロナウイルス感染症対策と重症患者診療 - COVID-19関連脳卒中を中心に -	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染症法に基づく院内報告基準の改訂と職員への指導 感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導 アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入 ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認 経路別予防策の指導・教育 手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認 ベストプラクティスの作成、遵守状況確認 抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例） 感染症予防のためのワクチン接種の推進	

血液培養複数セット採取率 新型コロナウイルス感染症対策の教育 針刺し・切創、血液体液曝露防止対策の教育

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 2 回
- 研修の主な内容： - 令和 3 年度は全体研修会を 1 回、採用者研修会を 5 回、職種別研修会を 1 6 回実施。 - 医薬品の適正使用について - 薬剤部におけるリスクマネジメント - 薬剤のオーダ演習 - 医薬品の管理・薬剤の基礎知識 等	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	- 手順書の作成 (有) - 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： - 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成 - 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 - 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 - 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) - 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： - 未承認：事例なし - 適応外： - 難治性の移植片対宿主病に対するジャカビ（ルキソリチニブ）の使用 - 眼表面扁平上皮癌に対するフルオロウラシルの眼局所療法 - 熱傷処置時の鎮静におけるプロポフォールの使用（麻酔科医管理） - 禁 忌：特筆すべき事例なし - その他の改善のための方策の主な内容： - 毎月疑義照会報告を医療安全管理委員会等で実施し、リスクマネージャーを通じて周知 - 麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、毒薬は業務手順チェック表に基づき管理状況を点検。 4 半期に 1 回定数配置薬チェックシートに基づき、管理状況点検 - ハイリスク薬の見直し - 適応外使用の把握、情報の収集

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年36回
研修の主な内容： 今年度は、医療機器の安全についてハイブリッド形式による開催と対面による開催にて研修が行われた。主な研修の内容は、国で定められている生命維持管理装置5機種（人工呼吸器・透析装置・人工心肺装置・除細動器・閉鎖式保育器）を中心に安全使用・管理・トラブルシューティングなどを研修した。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定（有） - 機器ごとの保守点検の主な内容： (1) 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 (2) 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順により実施している ※2カ月に1回、医療機器安全管理専門委員会にて報告。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備（有） - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： 人工肛門造設時に使用する電気刺激装置 VFコード 一酸化窒素コントローラー - その他の改善のための方策の主な内容： (1) 院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 (2) 院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 (3) 収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。 ○医療機器の安全使用を目的とした情報については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ上に掲載されているPMDAの医療安全情報、公益財団法人日本医療機能評価機構のホームページ上に掲載されている医療安全情報などから情報収集を行い、管理者及び医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者へ報告されている。また、医療機器安全管理専門委員会において内容を審議し、各委員に周知、関連部署の職員に通知している。なお、医療安全管理部とも連携し、リスクマネージャー会議を通じて各部署のリスクマネージャーに周知、リスクマネージャーより各部署の職員へも周知している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
・ 責任者の資格（ 医師 ） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。 医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。 なお、平成28年9月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品安全管理手順書の情報提供管理規定ならびに院内情報提供マニュアルに従い、情報の整理、周知している。なお、周知状況については、該当診療科のリスクマネージャー宛に配信した情報について確認記録を残している。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 適応外使用については、疑義照会入力の徹底、病棟薬剤師から情報収集、倫理委員会への申請・承認情報の共有、インシデント報告書等により把握を行っている。禁忌については、併用禁忌、病名禁忌ともに処方時警告表示される。必要に応じて薬剤師が疑義照会している。 なお、疑義照会で得られた適応外使用、禁忌情報は毎月確認し、医療安全管理部会と医療安全委員会で結果を報告・共有し、必要時指導を行っている。 未承認薬については原則該当倫理委員会承認後の使用となっている。 ・ 担当者の指名の有無（有） ・ 担当者の所属・職種： (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種) (所属： ， 職種)	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ 有 ） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 ： 九州大学病院インフォームド・コンセントガイドライン インフォームド・コンセントの成立の要件 説明すべき基本的事項	

文書による説明・同意の注意点

インフォームド・コンセントの取得における一般的な留意点

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 退院サマリー、手術記録、研修医カルテ承認、入院診療計画書、指導管理料およびIC記録等について定期的に監査を行い、監査結果をカルテ委員会で報告する。 退院サマリーや診療録については、これを業務として閲覧する多部署（診療録管理室、診断書作成室、院内がん登録室、DPC 担当）で監査し、不備があれば診療科へ修正を依頼する。 また、医療安全上問題となった症例、死亡症例、先進医療症例等を対象に、医師、看護師、診療情報管理士等の多職種によるカルテ記載の確認を行い、医療安全管理委員会、カルテ委員会、診療録管理室が合同で院内公開型カルテレビューを定期的に開催しているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ■事故防止に関すること インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる ■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること 基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施 ■院内の事故に関すること 状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導 診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底 原因究明・改善策の確認や必要な指導 ○医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についてのモニタリングは以下の項目を毎月の医療安全管理委員会において報告している。 転倒・転落総件数、介入により予防可能な転倒・転落（PFI）件数、部署別件数、要因別件数、転倒割合等 注射薬インシデント件数 患者誤認件数、発生場面別件数 24 時間以内の再手術件数・内容	

肺血栓塞栓症予防対策実施割合や発生数等
せん妄疑い有りの件数・発生率
再活性化リスク薬剤使用患者に関する診療科別適性検査状況報告
画像診断報告書診療科別未読件数
必須研修・選択研修の出席回数ゼロの所属ごと集計

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（１件）、及び許可件数（０件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・ 活動の主な内容：
 - （１）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
 - （２）（１）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
 - （３）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
 - （４）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（０件）、及び許可件数（０件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・ 活動の主な内容：
 - （１）診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院臨床倫理委員会）に対して当該未承認新規医薬品等の

提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。 (2) (1) の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。 (3) 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。 ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有) ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有)
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況 ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 2 1 8 件 ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 2 0 0 件 ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 死亡例の報告については、死亡報告様式を医療安全管理部ホームページに作成し、平成 2 8 年 9 月から実施している。 有害事象（報告範囲）についての報告は、基準を影響度分類 3 b 以上とした上で死亡例も含め既に実施している。 確認結果の管理者への報告については、医療安全管理部で確認し、医療安全管理委員会（委員長：病院長）で報告している。
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ・ 他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名：長崎大学病院)) ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名：佐賀大学医学部附属病院)) ・ 技術的助言の実施状況 特になし
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ・ 体制の確保状況 ○ 「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置 ・ 医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼 ○ 「意見箱」：患者からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置 ・ 外来診療棟 1 回総合案内、北棟 1 階エレベーターホール、北棟・南棟 5～11 階のラウンジ、ウエストウイング 1・2 階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記 ・ 医療安全に係る内容の意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告

⑫ 職員研修の実施状況
・ 研修の実施状況 医療に係る安全管理のための研修を、主に e-learning システムを用いて実施し、年 2 回以上の受講を義務付けている他、新規採用者・中途採用者を対象とした研修を、以下の内容で実施している。 医療安全管理について（25 分） 医療機器の安全について（15 分） 感染防止について（30 分） 薬剤のオーダーと運用について

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・ 研修の実施状況 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
・ 第三者による評価の受審状況 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価一般病院 3 <3rdG:Ver. 2. 0>の更新審査を平成 30 年 10 月に受審し、平成 31 年 4 月 5 日付で認定 ・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況 公表しておらず、機構の定める認定基準を達成したことのみ本院ウェブサイトに掲載 ・ 評価を踏まえ講じた措置 画像・病理診断レポートに係る未読状況の把握対策については、モニタリングにより未読状況の軽減に努め、平成 31 年 10 月より「画像診断レポート既読システム」を導入し、簡単かつリアルタイムに状況を確認できるようにした。

（注）記載時点の状況を記載すること

令和3年度 医療安全管理・院内感染対策研修会

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、13を除き、E-learningあるいはDVD貸し出しにて実施

整理 番号	時 間	受講者数	（ 内 訳 ）					安全・ 感染・ 合同	必須・ 選択	研 修 会 名	テ ー マ	講 師
			医師 歯科医師	薬剤師	技術系 職員	看護師 助産師	事務職員					
1	60 分	3,763	1,488	97	401	1,389	388	合同	必須	【必須】医療安全管理・院内感染対策必須研修会 E-learning・DVD貸し出し	・安全で質の高い医療の提供について ・当院の医療安全対策について ・基本的な感染対策（新型コロナウイルス対策も含めて）	・医療安全管理部 後 信 堀 智恵 ・グローバル感染症センター 下野 信行
2	30 分	1,586	954	45	268	74	245	安全	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・前年度発生した事例	・医療安全管理部 堀 智恵
3	30 分	1,084	568	27	110	241	138	安全	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・紛争リスクの高いインシデント事例への対応	・医療安全管理部 後 信
4	30 分	882	505	41	98	148	90	安全	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・再活性化B型肝炎ウイルス感染予防と管理システムについて	・再活性化B型肝炎ウイルス感染予防ワーキンググループ 副ワーキング長 後藤 和人
5	30 分	1,352	498	34	116	544	160	安全	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・せん妄予防対策	・精神科神経科 リエゾンチーム 大橋 縁子
6	30 分	862	430	31	86	193	122	安全	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・医薬品安全管理について	・医薬品安全管理専門委員会 村岡 佳代子
7	30 分	1,901	767	20	267	660	187	感染	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・2020年度サーベイランス報告（エビネット報告、VAP、SSI、BSI）	・グローバル感染症センター 小林 里沙
8	30 分	1,165	621	56	82	310	96	感染	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・ASTIによる抗菌薬適正使用	・グローバル感染症センター 中島 貴史
9	30 分	756	450	25	75	131	75	感染	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・アンチバイオグラムの活用と適切な検査の実施	・検査部 本部 泰志
10	30 分	1,624	588	19	241	522	254	感染	選択	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・HIV感染症の概要と職業感染対策および術前HIV検査について	・グローバル感染症センター 村田 昌之
11	30 分	225	105	19	10	85	6	感染	選択	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD貸し出し	各自	
12	30 分	192	93	0	6	86	7	安全	選択	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD貸し出し	各自	
13	60 分	201	64	7	47	72	11	感染	選択	【共催】第49回呼吸管理セミナー	・福岡県はCOVID19にどう対応したか？ ・当院の新型コロナウイルス感染症対策と重症患者診療・ COVID-19関連運送中を中心に	・九州医療センター 救命救急センター センター長 野田 英一郎 ・福岡市民病院 診療総括部長 平川 勝之
合計(全体)		15,593	7,131	421	1,807	4,455	1,779	職員1名あたりの受講回数4.2回				

令和3年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場 所	受講者数	研 修 会 名	テ ー マ	講 師
			E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	862	【選択】医療安全管理研修会	・医薬品安全管理について	・医薬品安全管理専門委員会 村岡 佳代子
1		60 分	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	756	【選択】医療安全管理研修会	・アンチバイオグラムの活用	・検査部 木部 泰志
		60 分	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	848	【選択】医療安全管理研修会	・医薬品の適正使用	医薬品安全管理専門委員会 村岡 佳代子
小 計				2,466			

○ 採用者への研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場 所	受講者数	研 修 会 名	テ ー マ	講 師
1	令和3年4月1日	30 分	百年講堂	296	新採用者就任式・合同研修	医療安全管理について(35分)、 医薬品の安全管理について(15分)、 医療機器の安全について(15分)、感染防止について(25分)	医療安全管理部副部長 堀副看護部長、 グローバル感染症センター 小林看護師長、 薬剤部 金谷副部長、MEセンター 定松臨床工学技士
2		60 分	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	339	中絶採用者就任式・合同研修	医療安全管理について(15分)、 感染防止について(15分) 医療機器の安全について(10分)、医薬品の安全管理について(20分)	医療安全管理部副部長 堀副看護部長、 グローバル感染症センター 小林看護師長、 薬剤部 金谷副部長、MEセンター 定松臨床工学技士
3	令和3年4月3日	50 分	臨床大講堂	対象者：150名 受講者：150名	看護部新採用者入職研修	薬剤部の紹介 医薬品の管理・薬剤の基礎知識	薬剤部 村上 裕子
4	令和3年6月1日	60 分	外基第5階カンプレ ンスルーム	対象者：7名 受講者：7名	新採用薬剤師研修	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部 金谷 朗子、村上 裕子
5	令和3年4月5日	30 分	WW4F電算研修室	研修室 2年次：50名 3年次：11名 薬剤師：12名	新採用者研修	薬剤部のオーガナイズ	薬剤部 金谷 朗子、永田 健一郎
小 計				860			

○ 職種別研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場 所 等	受講者数	研 修 会 名	テ ー マ	講 師
1	令和3年4月26日	30 分	南5階2病棟 カンファレンスルーム	7	NCU・GCU病棟看護師勉強会（KCLについて）	KCL製剤の安全管理のための運用方法の周知	薬剤部 貞包香織
2	令和3年5月10日	30 分	外基第5階 会議室2	28	2021年度 第2回緩和ケアリンクナース定例会	オピオイド・レスキュー薬を安全・効果的に使用するために・	薬剤部 池田 宗彦
3	令和3年5月12日	30 分	南5階2病棟 カンファレンスルーム	9	NCU・GCU病棟看護師勉強会（KCLについて）	KCL製剤の安全管理のための運用方法の周知	薬剤部 貞包 香織
4	令和3年5月12日	30 分	南9階1病棟 カンファレンスルーム	10	南9階1病棟看護師勉強会（抗HIV薬について）	HIV感染症と抗HIV療法について	薬剤部 松本 慎太郎(医師 松本 佑慈)
5	令和3年6月2日	60 分	臨床大講堂	12	特許注釈認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬剤部 辻 敏和
6	令和3年7月19日	20 分	北9階2病棟	4	北9階2病棟看護師勉強会（免疫抑制剤について）	病棟で使用頻度の高い免疫抑制剤について学ぶ	薬剤部 平井 聡
7	令和3年8月17日	20 分	北9階1病棟	7	北9階1病棟看護師勉強会（リベラルサス錠）	新病棟採用薬OLP作動薬リベラルサス錠の概要・注意事項、当 院での適切な運用について	薬剤部 中嶋 一恵
8	令和3年8月21日	30 分	北10階1病棟	21	北10階1病棟看護師勉強会（睡眠薬について）	睡眠薬の種類と使い方	薬剤部 松金 良祐
9	令和3年8月23日	30 分	南9階	12	南9階病棟 看護師向け講義（乳腺グループ）	第一外科 乳腺グループで使用するレジメンについての基本的 な知識について	薬剤部 高吉 真弥
10	令和3年8月27日	10 分	CCU	27	CCU病棟看護師勉強会（KCLについて）	KCL製剤の安全管理のための運用方法の周知	薬剤部 園田 祥子
11	令和3年8月27日	30 分	CCU	27	CCU病棟看護師勉強会（心不全治療薬）	心不全治療薬について	薬剤部 園田 祥子
12	令和3年9月28日	20 分	北9階2病棟	9	北9階2病棟看護師勉強会（テセントリクアパス チン療法）	テセントリクアパスチン療法について、iAEを含めた注意が 必要な副作用について確認する	薬剤部 平井 聡
13	令和3年10月12日	50 分	南11階	12	南11階病棟 看護師向け講義	南11階病棟（眼科）での代表的な疾患や治療、使用される薬 剤の注意点、患者指導時の注意点について	薬剤部 榎本 昂介
14	令和3年10月15日	15 分	北9階2病棟	8	北9階2病棟看護師勉強会（サイモグロブリンに ついて）	病棟で使用頻度が少ないため、当該薬剤の副作用や投与時の 注意点について確認する	薬剤部 平井 聡
15	令和3年11月10日	30 分	南6階1病棟	26	南6階1病棟看護師勉強会（化学療法後の便秘 とその対策について）	薬剤師より化学療法後便秘時に活用される薬剤と、各薬剤の 特徴・注意事項について講義を行う。	薬剤部 終道 美咲
16	令和3年11月25日	60 分	南10 カンファレンスルーム	20	リウマチ治療薬について、病棟看護師が現場で 役立つ知識を身につける	リウマチ治療薬（種類と目的、特徴）、ステロイドカパー、 DMARDsの病前休薬、ステロイド断薬剤について	薬剤部 中山 由理恵
小 計				232			

令和3年度 医療機器安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和3年4月1日	90分	百年講堂	296	新採用者就任式・合同研修	医療安全管理について(35分)、 医薬品の安全管理について(15分)、 医療機器の安全について(15分)、感染防止について(25分)	医療安全管理部副部長 堀副看護部長、 グローバル感染症センター 小林看護師長、 薬剤部 金谷副部長、MEセンター 定松臨床工学技士
	E-learningまたは DVD貸し出しにより 実施	60分	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	339	中途採用者就任式・合同研修	医療安全管理について(15分)、 感染防止について(15分) 医療機器の安全について(10分)、医薬品の安全管理について(20分)	医療安全管理部副部長 堀副看護部長、 グローバル感染症センター 小林看護師長、 薬剤部 金谷副部長、MEセンター 定松臨床工学技士
2	令和3年6月24日	60分	臨床大講堂+Zoom配信	240	第49回呼吸管理セミナー	・『福岡県はCOVID-19にどう対応したか？』 ・当院の新型コロナウイルス感染症対策と重症患者診療～COVID-19関連脳卒中を中心に ・生体情報モニターの設定と確認事項について	・九州医療センター救命救急センターセンター長 野田 英一郎先生 福岡市民病院診療総括部長 平川勝之先生
3	令和3年10月7日	60分	臨床大講堂+Zoom配信	220	第50回呼吸管理セミナー	・人工呼吸器の安全管理 ・小児における呼吸器感染症	・MEセンター 日名子康助 先生 ・救命ICU 豊崎洋子先生 ・グローバル感染症センター 本村良和先生
4	令和4年2月3日	75分	臨床大講堂 + Zoom 配信	111	第51回呼吸管理セミナー	・これで安心、気道確保 ・結核の診療 ・小児の気道狭窄と気管切開	・手術部 麻酔科 水田幸恵先生 ・呼吸器科 原田英治先生 ・耳鼻咽喉 頭頸部外科 土橋奈々先生
小 計				1,206			

令和3年度 医療機器安全管理研修会

○ 機器導入時研修会

No.	開催日	受講者数	研修会名	テーマ
1	令和3年4月2日	18	新規医療機器導入時研修会	麻酔器 Perseus A500 ドレーゲルジャパン(株)
2	令和3年4月1～8日	26	新規医療機器導入時研修会	気管支鏡 ストルツ'気管支鏡 カールストルツ
3	令和3年4月5日	11	新規医療機器導入時研修会	呼吸器 medinCNO nCPAPドライバールイキ(株)
4	令和3年5月17日～31日	50	新規医療機器導入時研修会	IMPELLA CP SMARTASSISTについて
5	令和3年6月28日～7月2日	25	新規医療機器導入時研修会	メラ人工心肺装置HAS III説明会 e-learning 対面講義
6	令和3年7月1～30日	41	新規医療機器導入時研修会	DBB-200si (透析装置)
7	令和3年7月1～30日	41	新規医療機器導入時研修会	IMPELLA CP SMARTASSISTについて(補助循環)
8	令和3年9月13～17日	93	新規医療機器導入時研修会	ダヴィンチ運動ベットの説明会
9～13	令和3年11月30日、12月9、15、16、17日	62	新規医療機器導入時研修会	体外式補助人工心臓バイオポート
14	令和4年1～2月	78	機器安全使用のための研修会	NKV-330(NPPV人工呼吸器) ICU,ER/ICU,ME
15	令和4年2月	93	機器安全使用のための研修会	生体情報モニター-CSM-1900 ICU,ER/ICU,CCU
16	令和4年2～3月	39	機器安全使用のための研修会	インテリカフの操作について ICU,ER / ICU
小計		577		

○ 機器安全使用のための研修会

No.	開催日	受講者数	研修会名	テーマ
1～2	令和3年4月28日、5月7日	68	機器安全使用のための研修会	EXCOR 小児体外設置型人工心臓について
3～5	令和3年5月12日、6月3、11日	17	機器安全使用のための研修会	臨床技術向上のためのECMO研修会
6～8	令和3年7月19、21、26日	19	機器安全使用のための研修会	血液粘弾性分析装置説明会
9～10	令和3年7月27、29日	10	機器安全使用のための研修会	クーデックエイミーPCA説明会
11	令和3年8月6～13日	27	機器安全使用のための研修会	眼科用3次元映像システム説明会 対面とDVD
12	令和3年9月14日	26	機器安全使用のための研修会	ダヴィンチXi 取り扱い研修会
13	令和3年10月18日	26	機器安全使用のための研修会	人工肺Quadorox-iの安全使用について
14	令和3年11月25日	12	機器安全使用のための研修会	Servo I 安全使用のための研修会
15	令和3年12月6日	10	機器安全使用のための研修会	透析膜 SepXiris 研修会
16～17	令和3年12月13、16日	18	機器安全使用のための研修会	CDI550システム
18	令和3年12月14日	10	機器安全使用のための研修会	SEP/MEP 研修会
19	令和4年2月21日	18	機器安全使用のための研修会	impella VR研修会
小計		261		

平成29年度～高度新規医療実施申請書 受付簿

受付 番号	高度新規 医療内容	診療科名	実施 責任医師	左記 連絡先	高度新規医療の名称	技術 難易 度	様式の 送付	申請書 日付	申請書 受理日	追加修 正依頼	追加資 料等	原簿書 起案日	決裁日	諮問委 依頼日	名 委 員名	追加修 正依頼 日	諮問委 依頼日	安全委 へ報告	申請科 へ通知	部会 検討日	備考
21-1	医療技術 第二外科	沖	沖2899		ロボット支援下腹腔鏡下直腸切除・切断術	D		7/13	7/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	日本外科学会が公表する高度度新規医療技術リストでは、2018年11月末時点では掲載されていたが、2021年4月中旬改定分より除外、かつ外保連試案2020にて技術難易度「D」のため、高度度新規医療技術には「該当しない」と判断

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程

第2条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成27年度九大規則第29号）第3条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和23年法律第205号）第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第2号及び第3号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について（平成29年10月4日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第2条第2項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れ、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力

医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。

2. 病院の管理運営上必要な資質・能力

当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。

3. 九州大学及び九州大学病院の理念等を実現するために必要な資質・能力

九州大学アクションプランや九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）

・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ）	

- ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
本学Webサイトに掲載

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
荒殿 誠	九州大学	○	九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第1号	有
内藤敏也	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第1号	有
北園孝成	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第2号	有
中村誠司	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第3号	有
園田康平	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第4号	有
須藤信行	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第5号	有
松田峻一良	福岡県医師会		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第6号	無
白石博昭	福岡県		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第6号	無
岩崎昭憲	福岡大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第6号	無
赤司浩一	九州大学病院		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第7号	有
濱田正美	九州大学病院		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第7号	有

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有
合議体の主要な審議内容 合議体の名称：九州大学病院運営会議			
合議体の主要な審議内容 ①運営方針に関する事項 ②中期目標及び中期計画に関する事項 ③規程等の制定及び改廃に関する事項 ④予算及び決算に関する事項 ⑤その他病院の運営に関する重要事項			
審議の概要の従業者への周知状況 議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知			
合議体に係る内部規程の公表の有無（有）			
公表の方法 本学のWebサイトに掲載			
外部有識者からの意見聴取の有無（有） 九州大学病院運営会議規程第7条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中村雅史	○	医師	病院長
西村英紀		歯科医師	副病院長
須藤信行		医師	副病院長
中島康晴		医師	副病院長
後 信		医師	副病院長
中島直樹		医師	副病院長
堀内孝彦		医師	副病院長
濱田正美		看護師	副病院長
中川尚志		医師	病院長補佐
鮎澤純子		教員	病院長補佐
下野信行		医師	病院長補佐
塩瀬 明		医師	病院長補佐
新納宏昭		医師	病院長補佐
田尻達郎		医師	病院長補佐
加藤聖子		医師	病院長補佐
石神康生		医師	病院長補佐

赤司浩一		医師	科長
北園孝成		医師	科長
小川佳宏		医師	科長
磯部紀子		医師	科長
筒井裕之		医師	科長
岡本勇		医師	科長
大賀正一		医師	科長
大内田研宙		医師	副科長
仲田興平		医師	副科長
大藺慶吾		医師	副科長
久保真		医師	副科長
吉住朋晴		医師	科長
吉本幸司		医師	科長
中原剛士		医師	科長
江藤正俊		医師	科長
中尾智博		医師	科長
園田康平		医師	科長
山浦 健		医師	科長
門田英輝		医師	科長
水野晋一		医師	科長
福本 敏		歯科医師	科長
高橋一郎		歯科医師	科長
前田英史		歯科医師	科長
鮎川保則		歯科医師	科長
中村誠司		歯科医師	科長
山田朋弘		歯科医師	副科長
横山武志		歯科医師	科長
吉浦一紀		歯科医師	科長
和田尚久		歯科医師	科長
柏崎晴彦		歯科医師	科長
三森功士		医師	科長
播谷勝三		医師	科長
平川雅和		医師	科長
小田義直		医師	部長
赤星朋比古		医師	センター長
森山大樹		医師	部長
戸高浩司		医師	センター長
馬場英司		医師	センター長
家入一郎		薬剤師	部長
河野一郎		理学療法士	部長
中湖 博則		事務	部長
鴨打正浩		医師	教授
藪内英剛		医師	教授

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
本学 Web サイトに掲載
- ・ 規程の主な内容
九州大学学則第 25 条第 2 項 「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」
九州大学病院規則第 16 条 「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、
病院長が別に定める。」
国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第 9 条第 2 項
「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理及び執行に関する事務を予算
責任者（病院長）に分掌させるものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする。」
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
(1) 副病院長を 7 名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理
副病院長 ①統括・歯科担当、②総務担当、③経営担当、
④安全管理・危機管理担当、医療安全管理責任者、⑤医療情報担当
⑥別府病院担当、⑥看護部総括担当
(2) 病院長補佐を 8 名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び
調査を行い、意見を具申
病院長補佐 ①医療連携担当、②監査・法規・IC 担当、③感染症担当
④医療機器管理担当、⑤教育担当、⑥移行期医療担当
⑦別府病院再開発担当、⑧診療録管理担当
(3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート

・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日程	事業名	場所	参加者
平成31年2月9日	国立大学附属病院長会議「第3回病院長塾」	品川シーズンテラス タワー	赤司病院長、須藤副病院 長、中島副病院長、中村 副病院長、濱田副病院長
令和元年10月27 日	特定機能病院管理者研 修	日本医療機能評価機 構	赤司病院長、中村副病院 長、飯原病院長補佐
令和2年2月17日	第2回病院経営次世代 リーダー養成塾	学術総合センター (東京)	赤司病院長、中島副病院 長
令和3年2月16日	医師の働き方改革緊急 セミナー	全国医学部長病院長 会議 (Web開催)	赤司病院長
令和4年2月17日	第3回病院経営次世代 リーダー養成塾	ZOOM開催	中村副病院長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					有
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： - 第 1 回監査 以下の現状について監査 ・ 医療安全対策に係る取り組みの評価等に関する活動 (インシデントレポートに基づく改善活動) - 第 2 回監査 以下の現状について監査 ・ 再活性化 B 型肝炎予防、画像診断報告書確認漏れに関する当院の取り組み ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ 有 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ 有 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法：本院ウェブサイトに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学	○	安全管理の識見者	無	1
富田 康裕	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
杉原 学	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
秋好 美代子	さく病院		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律 事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO 法人キ ャンサーサポ ート		医療を受ける者	無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
「国立大学法人九州大学の業務の適性を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保するための体制を整備している。
本体制において、病院長は業務適正確保責任者として、本院の業務の調査・評価を行い、その結果等について業務適正確保統括責任者（総長が指名する理事）に報告を行い、さらに業務適正確保統括責任者は、毎年役員会に取りまとめた結果を報告し、確認を行っている。
- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
本学webサイトに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成30年度から予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。 ・ 会議体の実施状況（ 年37回（令和3年度） ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 無 ）（ 年 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 本学Webサイトに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：九州大学役員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ） ・ 通報件数（年 0 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ） ・ 周知の方法 メールにより病院内の全教職員へ定期的に周知

令和3年9月1日

九州大学病院
医療安全監査委員会委員 各位

九州大学病院
病院長 赤 司 浩 一 公印省略

令和3年度 第1回九州大学病院医療安全監査委員会の開催について

標記のことについて、下記のとおり九州大学病院医療安全監査委員会を開催いたします。ご多忙のことと存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和3年9月14日（火） 14：00～16：00
- 2 開催形式 対面開催及びWEB開催を併用するハイブリッド形式
- 3 場 所 九州大学病院北棟2階 多目的室
- 4 議 題 医療安全対策に係る取り組みの評価等に関する活動
(インシデントレポートに基づく改善活動)

【お問合せ先】

九州大学病院医療管理課 笹原・増田
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL：092-642-5135
E-mail：byianzen@jimu.kyushu-u.ac.jp

令和4年1月24日

九州大学病院
医療安全監査委員会委員 各位

九州大学病院
病院長 赤 司 浩 一 公印省略

令和3年度 第2回九州大学病院医療安全監査委員会の開催について

標記のことについて、下記のとおり九州大学病院医療安全監査委員会を開催いたします。ご多忙のことと存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日 時 令和4年2月22日（火） 13：00～15：00

2 場 所 九州大学病院北棟2階 共用会議室1

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはWEB会議に変更いたします。

3 議 題 再活性化B型肝炎予防、画像診断報告書確認漏れに関する当院の取り組み

【お問合せ先】

九州大学病院医療管理課 笹原・増田

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL 092-642-5135

E-mail : byianzen@jimu.kyushu-u.ac.jp

令和4年度 九州大学病院医療安全監査委員会 委員名簿

条項	氏名	所属名	役職・職種	選定理由	利害関係
第3条第1項第1号委員	近本 亮	熊本大学	医療の質・安全管理部 副病院長(医療安全管理・ 危機管理担当)	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	富田 康裕	久留米大学	医療安全管理者 薬剤副部長補佐	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	杉原 学	久留米大学	医療機器安全管理責任者 臨床工学センター技師長	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	秋好 美代子	さく病院(元九大病院)	看護師	安全管理の識見者	有
第3条第1項第1号委員	久保井 摂	九州合同法律事務所	弁護士	法律の識見者	無
第3条第1項第2号委員	中原 美夏	NPO法人 キャンサーサポート	副理事長	医療を受ける者	無

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ○ 病院のホームページ 外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供 ○ 広報誌 1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付） 診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供 2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○ 入退院・周術期支援センター 周術期支援センターは、周術期医療の質の向上を目指して、平成26年9月に設置され、これまで患者が安全に手術を受けられるよう、麻酔科医・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士および周術期口腔ケアセンターの歯科医・歯科衛生士が各科担当医とチームを組み支援してきた。さらに、手術患者の社会福祉的支援を入院前から開始するとともに、退院後の療養支援を行うために令和2年4月に、入退院・周術期支援センターへと改組された。 入退院・周術期支援センターでは周術期管理のために、麻酔科医による術前全身評価を中心に、薬剤師による薬剤確認、管理栄養士による栄養評価、口腔ケアのスクリーニングなどを行	

っている。手術に影響がある疾患を有する患者の場合は、循環器内科・糖尿病内科・呼吸器科など他の診療科の評価と治療を受けた後に、入退院・周術期支援センターにて総合的な周術期管理を行っている。以上のように医療安全を確保し、予期しない手術中止症例の減少、術前合併症の予防、早期退院の推進のために複数の診療科と多職種が連携して対応している。

令和4年9月より、支援の対象を手術目的以外で入院する患者にも拡大し、当院で入院治療を受ける患者を総合的に支援するPatient Flow Management (PFM) の確立を目指している。